

**琴浦町男女共同参画に関する町民意識調査
結果報告書**

調査結果の概要

1. 調査の目的

本調査は、町民が日頃感じている男女共同参画に関する考え方やその現状、また、プラン推進の成果や意識の浸透度を把握し、次期「男女共同参画プラン」策定の基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査の内容

- ① 基本属性
- ② 男女共同参画（社会）について
- ③ 家庭生活について
- ④ 仕事について
- ⑤ 地域活動について
- ⑥ 防災について
- ⑦ 政治参画について
- ⑧ DV（ドメスティック・バイオレンス）、セクハラについて
- ⑨ 男女共同参画に関する取組について
- ⑩ コロナの影響について
- ⑪ 自由記述

3. 調査の方法

- ① 調査地域：琴浦町
- ② 調査対象：琴浦町在住（令和4年6月1日現在）の満18歳以上の男女 2,000人
※10代は抽出されなかったため、実際の対象は20歳以上の男女
- ③ 抽出方法：住民基本台帳による無作為抽出
※各世代から万遍なく回答を得るため、過去実施した調査の回収率から年代ごとの対象人数を考慮した上で、無作為抽出を実施。
- ④ 調査方法：郵送配布、郵送回収、web回答
- ⑤ 調査期間：令和4年7月9日～8月8日

4. 回収率

配布件数	回収件数	回収率
2,000	507 内訳：郵送件数：420 Web回答：87	25.4%

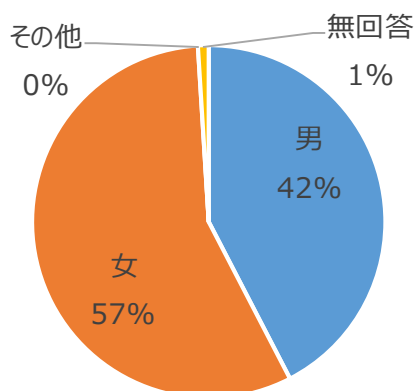
1. 回答者の属性

① 性別

性別については、「女性」が 57%、「男性」が 42%と、女性が 15 ポイント上回っている。

全体	男	女	その他	無回答
507	215	287	0	5

※実際の人口比率より、5 ポイント男性が低く、また女性が高いため、調査サンプルとしてはやや偏りがある。

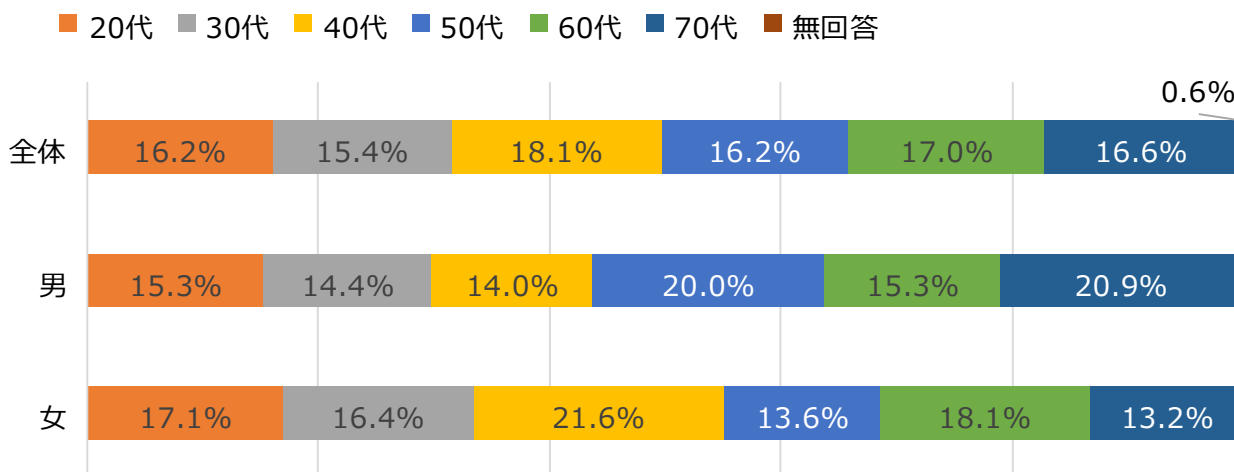


(令和 4 年 7 月 31 日時点)

② 年齢

年齢については、「40 代」が 18.1%と最も多く、次いで「60 代」が 17%となっている。

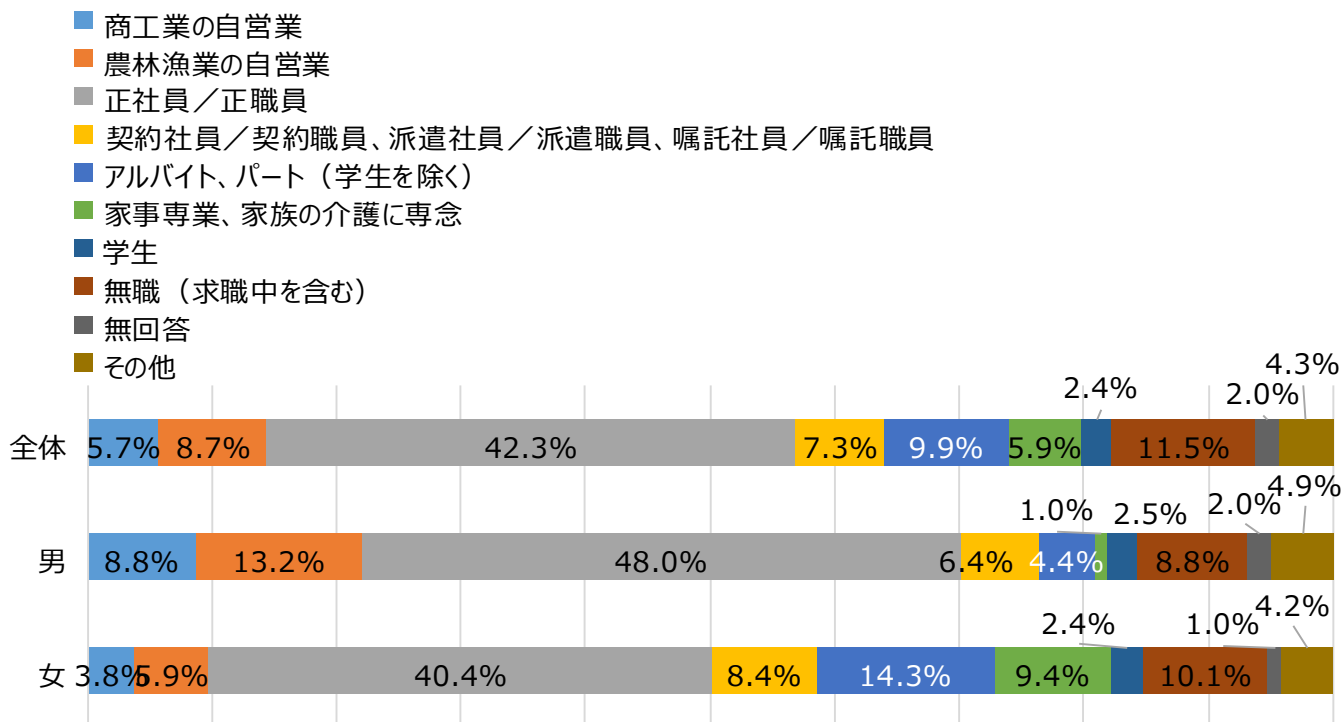
性別にみると、女性の「40 代」が最も多い。



③ 仕事

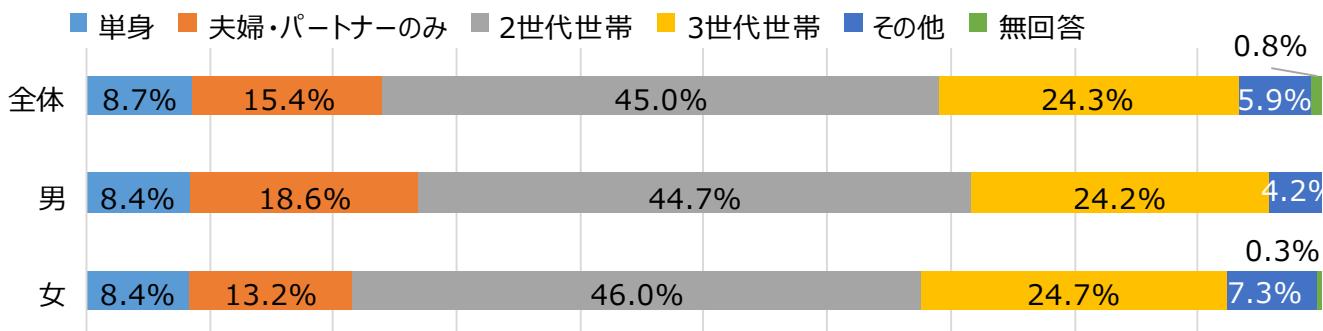
仕事については、「正社員／正職員」が44.2%と最も多く、次いで「無職」が12%、「アルバイト、パート」が10.3%と続いている。

性別にみると、男性、女性ともに「正社員／正職員」の割合が最も高く、男性は自営業が2割を超えており、女性は非正規雇用者が2割を超えている。



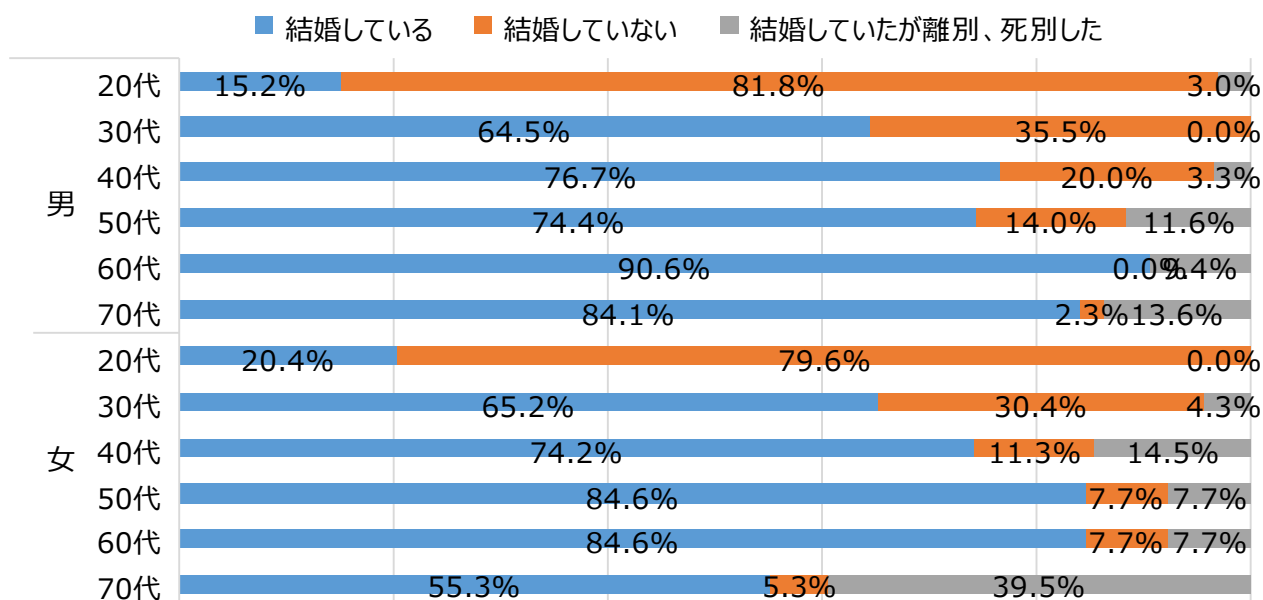
④ 同居している家族

現在同居している家族構成から世帯構成を割り出すと、「2世代世帯」が39.6%と最も多く、次いで「3世代世帯」が20.1%、「夫婦・パートナーのみ」が15.4%と続いている。配偶者・パートナーの方の仕事については、「正社員／正職員」が40.5%と最も多く、次いで「無職」が14.6%、「農林漁業の自営業」が12.3%と続いている。



⑤ 結婚

性別・年代別にみると、男性、女性ともに20代は約8割が未婚を占めているが、30代から既婚の割合が高く、男女ともに6割以上である。また、70代女性は、配偶者・パートナーと離別または死別している割合が39.5%であり、同年代の男性の約3倍である。

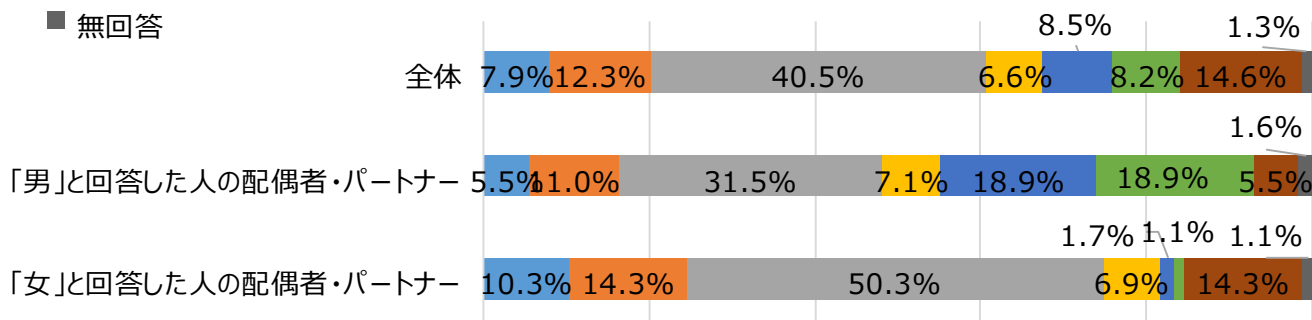


⑥ 配偶者・パートナーの方の仕事

配偶者・パートナーの方の仕事については、「正社員／正職員」が40.5%と最も多く、次いで「無職」が14.6%、「農林漁業の自営業」が12.3%と続いている。

男性の配偶者・パートナーの仕事は「正社員／正職員」が31.5%の割合が最も高いが、「アルバイト・パート」「家事専業、家族の介護に専念」が18.9%と続いている。一方で、女性の配偶者・パートナーの仕事は「正社員／正職員」が50.3%と約半数を占めている。

- 商工業の自営業
- 農林漁業の自営業
- 正社員／正職員
- 契約社員／契約職員、派遣社員／派遣職員、嘱託社員／嘱託職員
- アルバイト、パート（学生を除く）
- 家事専業、家族の介護に専念
- 無職（求職中を含む）
- 無回答



2. 意識調査

1 世間的にみて、男女の地位の平等になっていると思いますか。

全体として、“男性優遇”（「男性が優遇、男性がやや優遇」）の割合が最も多いのは、「④政治や行政の施策・方針決定の場」の68.2%で、次いで「①家庭生活」の64.9%、「②職場」の62.9%と続いている。一方、“男女平等”の割合が最も多いのは、「③学校教育」の52.5%で、「⑦PTAや保護者会、子ども会などの運営」の37.3%と続いている。

性別にみると、全ての分野において、“男性優遇”（「男性が優遇、男性がやや優遇」）の割合は、男性より女性が上回っており、最も差が大きいのは「⑤法律や制度」の26.2ポイント、次いで「①家庭生活」の16ポイントとなり、一方で最も差が少ないのは「③学校教育」の4.2ポイント、次いで「②職場」の7.6ポイントと続いている。また、全ての分野において、男性の“男女平等”の割合は女性より上回っており、「⑤法律や制度」は18.2ポイントと最も大きく、次いで「④政治や行政の施策・方針決定の場」の14.2ポイントが続いている。

「⑧社会全体（①～⑦を総合的に）」でも、“男性優遇”（「男性が優遇、男性がやや優遇」）の割合は70.8%となっている。

2 あなた個人にとって、平等だと感じますか。

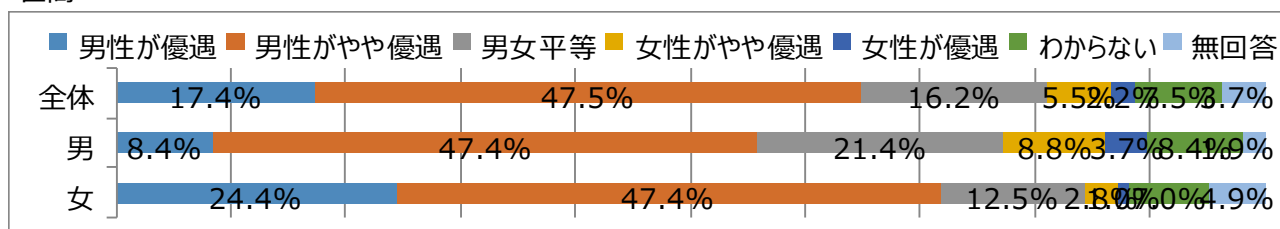
全体として、“男性優遇”（「男性が優遇、男性がやや優遇」）の割合が最も多いのは、「④政治や行政の施策・方針決定の場」の69.4%で、次いで「①家庭生活」の48.5%、「⑤法律や制度」の46.5%と続いている。一方、“男女平等”の割合が最も多いのは、「②学校教育」の49.9%で、次いで「⑦PTAや保護者会、子ども会などの運営」の38.7%、「②職場」の37.7%と続いている。“男女平等”の割合について、「1 世間的にみた男女の地位の平等について」と比較すると、「②学校教育」以外は「2 個人的にみた男女の平等について」の方がすべてポイントが上回っている。

性別にみると、全ての分野において、“男性優遇”（「男性が優遇、男性がやや優遇」）の割合は、女性の方が高く、“男女平等”と答えた割合は男性の方が高くなっている。

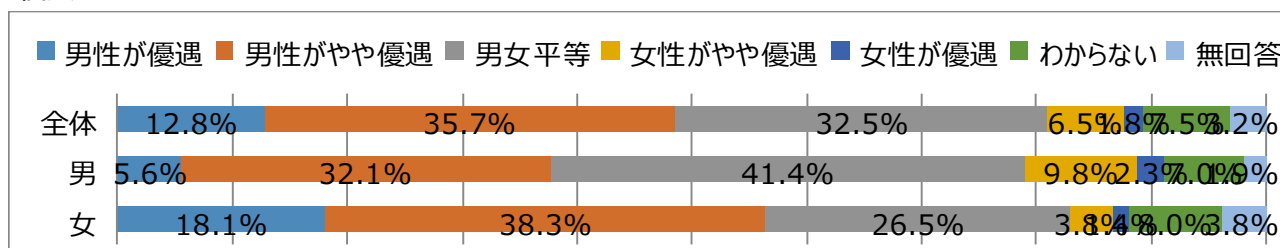
※以下のグラフについて、上段は「1 世間的にみた男女の地位の平等について」、下段は「2 個人的にみた男女の平等について」を表している。

①家庭生活

世間

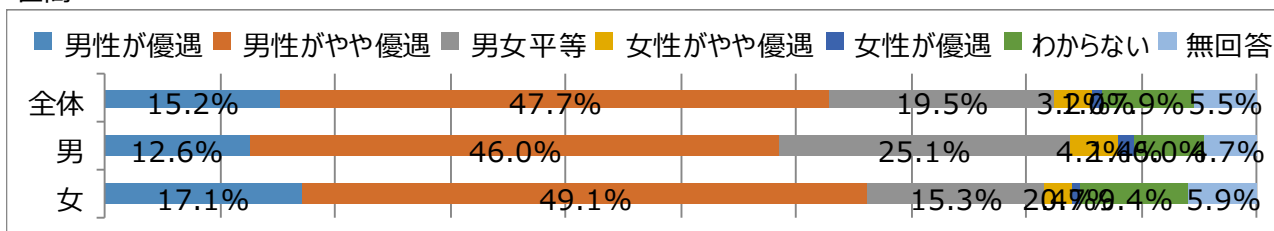


個人

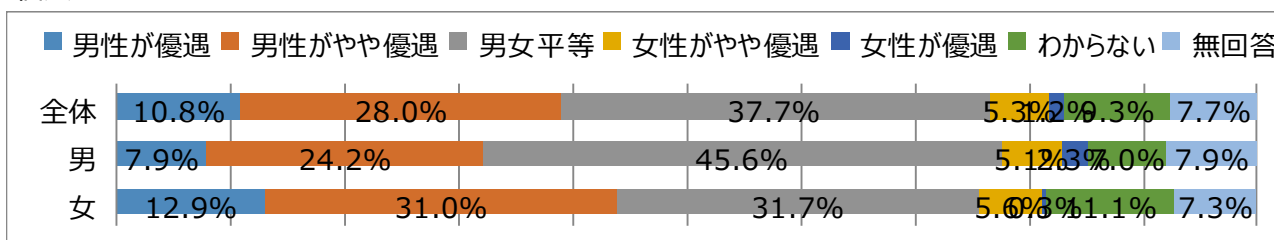


②職場

世間

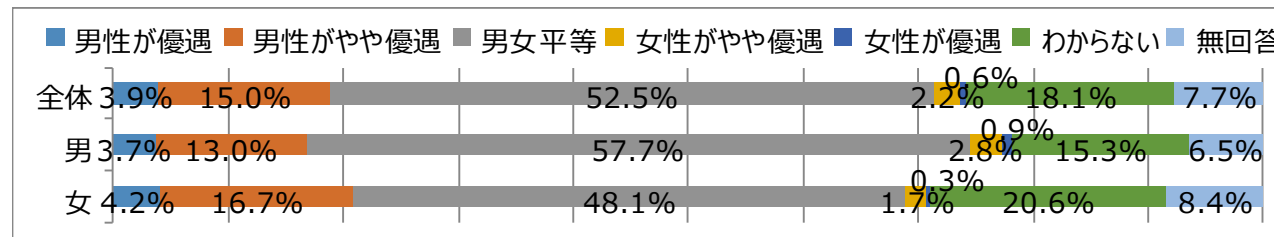


個人

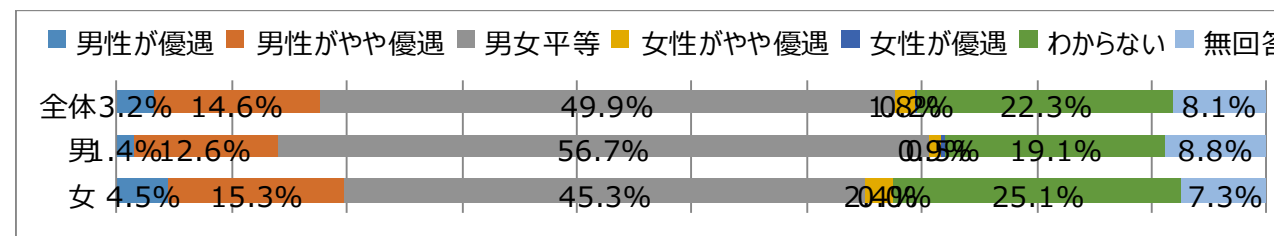


③学校教育の場

世間

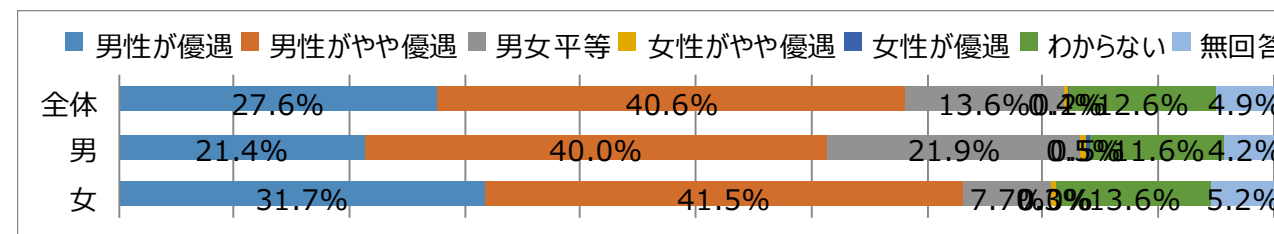


個人

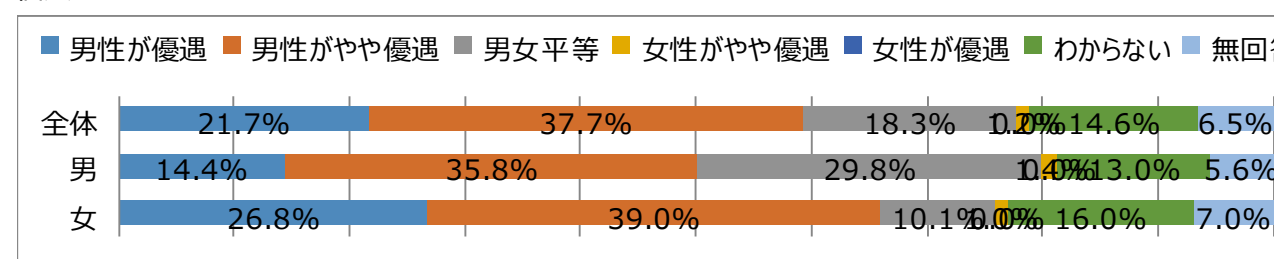


④政治や行政の施策・方針決定の場

世間

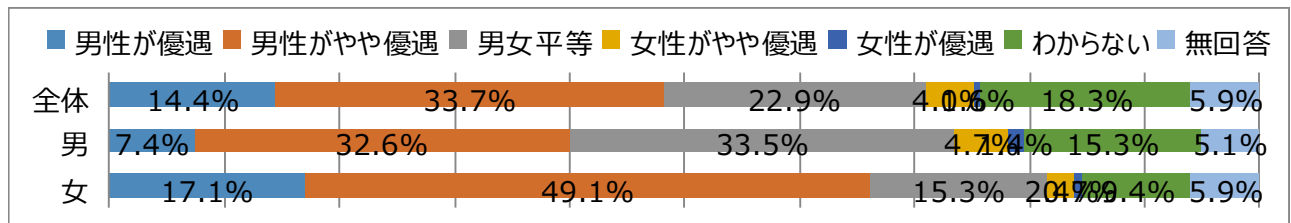


個人

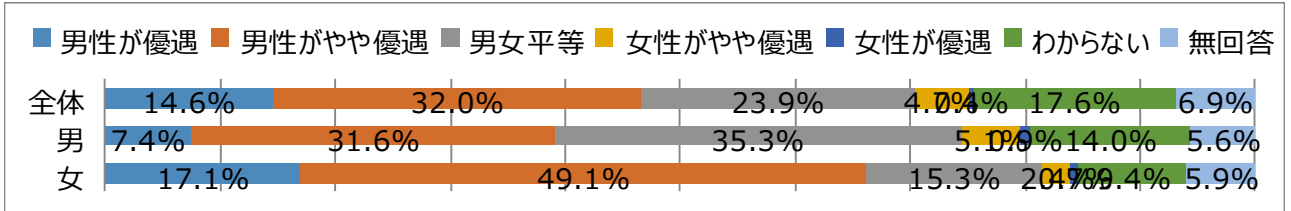


⑤法律や制度

世間

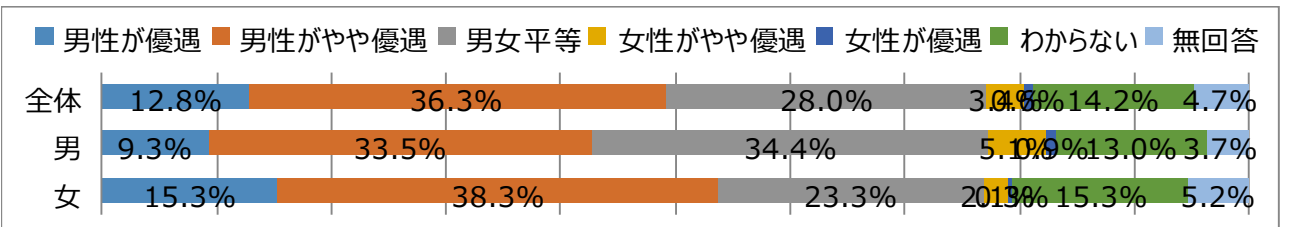


個人

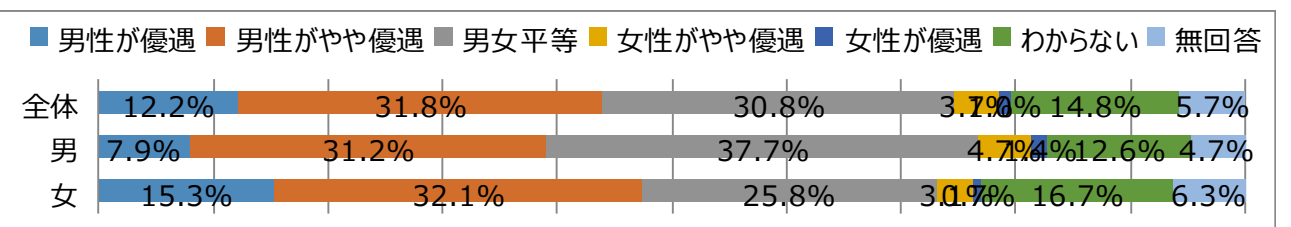


⑥自治会や公民館行事などの地域運営

世間

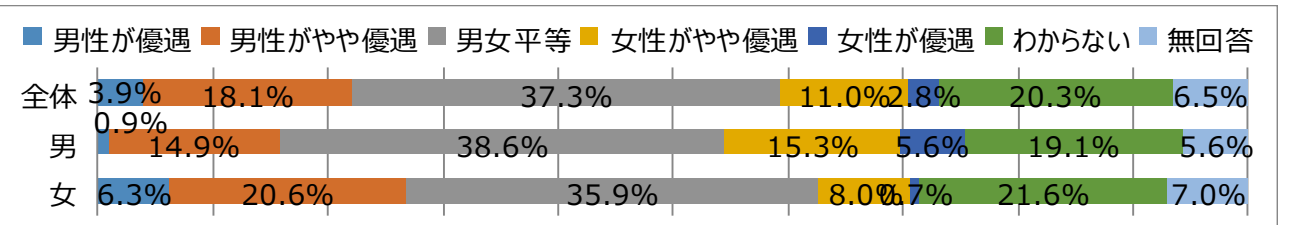


個人

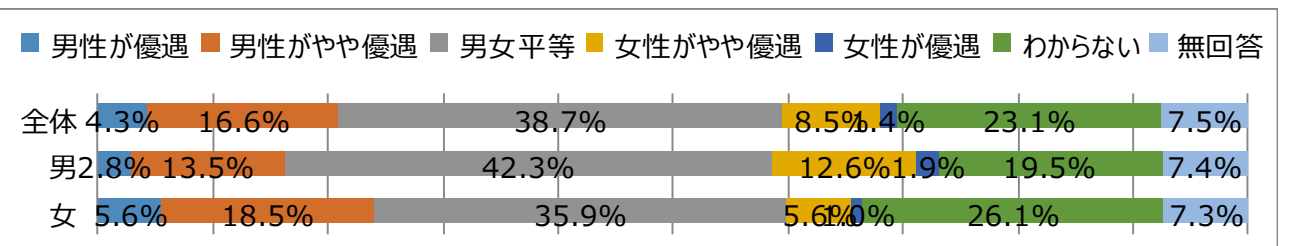


⑦PTAや保護者会、子ども会などの運営

世間

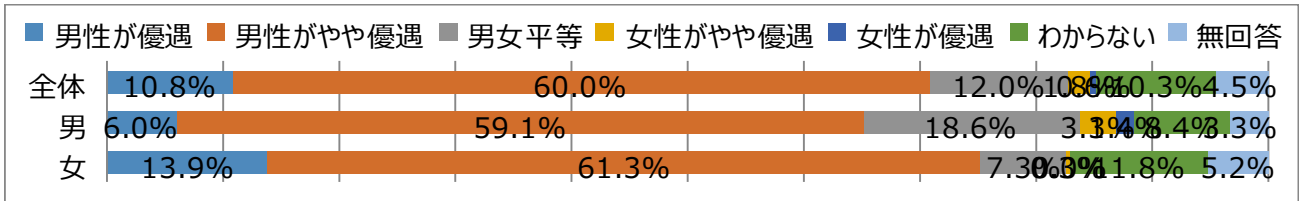


個人

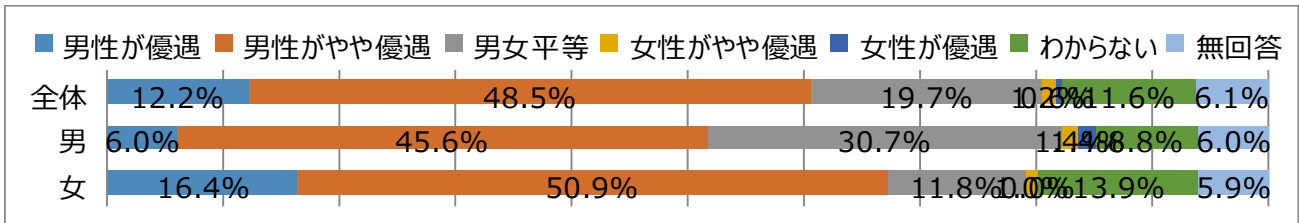


⑧社会全体（①～⑦を総合的に）

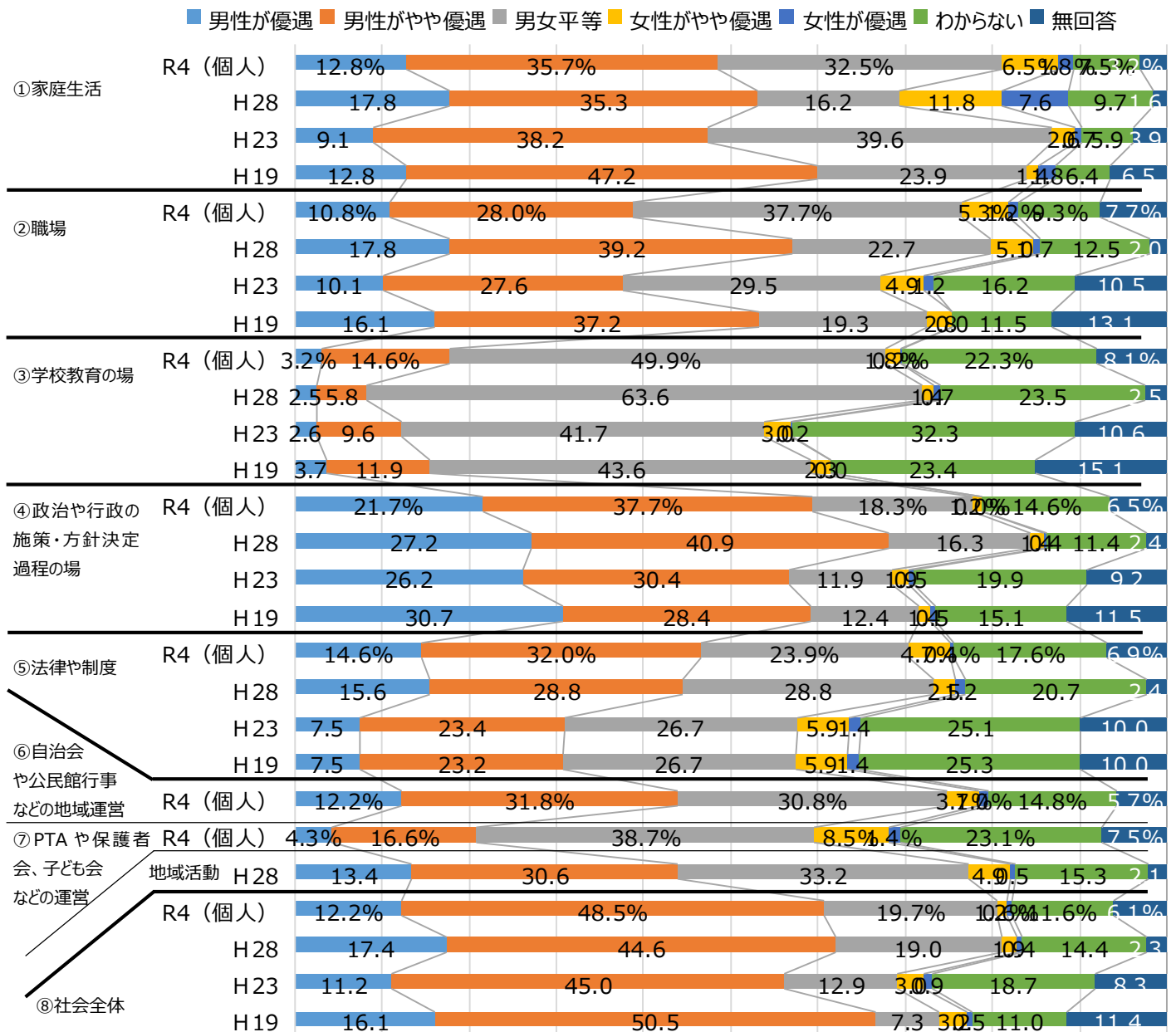
世間



個人



【参考】経年変化



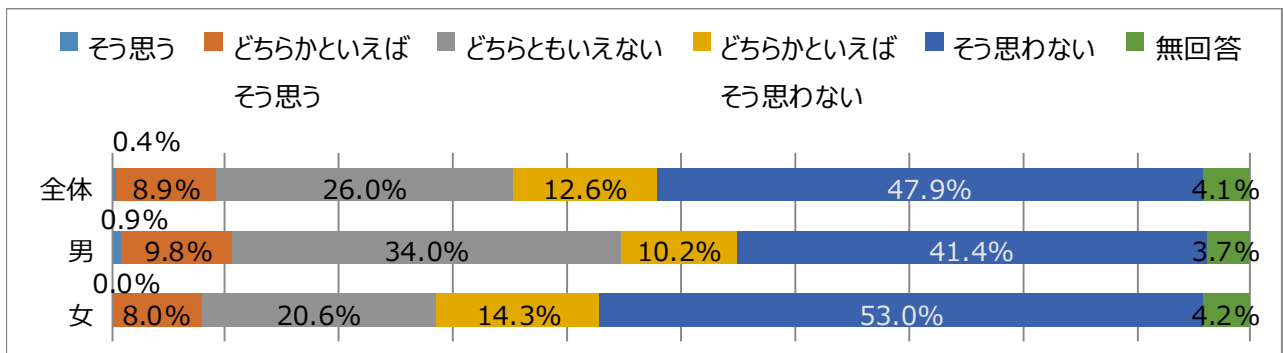
3. 家庭生活（男女の役割）

1 次にあげる考え方について、あなたはどう思いますか？（各項目につき1つ○）

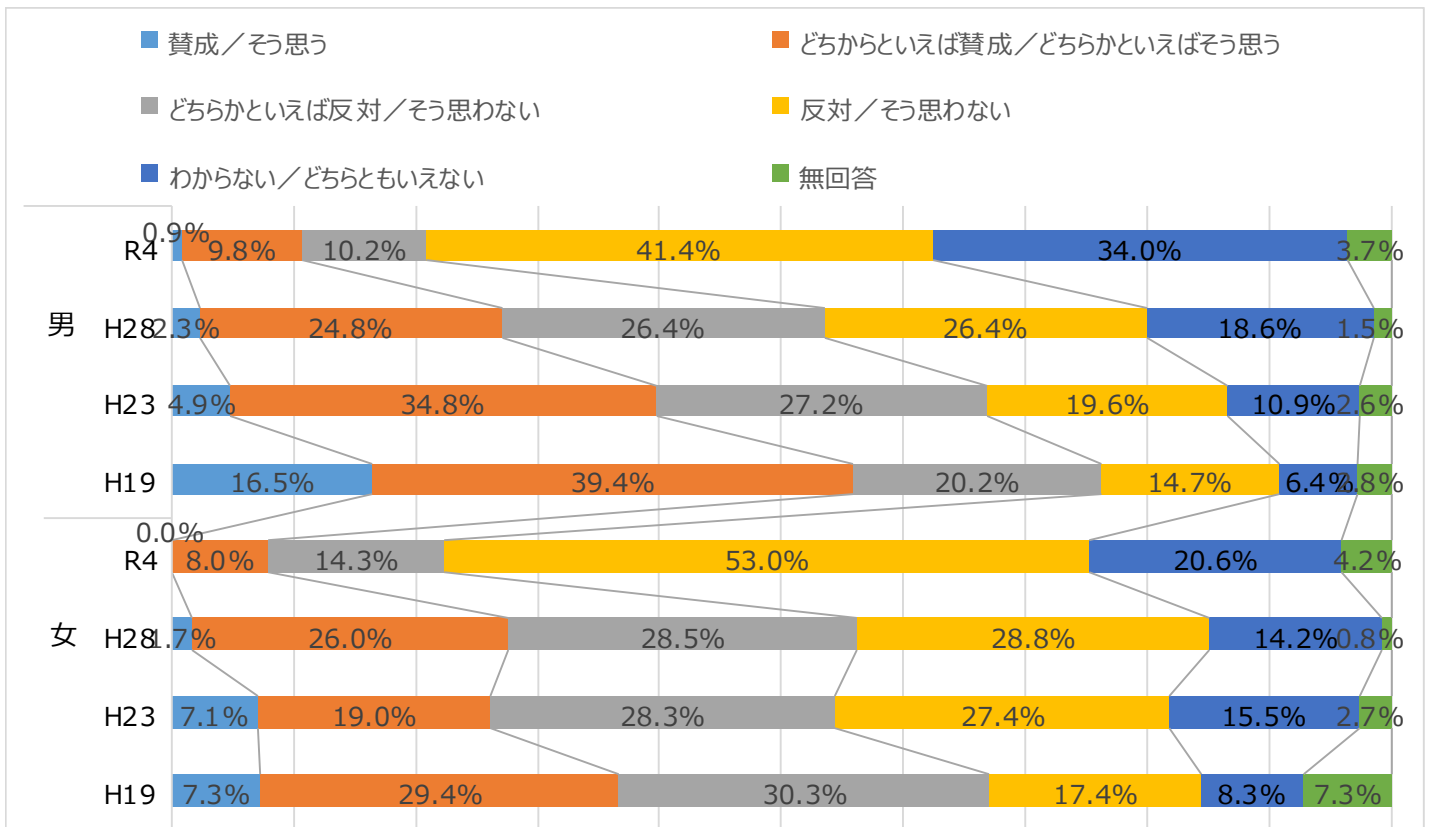
①男性は外で働き、女性は家庭を守るべきだ

全体の割合としては「そう思わない」が49.9%と最も高く、次いで、「どちらともいえない」が27.2%、「どちらかといえばそう思わない」が13.2%と続いている。「そう思わない」（「そう思わない、どちらかといえばそう思わない」）の割合は63.1%となり、「そう思う」（「そう思う、どちらかといえばそう思う」）を53.4ポイント上回っている。

性別にみると、「そう思う」の割合は男性より女性の方が12.1ポイント上回っている。さらに年齢別にみると、「そう思わない」（「そう思わない、どちらかといえばそう思わない」）の割合は、20代女性が89.6%と最も高く、次いで30代女性が80.4%、60代女性が75.5%と続いている。



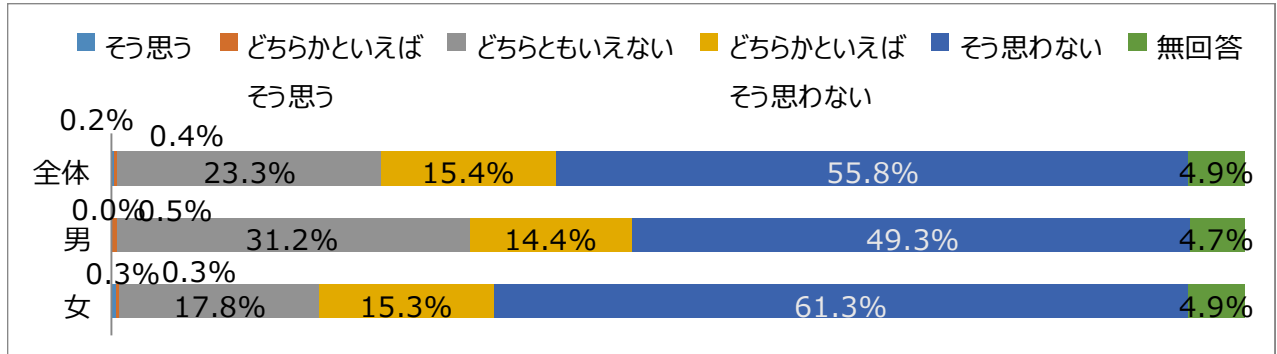
【参考】経年変化



②女性は外で働き、男性は家庭を守るべきだ

全体の割合としては男性、女性ともに「そう思わない」が最も高く、「そう思わない」(「そう思わない、どちらかといえばそう思わない」)と回答した割合は男性より女性の方が13.8ポイント高い。

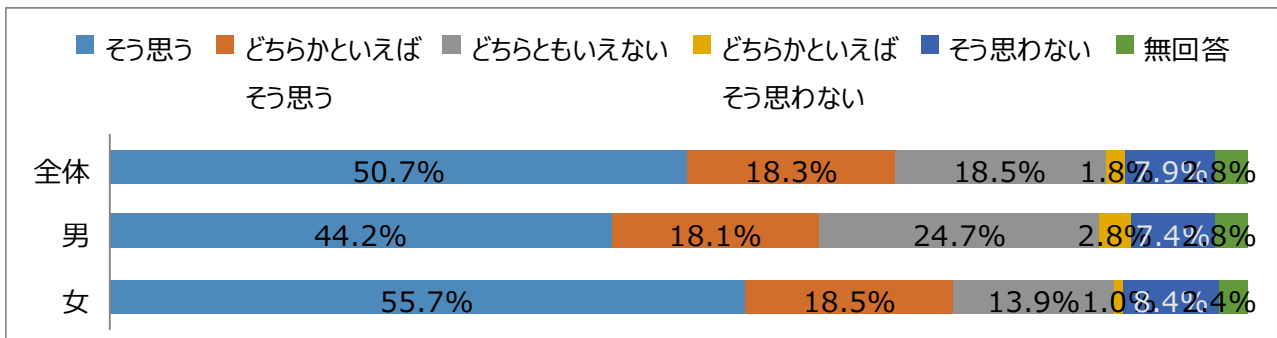
性別・年齢別にみると、20代女性の93.8%が「そう思わない」(「そう思わない、どちらかといえばそう思わない」)と回答している。



③性別にかかわらず外で働き、ともに家庭を守るべきだ

全体の割合としては「そう思う」(「そう思う、どちらかと言えばそう思う」)が71%を占めている。

性別にみると、「そう思う」(「そう思う、どちらかと言えばそう思う」)の割合は男性より女性の方が12ポイント上回っている。さらに年齢別にみると、「そう思う」(「そう思う、どちらかと言えばそう思う」)の割合は男性、女性ともに特に20代、30代で高くなっている。

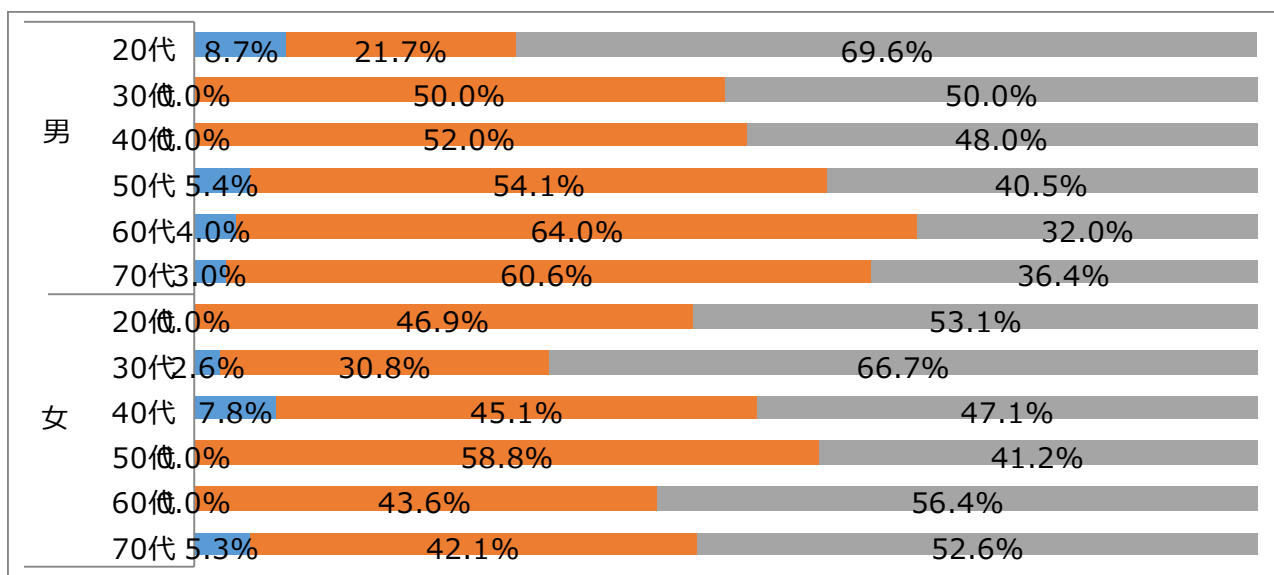
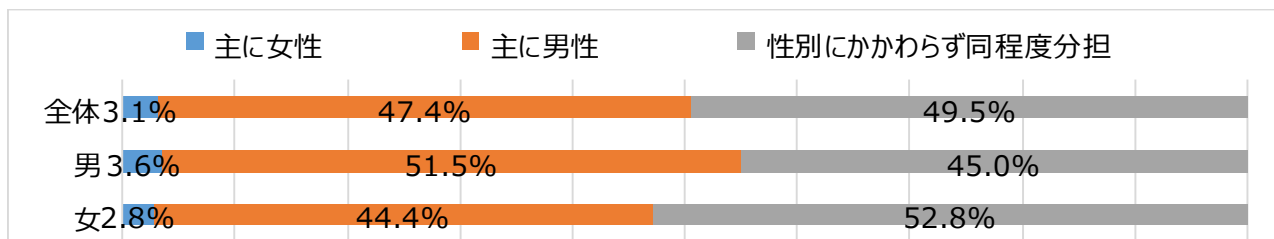


2 単身世帯以外の方へ、家庭の役割分担について教えてください。（各項目につき1つ○）

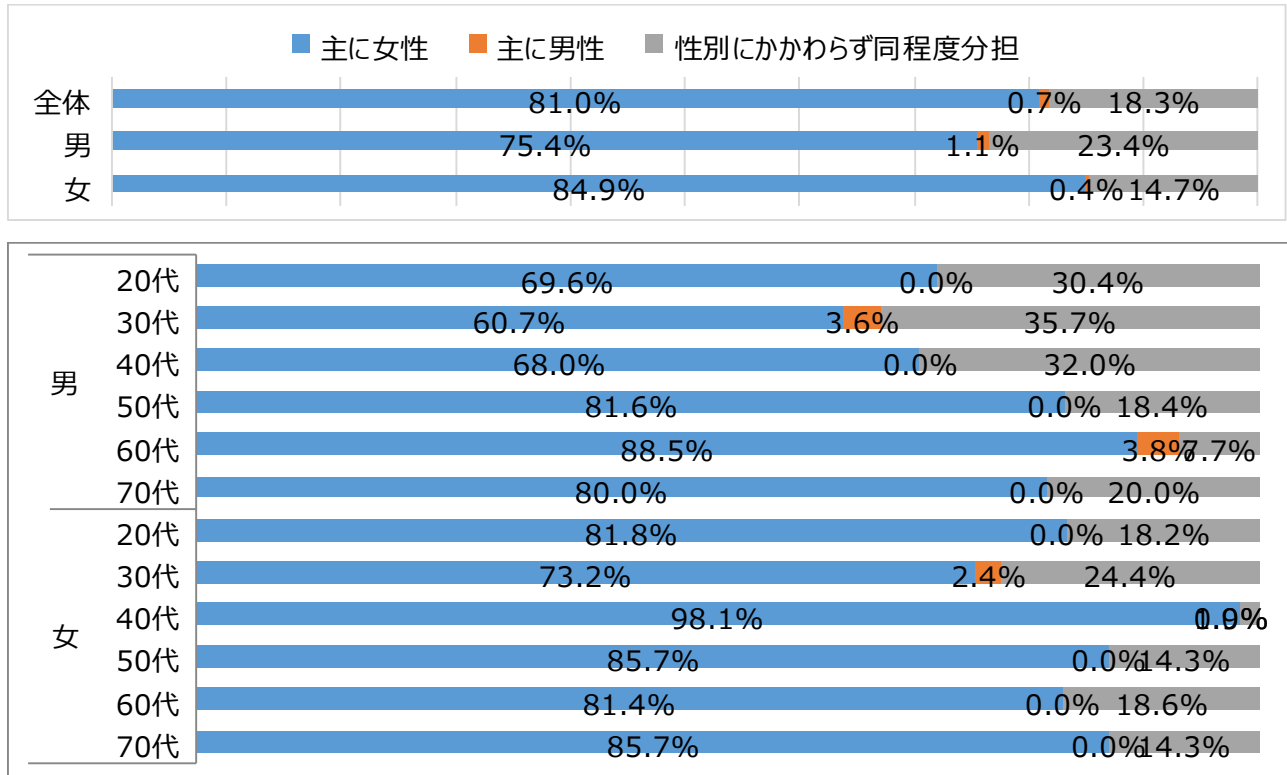
性別、年齢別にみると、「収入を得ること」は特に20代男性、30代女性は「性別にかかわらず同程度分担」の割合が高くなっている。「食事のしたく」「食事の片づけ」「掃除」はすべての年代で「性別にかかわらず同程度分担」と回答した割合は男性の方が女性よりも高く、女性は「主に女性」と回答した割合が高くなっている。「洗濯」は20代～50代男性は約4割が「性別にかかわらず同程度分担」と回答した一方で、女性は「主に女性」を選択した割合が高くなっている。「子どもの世話」「子どもの学校活動・行事への参加」は男性、女性ともに30代は「性別にかかわらず同程度分担」の割合が高くなっている一方で、40代、50代の男性は「性別にかかわらず同程度分担」と、女性は「主に女性」と回答した割合が高くなっており、年代によって男女間で意識の差がある。「介護・病人の世話」は40代～60代の男性は「性別にかかわらず同程度分担」と回答した割合が高くなっている一方で、40代以上の女性は「主に女性」と回答した割合が高くなっている。「地域活動」は男性、女性ともに30代、40代は「性別にかかわらず同程度分担」の割合が高くなっているが、50代、60代の男性は「主に男性」と、同年代の女性は「性別にかかわらず同程度分担」と回答した割合が高くなっている。

※以下のグラフは、分担があると回答した数字を総数として、性別ごとの回答人数を項目名の右（ ）内に表記している。

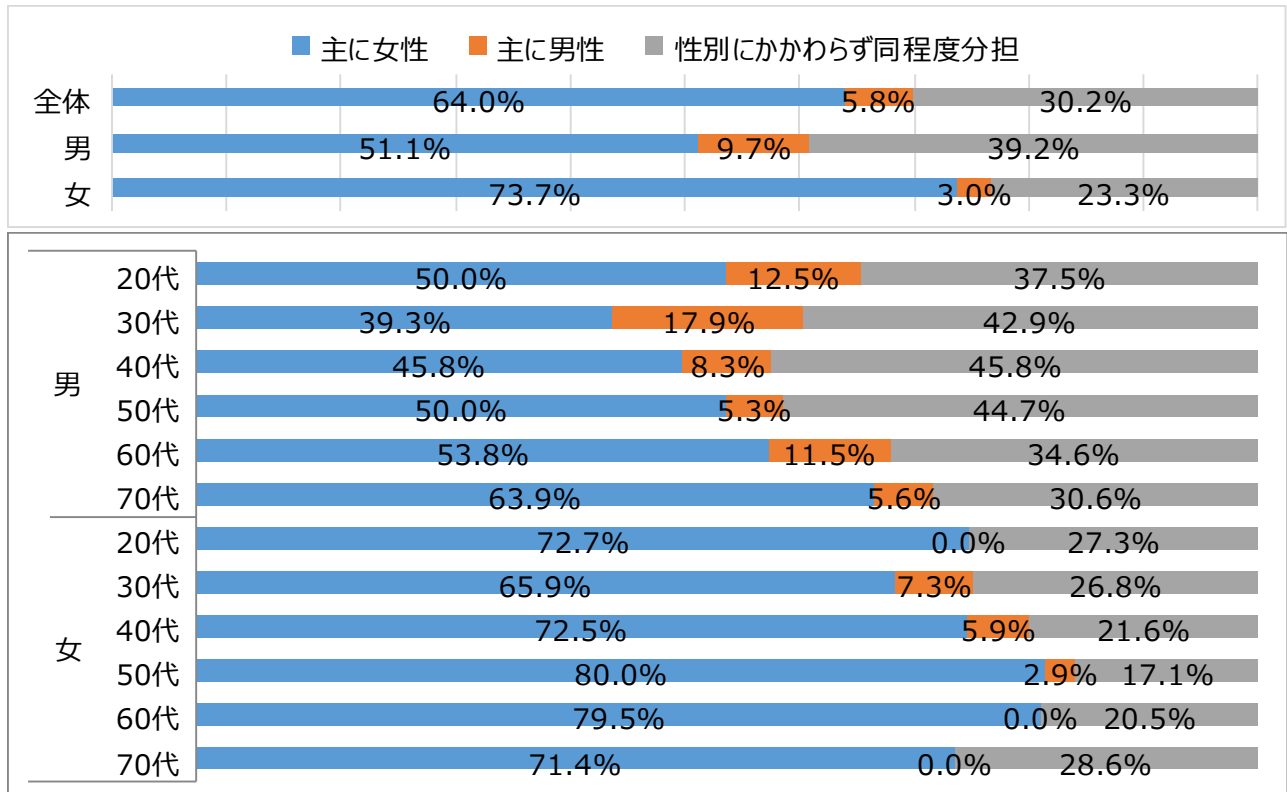
①収入を得ること（男性169、女性214）



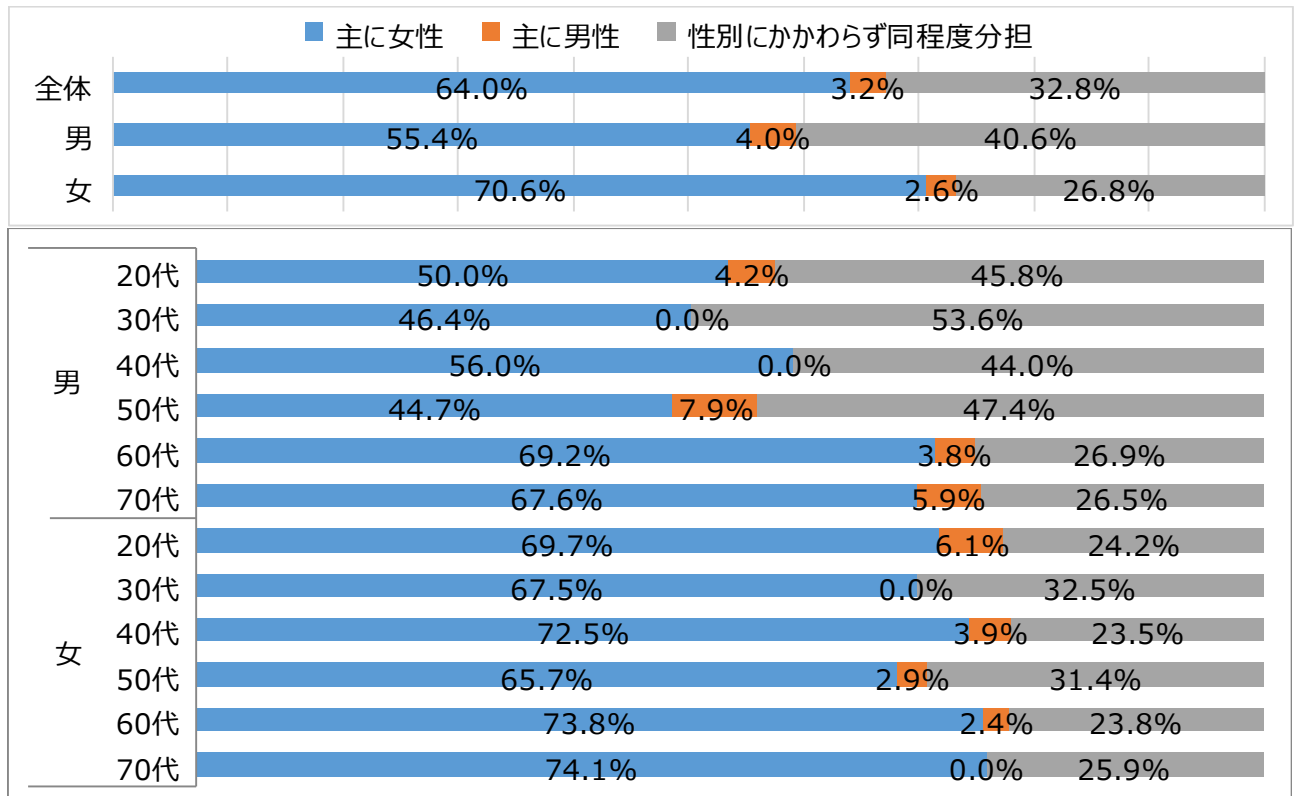
②食事のしたく（男性 175、女性 232）



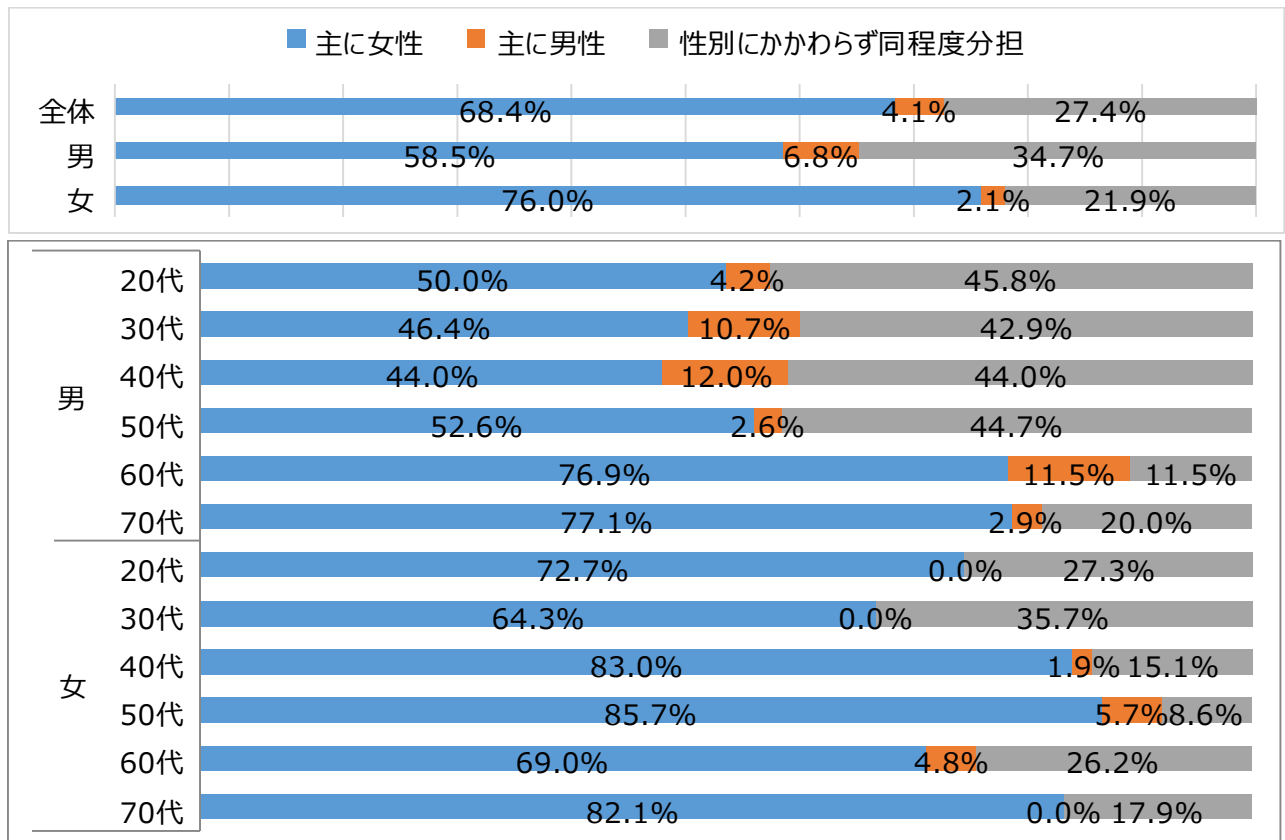
③食事の片づけ（男性 176、女性 232）



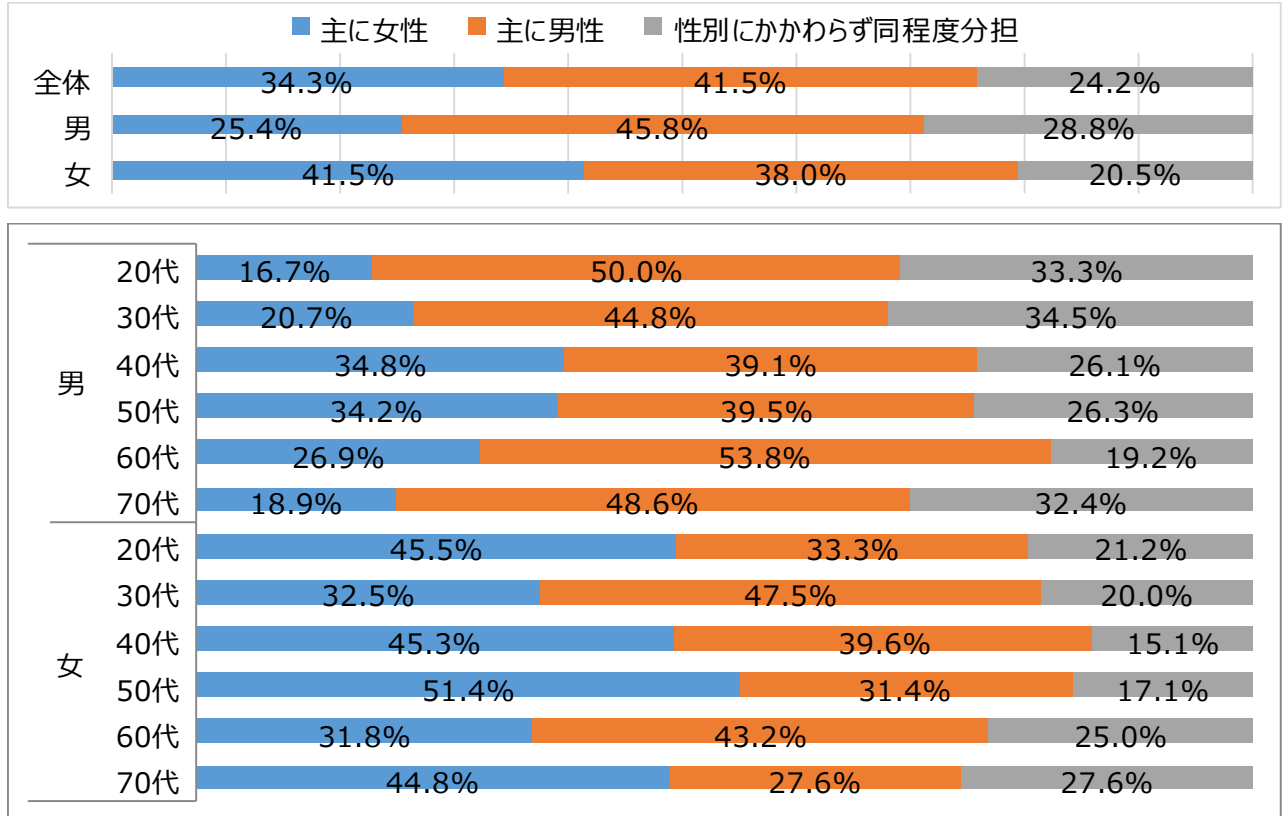
④掃除 (男性 175、女性 228)



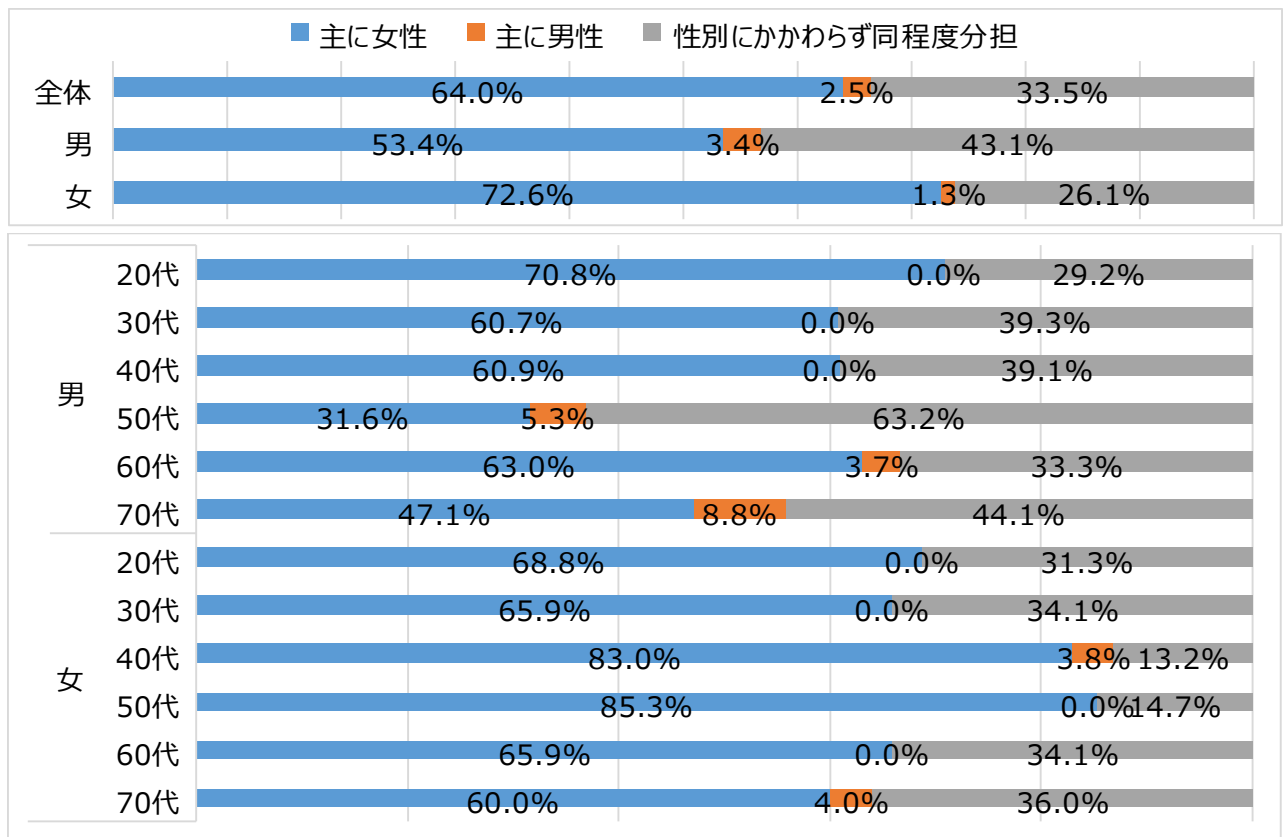
⑤洗濯 (男性 176、女性 233)



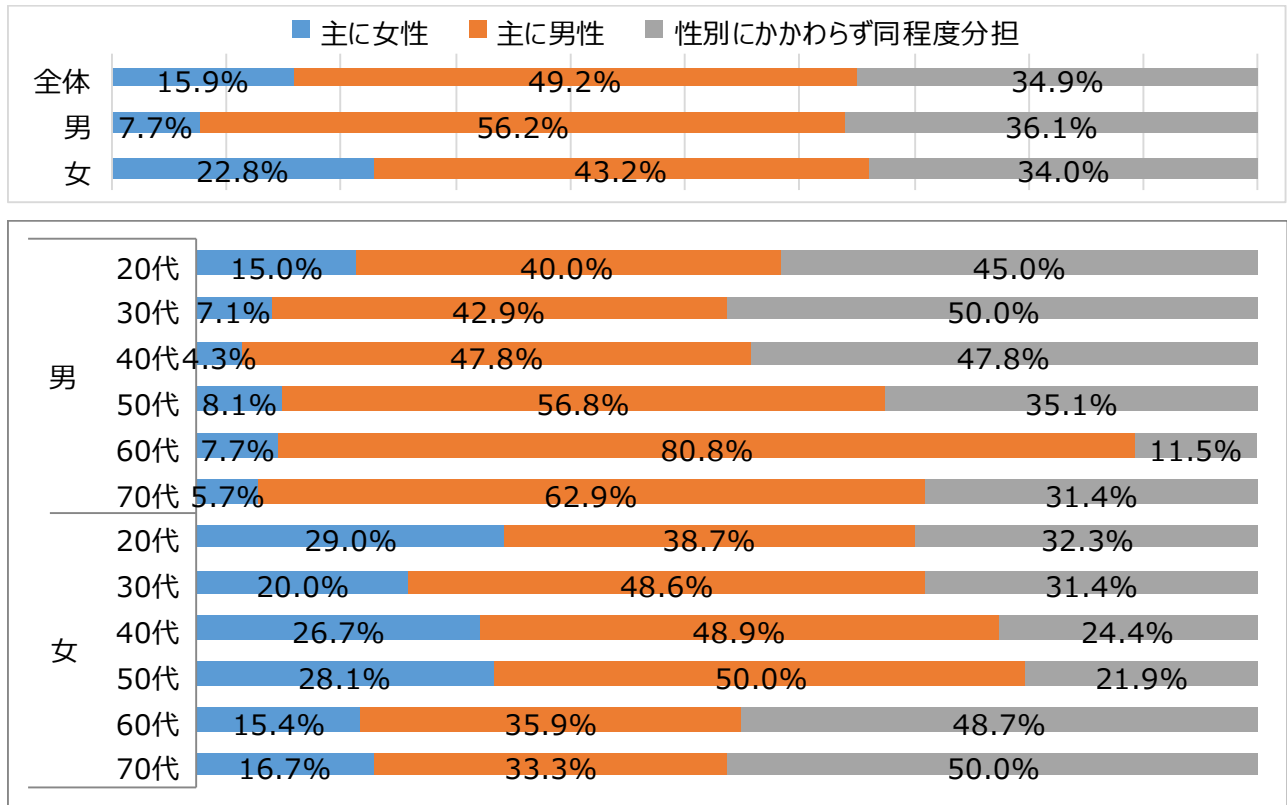
⑥ゴミ出し（男性 177、女性 234）



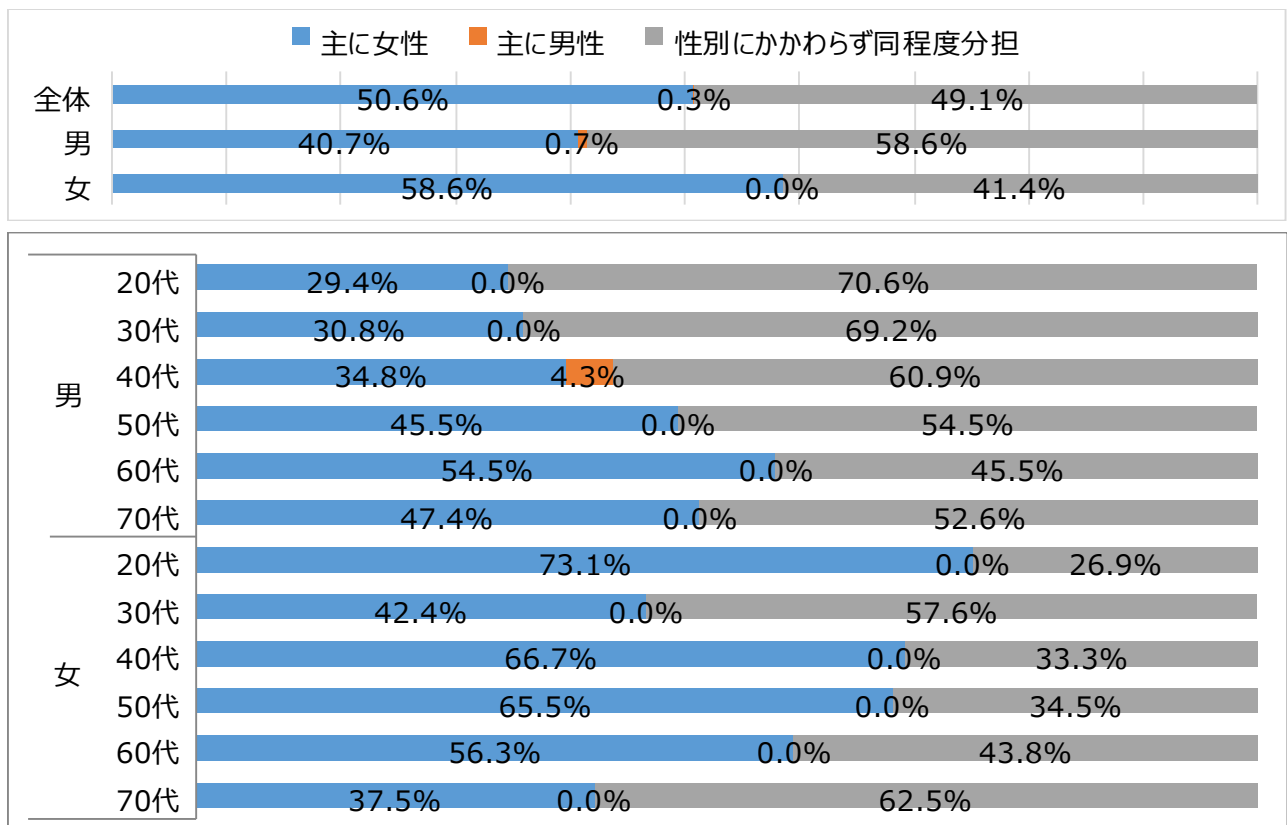
⑦日常の買い物（男性 174、女性 226）



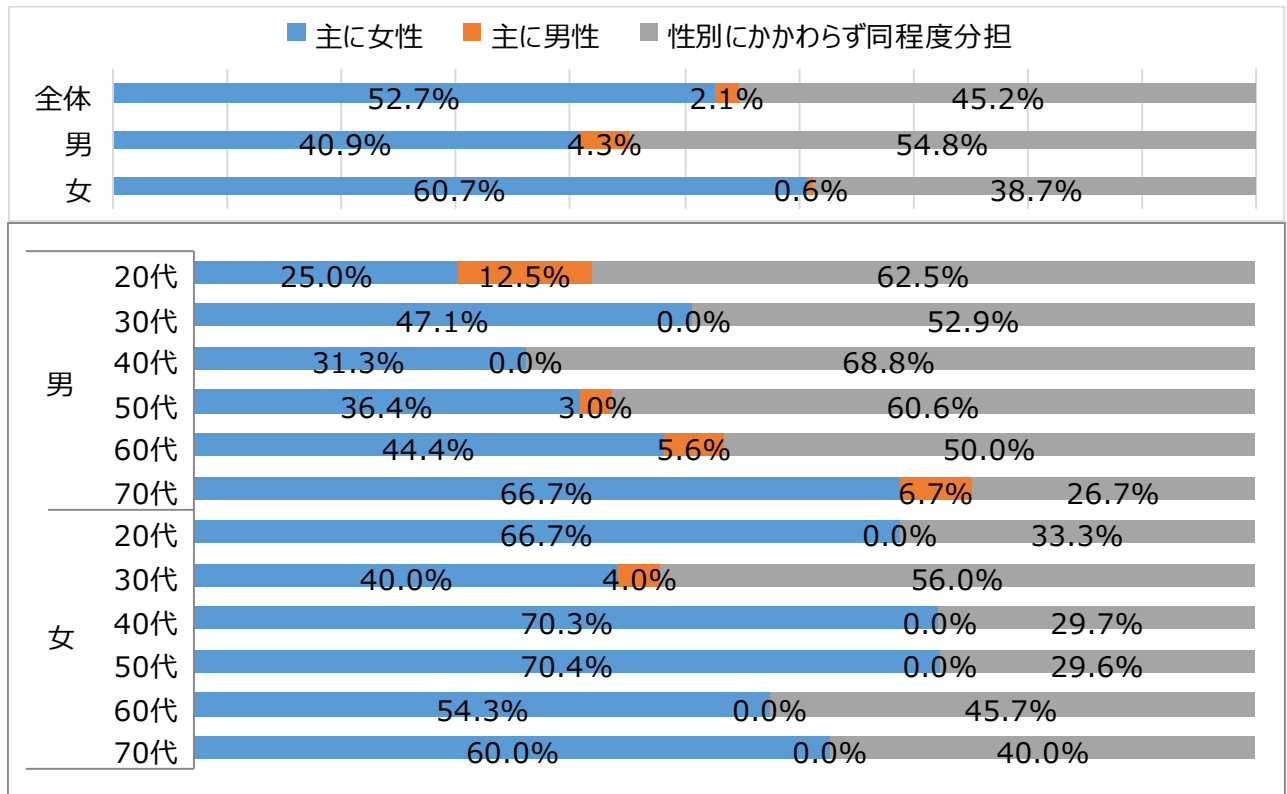
⑧庭の管理などの外での作業（男性 169、女性 206）



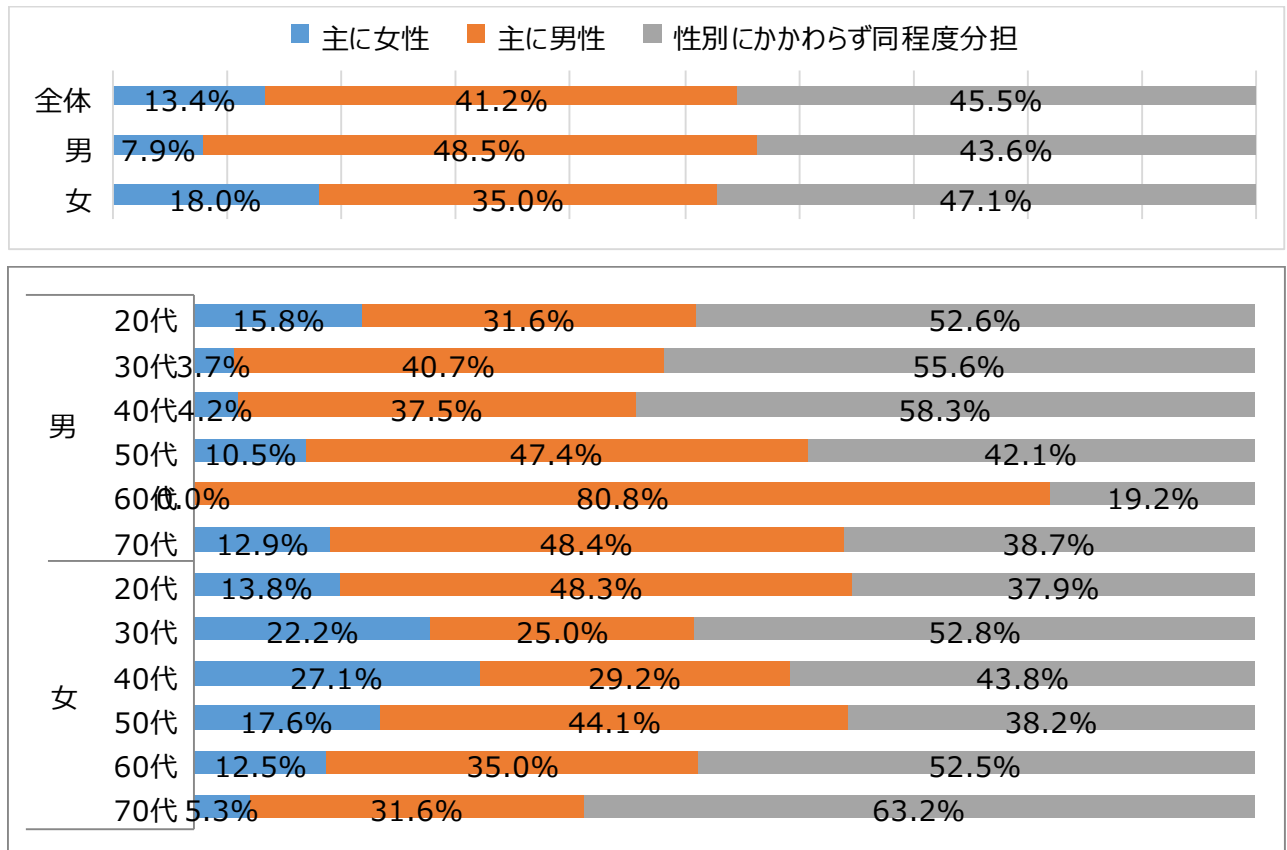
⑨子どもの世話（男性 140、女性 181）



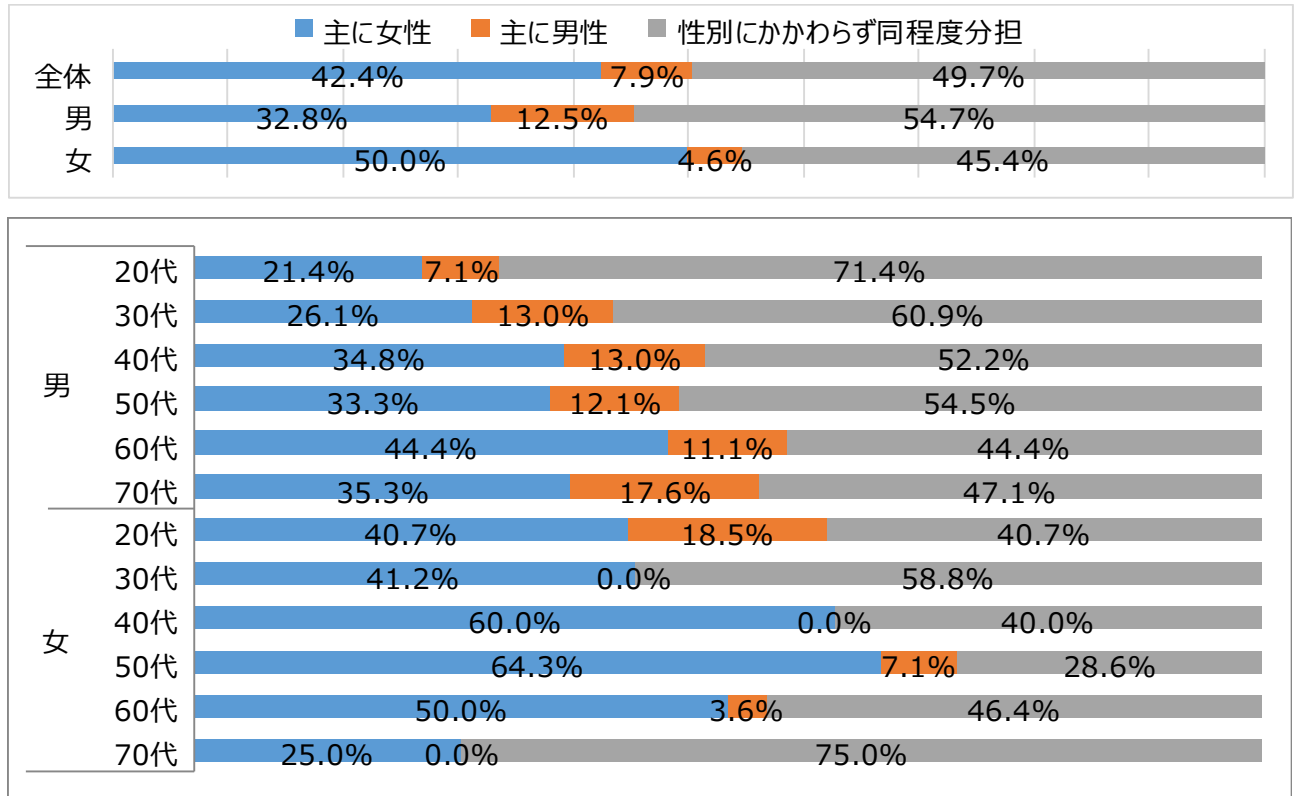
⑩介護・病人の世話（男性 139、女性 139）



⑪地域活動（男性 165、女性 206）



⑫子どもの学校活動・行事への参加（男性 128、女性 174）



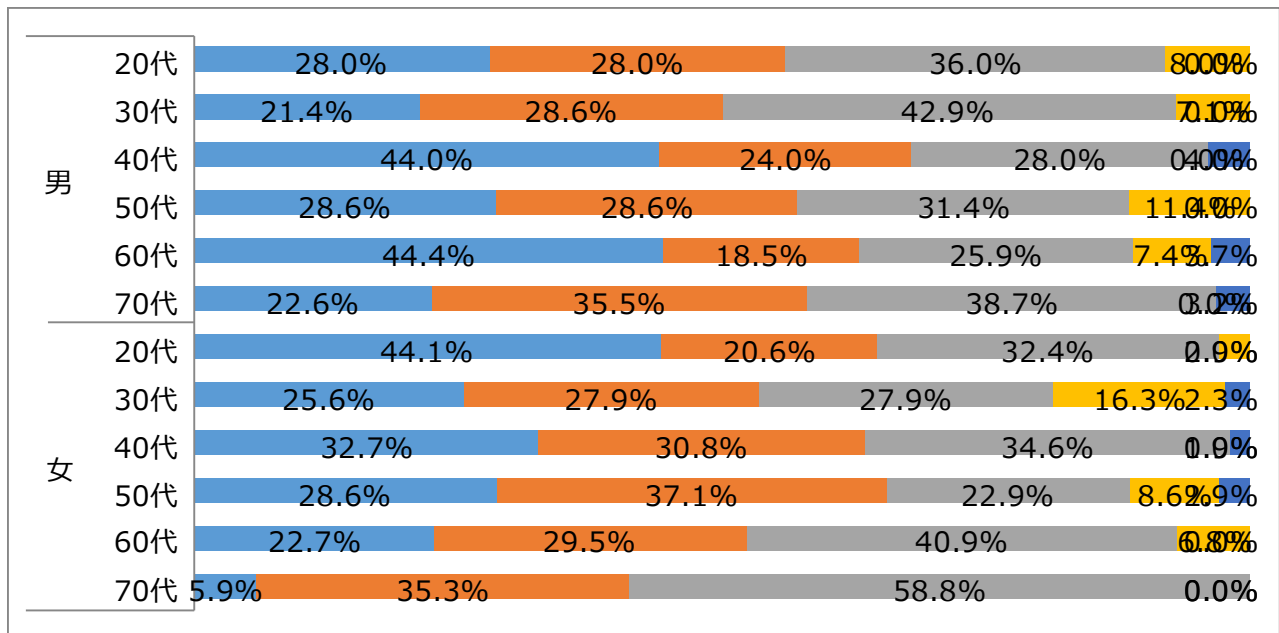
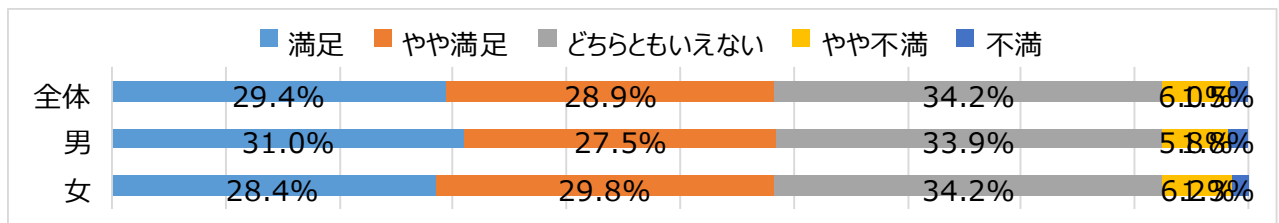
3 単身世帯以外の方へ、2の役割分担に対して満足していますか。(各項目につき1つ○)

性別、年齢別にみると、2で「主に女性」の回答の割合が高かった「食事のしたく」「食事の片づけ」「掃除」「洗濯」は、全年代で男性より女性の方が“満足”（「満足」「やや満足」）と回答している割合が低く、かつ女性の“不満”（「やや不満」「不満」）の回答も目立っている。「子どもの世話」「子どもの学校活動・行事への参加」も男性より女性の方が“満足”（「満足」「やや満足」）と回答する割合が低くなっている。

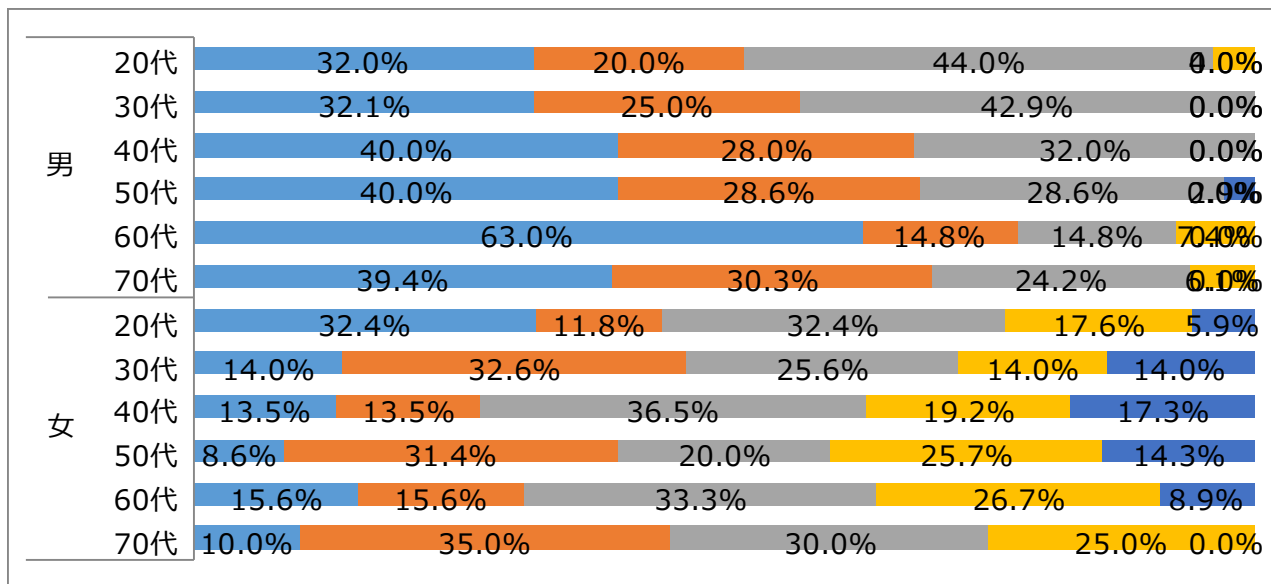
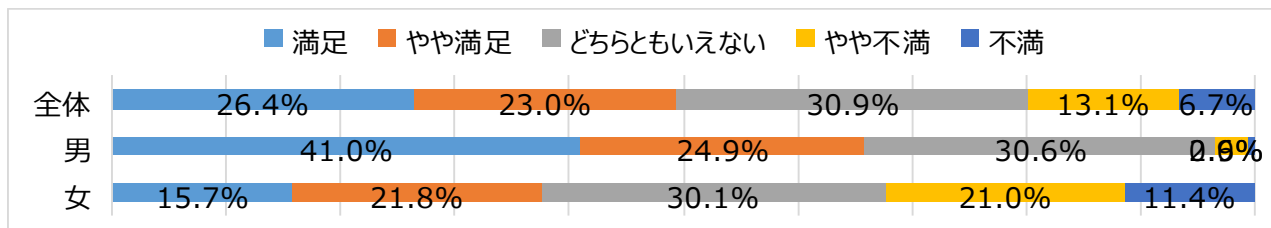
また、「満足」5点～「不満」1点とし、全項目の平均点を算出すると、最も満足度が高かった上位3位は「ゴミ出し」「収入を得ること」「日常の買い物」である。一方で、不満度が高かったのは「介護・病人の世話」「子どもの学校活動・行事への参加」「食事のしたく」である。

※以下のグラフは、分担があると回答した数字を総数として、性別ごとの回答人数を項目名の右（ ）内に表記している。

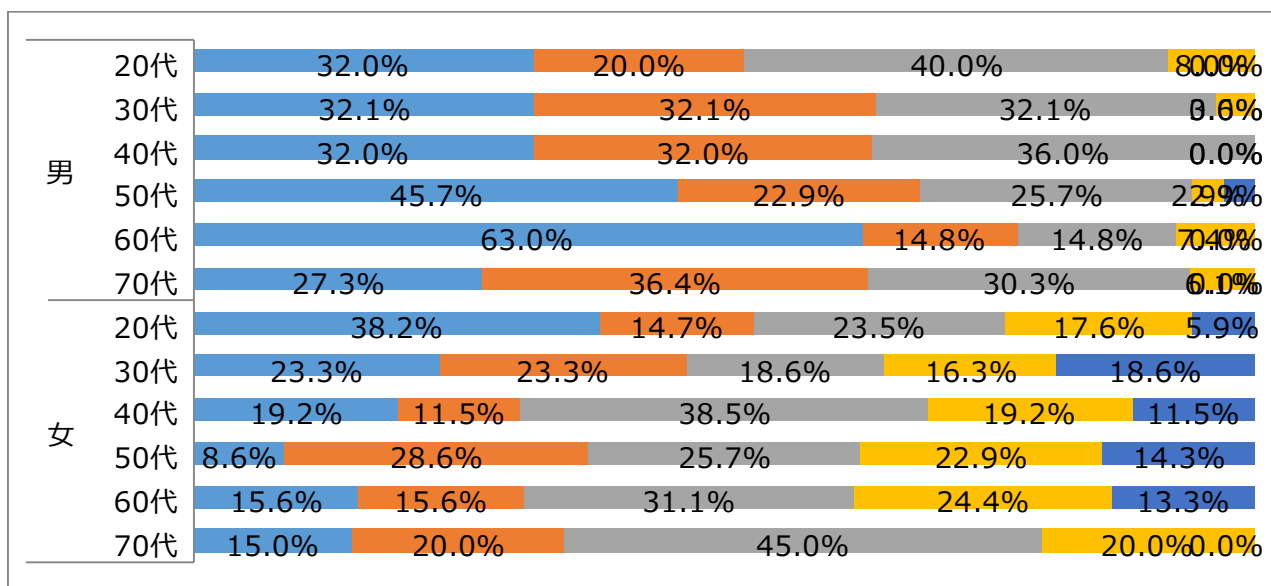
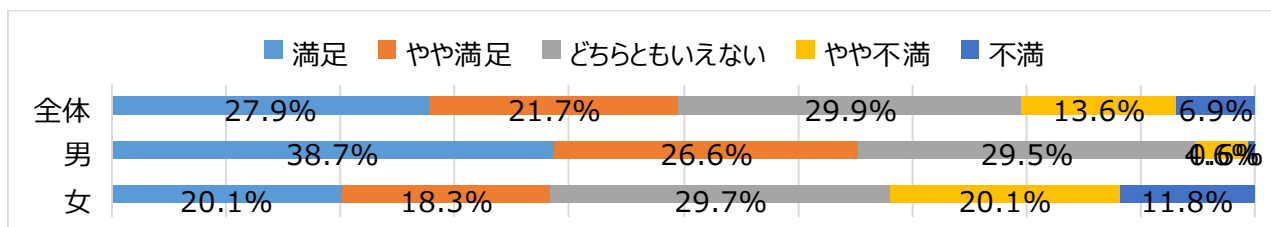
①収入を得ること（男性 171、女性 225）



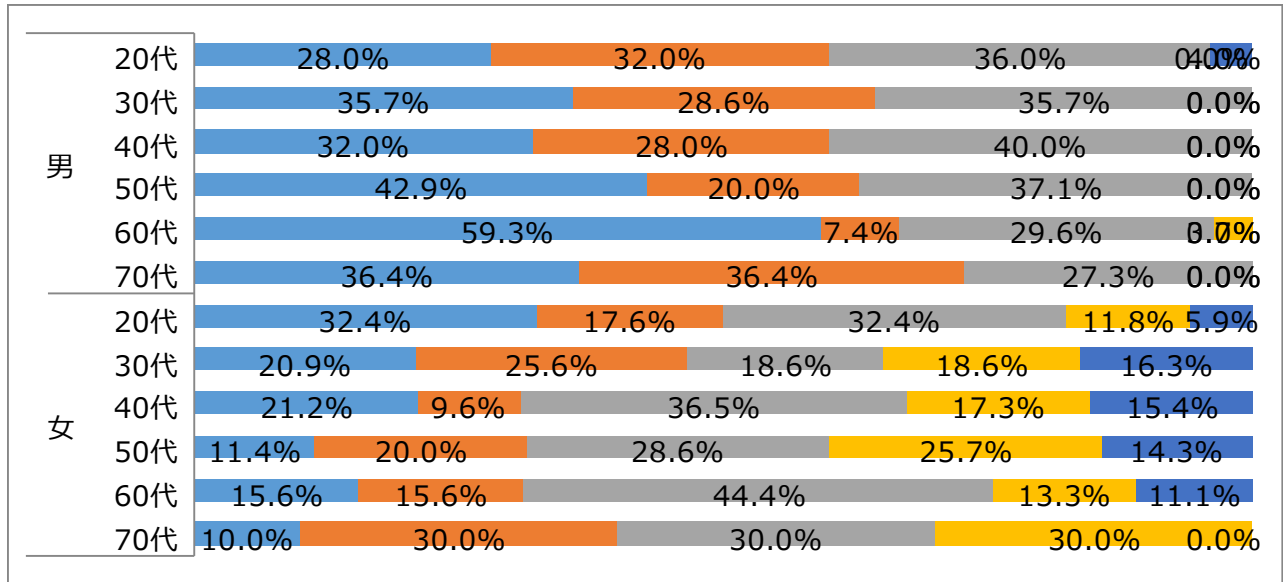
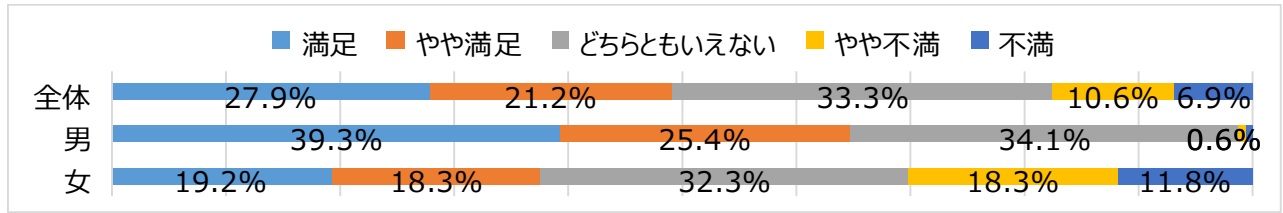
②食事のしたく（男性 173、女性 229）



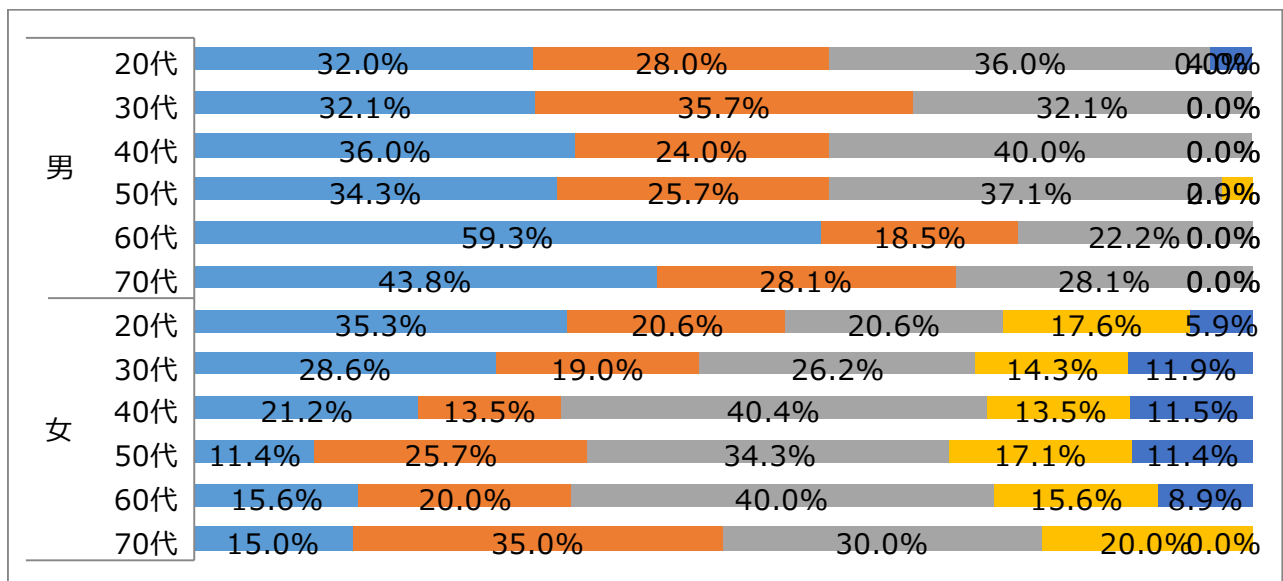
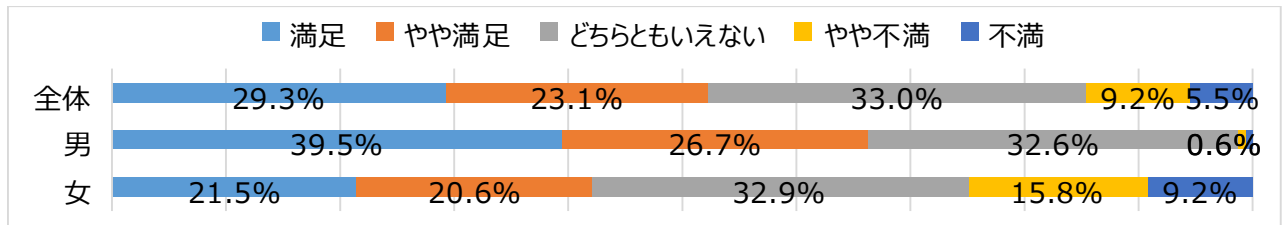
③食事の片づけ（男性 173、女性 229）



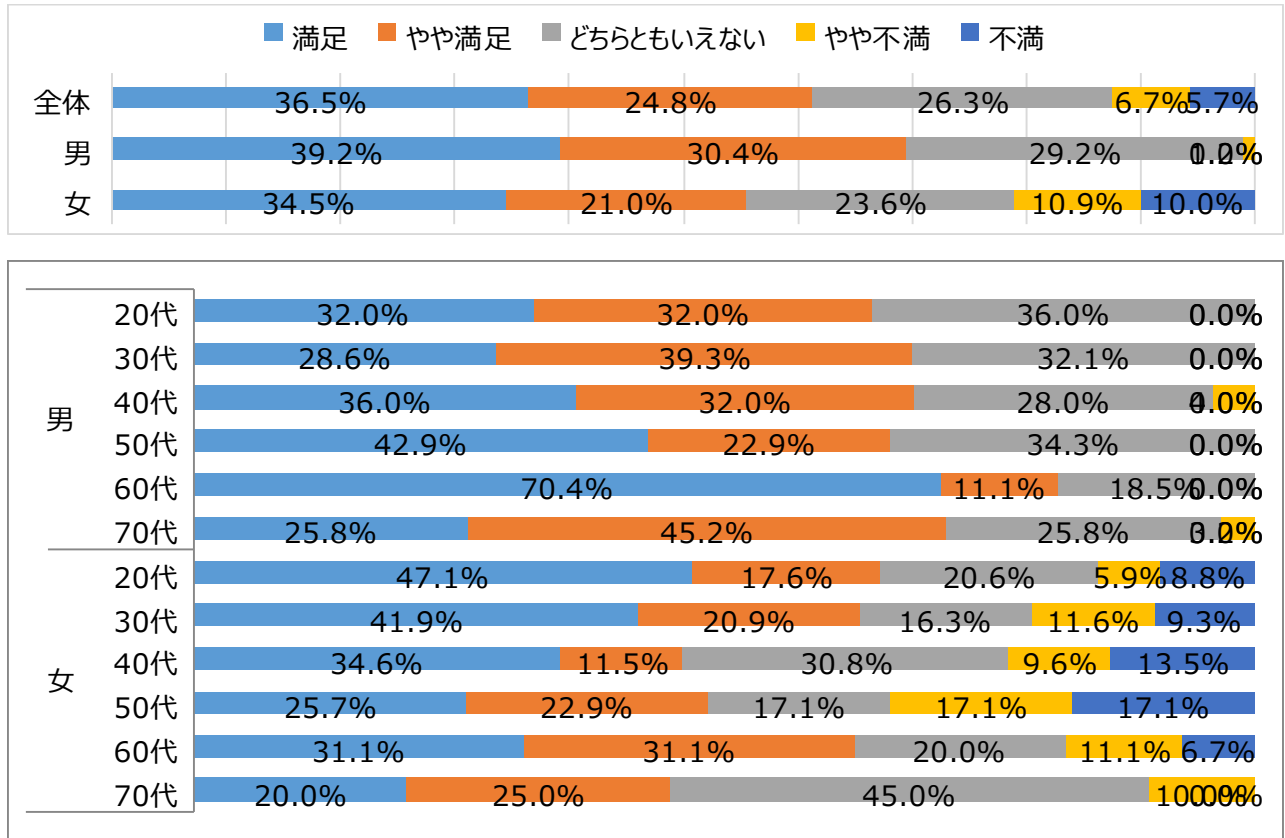
④掃除 (男性 173、女性 229)



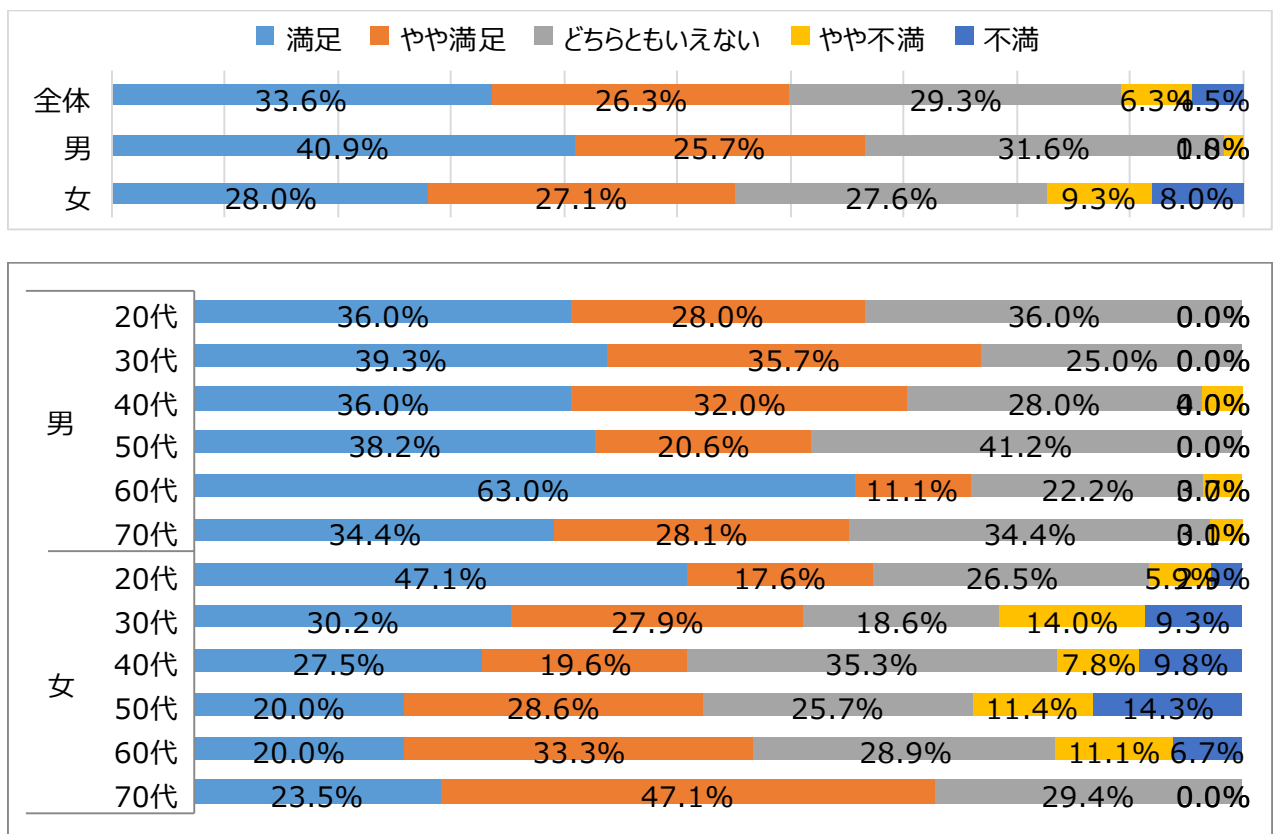
⑤洗濯 (男性 172、女性 228)



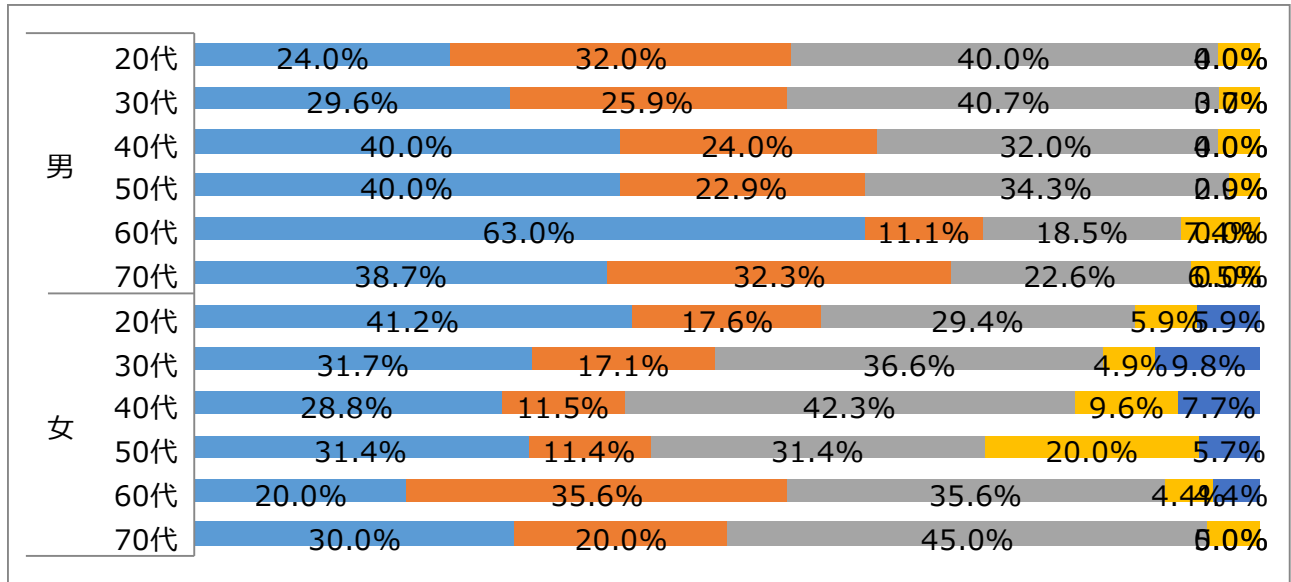
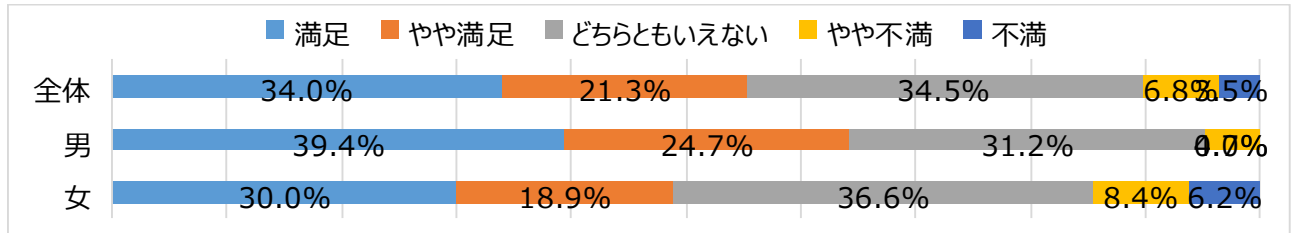
⑥ゴミ出し（男性 171、女性 229）



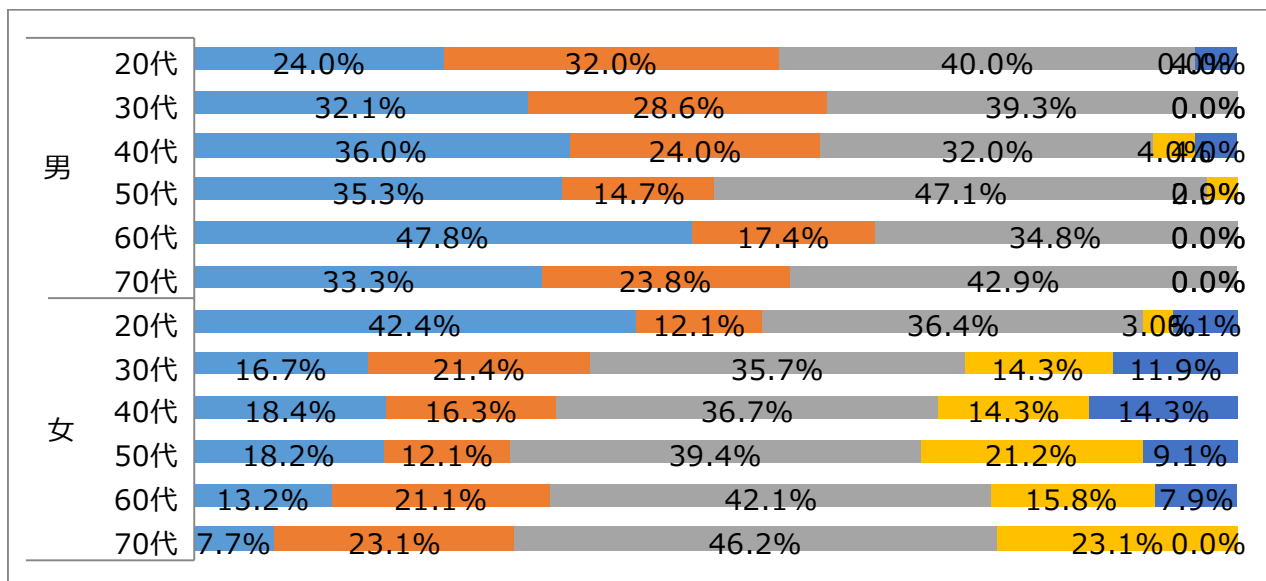
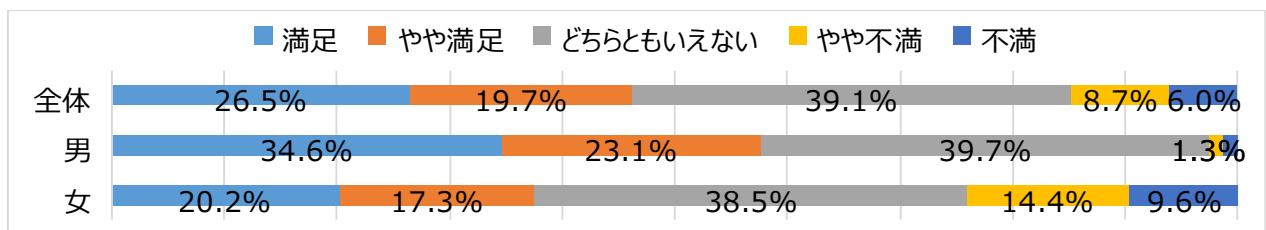
⑦日常の買い物（男性 171、女性 225）



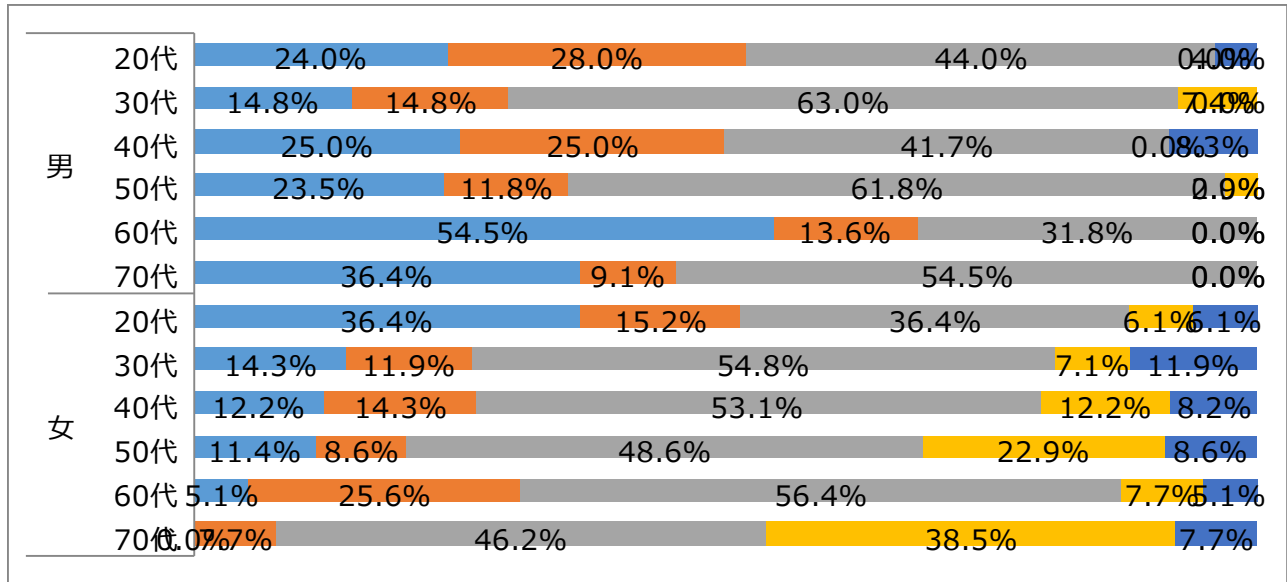
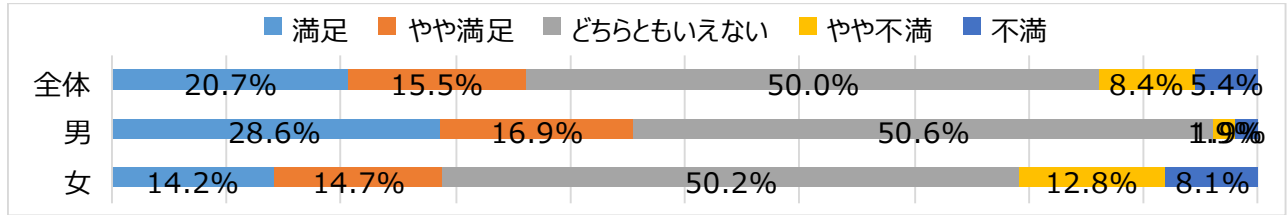
⑧庭の管理などの外での作業（男性 170、女性 227）



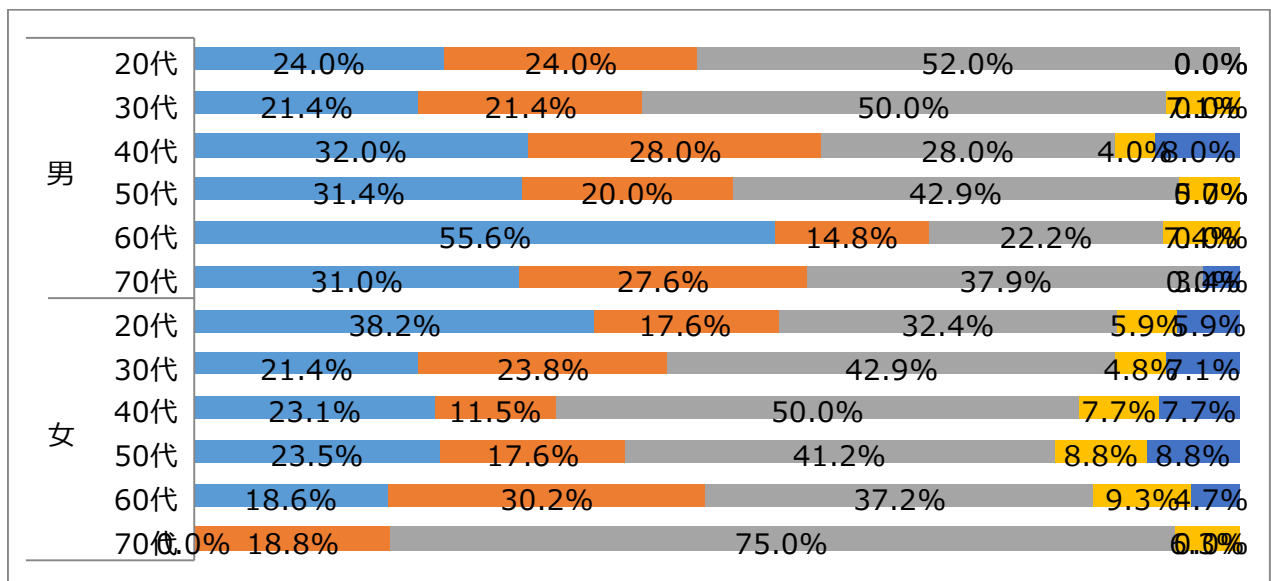
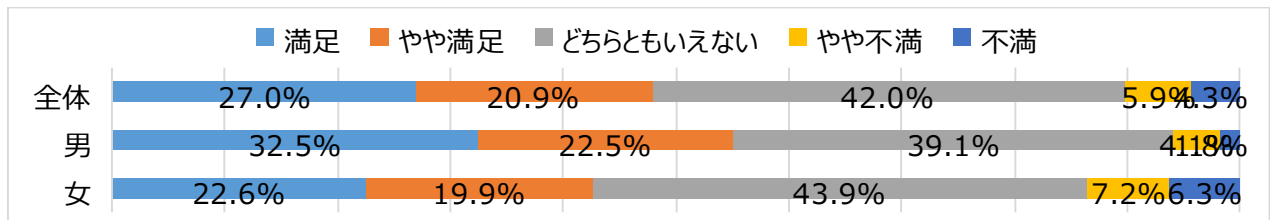
⑨子どもの世話（男性 156、女性 208）



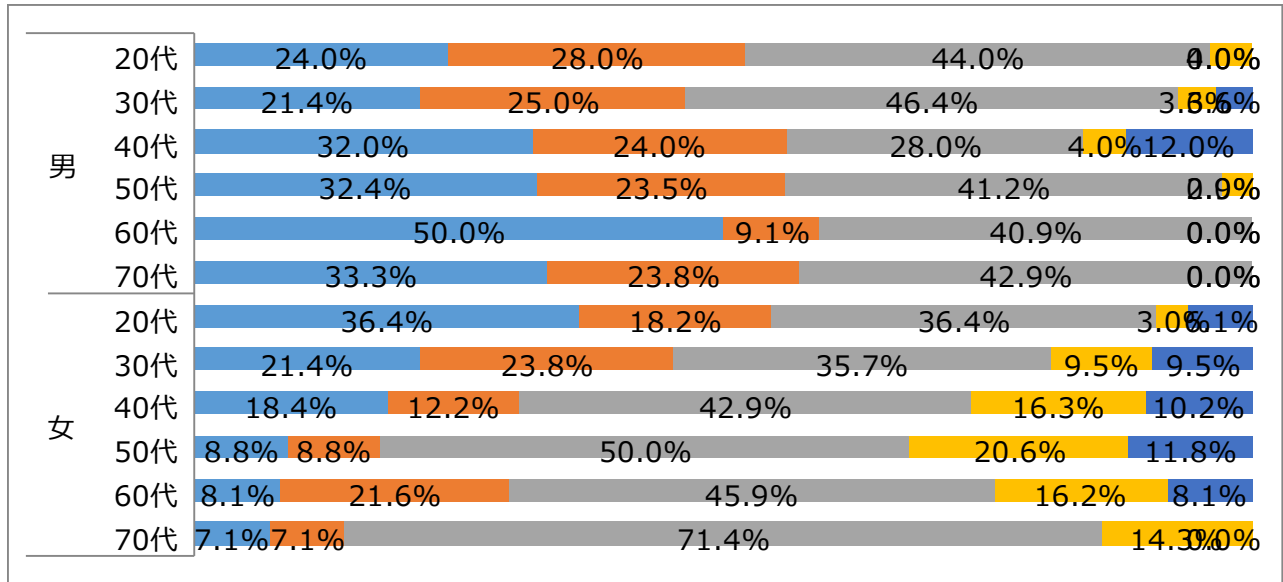
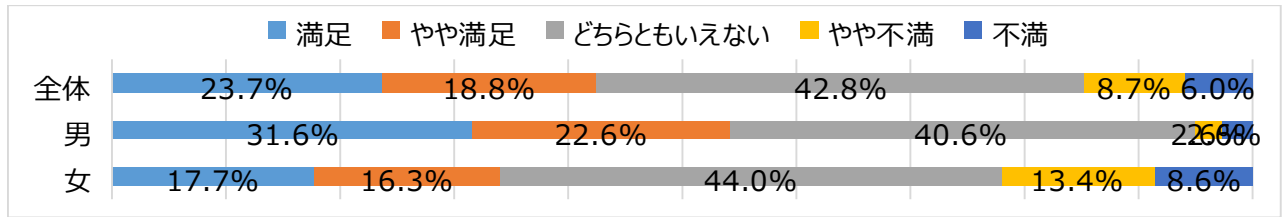
⑩介護・病人の世話（男性 154、女性 211）



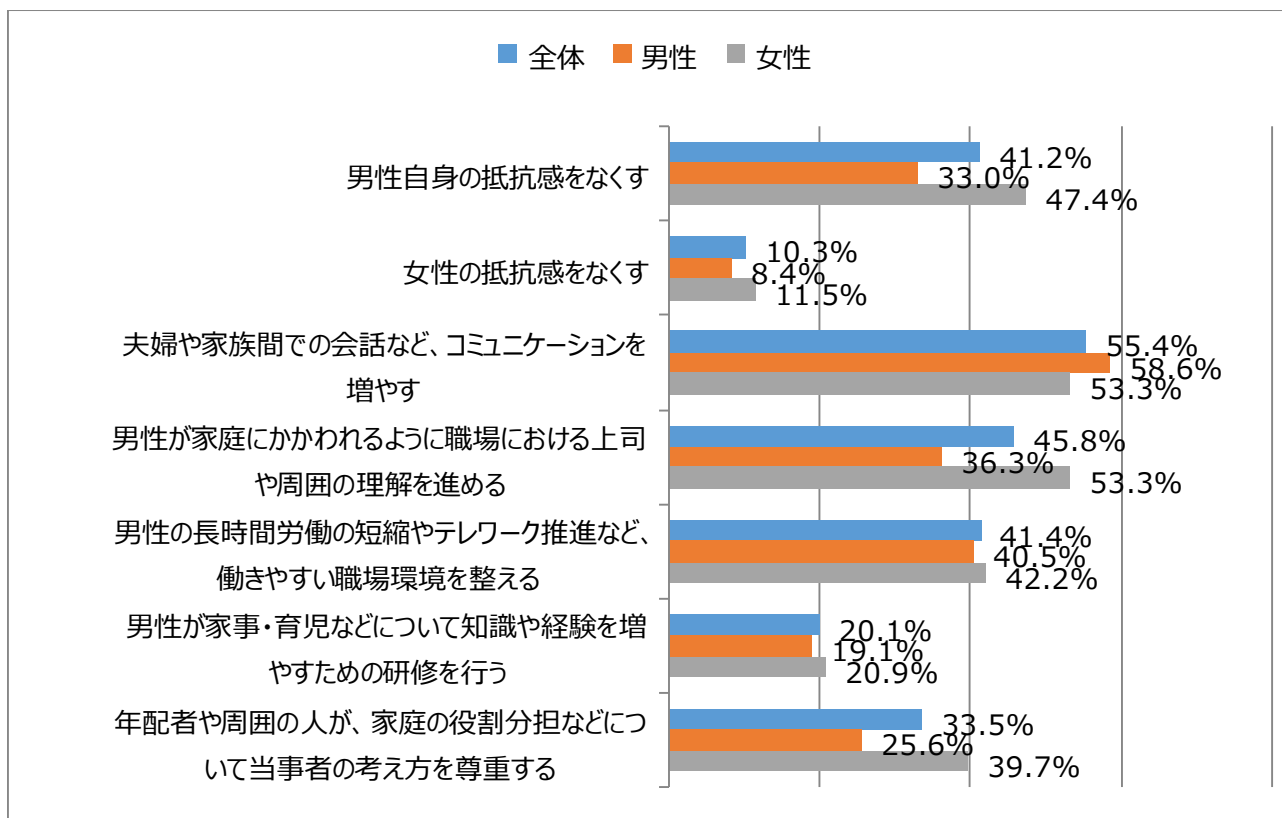
⑪地域活動（男性 169、女性 221）



⑫子どもの学校活動・行事への参加（男性 155、女性 209）



4 男性が女性とともに家事、子育て、介護に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか？（特に重要だと思うものに○（複数選択可））



【その他の回答】

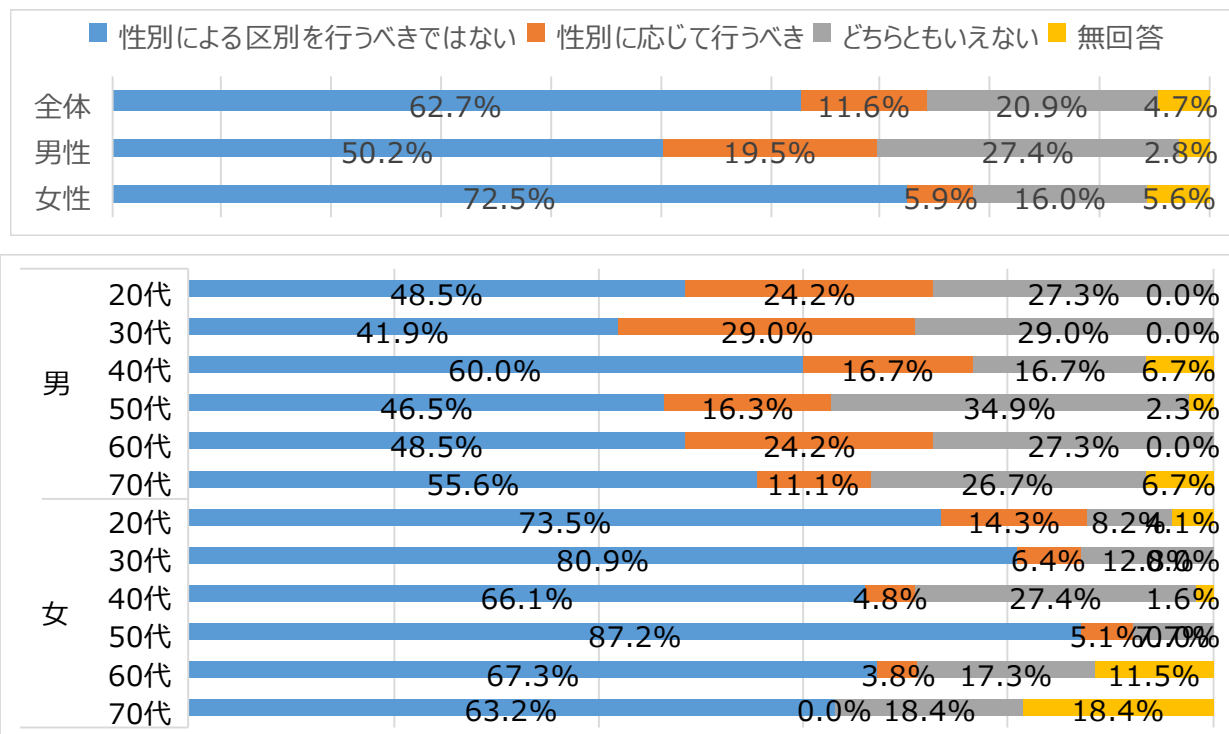
- ・ 家庭、学校での教育
- ・ 参加する、しないは個々の考えを尊重すべき
- ・ 妻を第一に考える
- ・ ものぐさな考えをやめること
- ・ 古い価値観だと言うことを理解させるために CM をつくる（PR 動画）
- ・ 収入を安定させる
- ・ いろんな意味で余裕がないからだと思う。また教育や習慣もあるのでは。
- ・ 子育て等の期間で減収しても、問題なく暮らせるだけの収入に見合う能力の会得。
- ・ 男性が じゃなくて、男性と女性が共に じゃないでしょうか？
- ・ 制度を使ってもいいではなく、使わせる！会社の義務にする。特に育休や産休、パパクオータの導入
- ・ 男性、女性共に参加していくことを学校の授業で取り入れる。
- ・ 自分の意思
- ・ そもそも男女が・・・ということではなく、男女ともに働きやすく、子育て・介護がしやすい社会の仕組みが必要である。
- ・ 年配の方の、女は家の事（家事、食事等）はすべきとの考えをなくす
- ・ 休日出勤禁止にしてほしい。取引先も休日に呼ぶのを控えてほしい。
- ・ 本人の自覚や意識改善も必要だと思う
- ・ 私がやらなければ多少はすると思われる。
- ・ 思いやりの気持ち
- ・ 介護は、積極的に参加しなければいけないのですか？ 毒親の介護はしたくないです。
- ・ 地域の暇な年配の方たちがもっとボランティア活動(小中学生の登下校の見守り活動など)をしてきて、現役世代の負担を少しでも減らしてくれる。
- ・ 無理

5 子どものしつけ（育て方）や教育についてあなたの考えに一番近いものはどれですか？

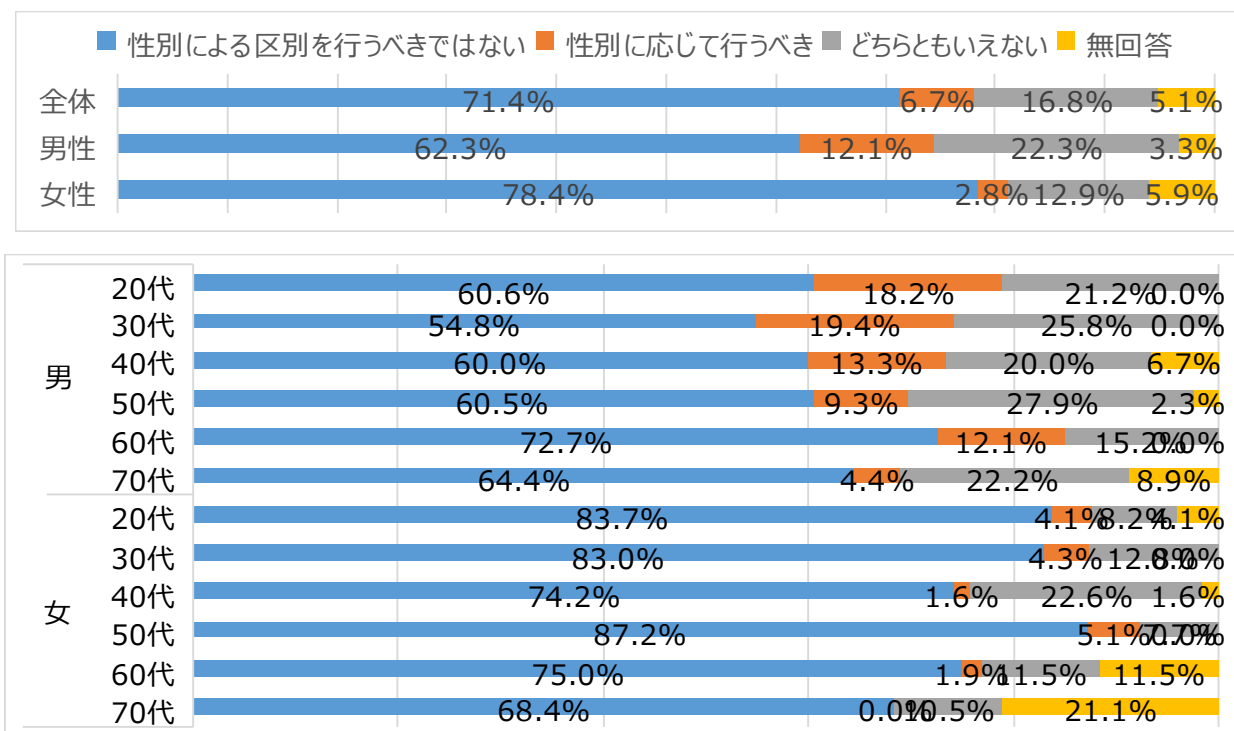
（各項目につき1つ○）

しつけ（育て方）、教育ともに「性別による区別を行うべきではない」と回答した割合が半数以上となっている。一方で、いずれも「性別に応じて行うべき」と回答した割合は男性の方が女性より高くなっている。

しつけ（育て方）

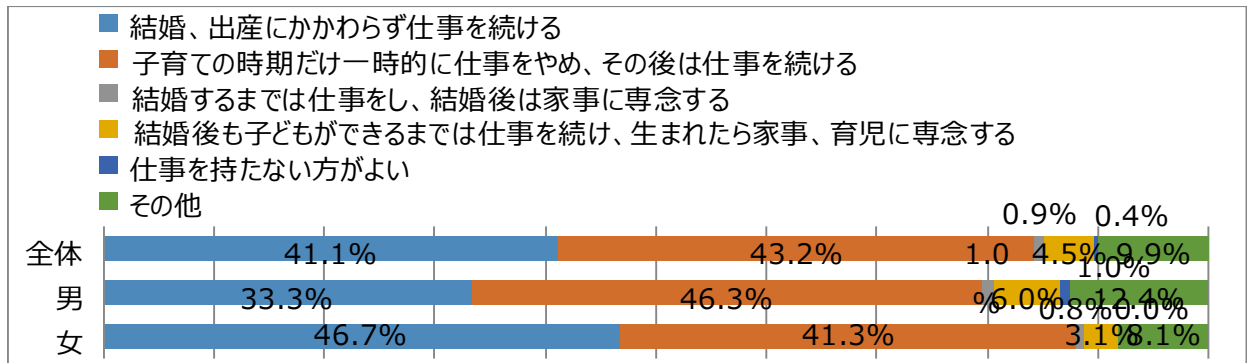


教育



4. 仕事

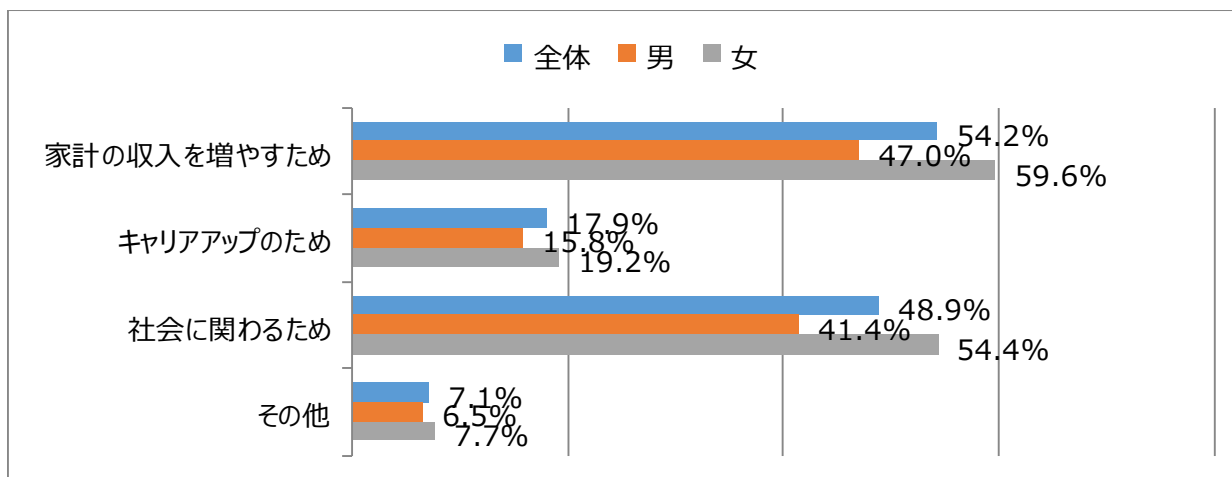
1 女性の働き方について、あなた自身はどのような形が望ましいと思いますか？男性の方は、妻やパートナーなど身近な女性についてお答えください。（1つに○）



【その他の回答】

- ・ それぞれの考えで行動すればよい
- ・ 本人の意志を尊重する
- ・ お金に余裕があれば好きにしたらよい
- ・ 話し合い
- ・ 本人の意思を尊重すべき
- ・ 個人に任せる
- ・ 1人1人ちがう
- ・ 本人の意志を尊重する。
- ・ 女性の意志を尊重してあげれば良い
- ・ 自分自身の想いを尊重できるのがよい
- ・ 人それぞれでよい
- ・ ケースバイケースだと考える
- ・ 女性が望む形にできるだけ近づけること
- ・ 出産前後は仕事を休む
- ・ 個人の自由
- ・ 出産後は女性の体調、精神状態をみながら仕事について考える
- ・ それぞれ個人によって違うのでは
- ・ 本人の意向で決めればよい
- ・ 本人次第。
- ・ 女性の意見を尊重する
- ・ 好きにして欲しい
- ・ 個人の価値観、優先度に応じて決めれば良い
- ・ パートナーがどうしたいかによる。パートナーがしたいようにすれば良いし、お互いにそれで協力すれば良い
- ・ 相手の希望を尊重する
- ・ その時の状況に応じて柔軟に対応していくこと
- ・ 仕事をしないと生活できないため、仕事をしない選択肢はない
- ・ 個々の考え方や収入によって生活がいろいろあるので好きにすればいいと思う。
- ・ その人が働きたいなら働けばよい。結婚しても個人や夫婦の考え方でよいと思う。
- ・ 本人の望む形をとったら良いと思う。
- ・ 本人の希望する形を選択できるような社会の制度がある
- ・ 結婚せず働く事
- ・ 個人のことだから、何も言えない。
- ・ そのときの家庭の状況で判断する。
- ・ その方の家庭事情など考えて、それぞれの働き方があってよい
- ・ 個人の自由
- ・ 体調、精神、パートナーの協力により変わる
- ・ そのときにならないとわからない
- ・ 本人の自由。経済状態に応じて話し合えば良い。できれば私は家庭に入りたい。
- ・ 家庭の状況によって異なるので、お互いが納得した形であれば良いと思います。
- ・ どうするか家庭で話し合う
- ・ 上記の選択肢どれも選びたい時に選べる環境
- ・ 自分の思うようにするのがよい
- ・ 本人の意志を尊重。仕事を続けたい場合は続け休暇が必要な場合は休暇を取る。
- ・ 人それぞれだと思う。私自身、紆余曲折あって今に至っているから。
- ・ 働きたい時に働ける

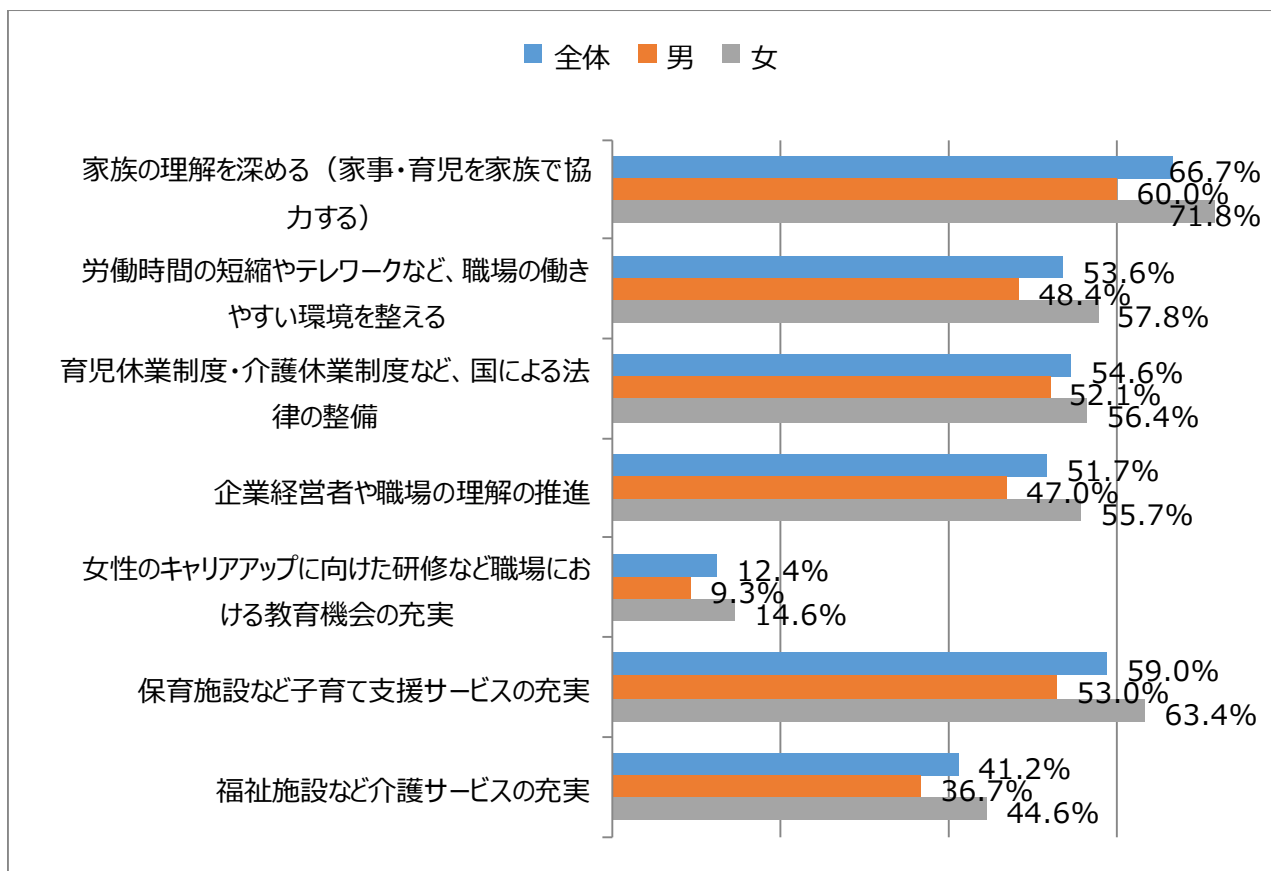
2 <1で「結婚、出産にかかわらず仕事を続ける」か「子育ての時期だけ一時的に仕事をやめ、その後は仕事を続ける」を選んだ方へ>理由を教えてください。(すべてに○)



【その他の回答】

- ・ 農作業なので忙しい時期は手伝ってほしい
- ・ 女性の自由
- ・ 家にずっといてもストレスが溜まりそうだから
- ・ 子どもの関わりを増やす
- ・ 本人の希望による
- ・ 本人がそのように希望しているため、それを尊重
- ・ 平等
- ・ 自分のやりがいのため
- ・ 個人男女別無く
- ・ 妻が望むならそれでよいから
- ・ 本人が決めること
- ・ 意思の尊重
- ・ 自分らしく生きてゆくために必要ならば
- ・ やりたいことをやってほしい
- ・ 体力の問題
- ・ いち個人の生き方として
- ・ コミュニケーション
- ・ 仕事を極めたいから
- ・ 再就職は何かと下げられるから
- ・ 自分の活力
- ・ 子育てしながら職を探すことは難しいと思う。
- ・ やめる必要はないと思う。
- ・ 家庭外にも楽しみを見つけるため
- ・ 適度にガスぬきできる部分もあり
- ・ 家庭だけに閉じこもるのや嫌
- ・ 自分が自分であるため
- ・ 子育ては男性もする
- ・ 全然考えていません
- ・ 自信を持って生きていくため
- ・ 偏見を持たないため
- ・ 広い世界観で生き生きと人生を送るため
- ・ (仕事・人生を) 楽しむため
- ・ 人生を楽しむため
- ・ 女性の意思尊重
- ・ 専業主婦の場合、配偶者が亡くなったり離婚したときに収入が途絶えるため
- ・ 労働者人口が減っているのだから、それを補うために女性は働かざるをえないため

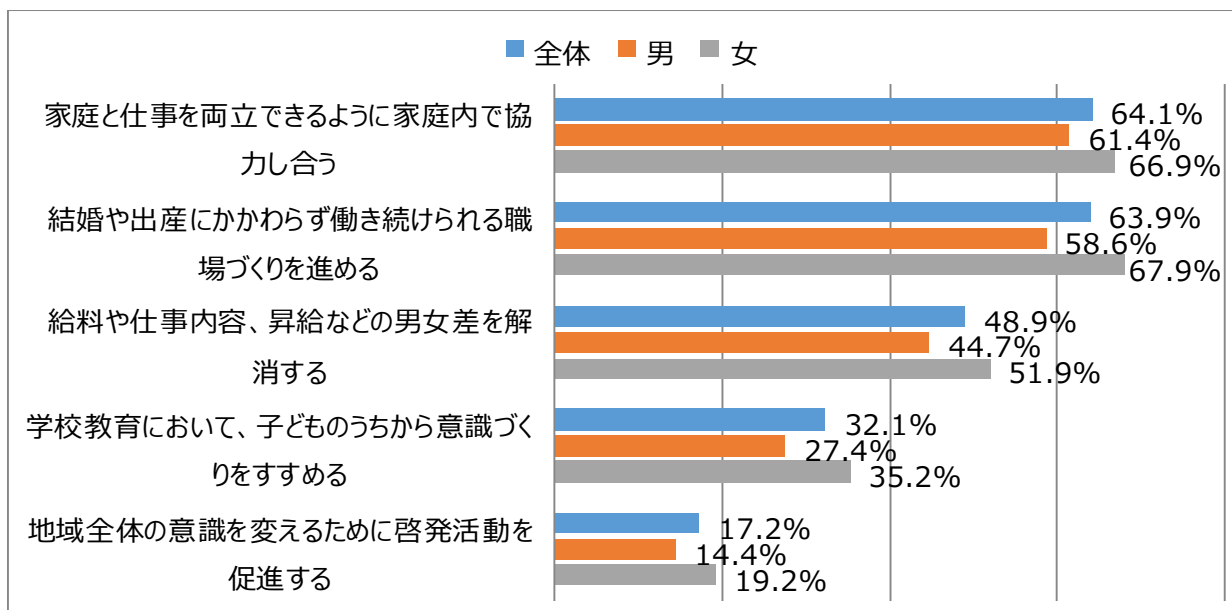
3 女性が結婚・出産・育児や介護によって退職せずに働き続けるためにはどのようなことが必要だと思いますか？（特に重要だと思うものに○（複数選択可））



【その他の回答】

- ・ 職場において、休める環境づくり
- ・ 外国のように産休代替の雇用制度をととのえる。産育休代替専門の派遣などがあればよい
- ・ 社会の仕組み
- ・ 収入の確保、夫への増額
- ・ 子どもが病気などで保育園を休む時に仕事を休みやすい（遠慮・気遣いせずに）職場の雰囲気
- ・ 結婚、出産、育児が負担になるならばなければよい
- ・ 誰もが年休を消化すること
- ・ 中高年女性の更年期や体力低下を理解して欲しい
- ・ 女性に就職しない選択肢があってもよい
- ・ 会話
- ・ 休学（職）中の収入対策
- ・ 安定した収入も必要
- ・ むしろ退職しても困らないような公的手当があるべき
- ・ 別に退職しても良い。退職する前と同等の収入を得るための研修会等の充実
- ・ 男女の性別にかかわらず、育児や介護があっても働き続けられる社会制度の整備。
- ・ 地域の人々の協力
- ・ ベーシックインカムを導入

4 性別にかかわらず全ての人に対等に働くためには、どのようなことが必要だと思いますか？（特に重要だと思うものに○（複数選択可））

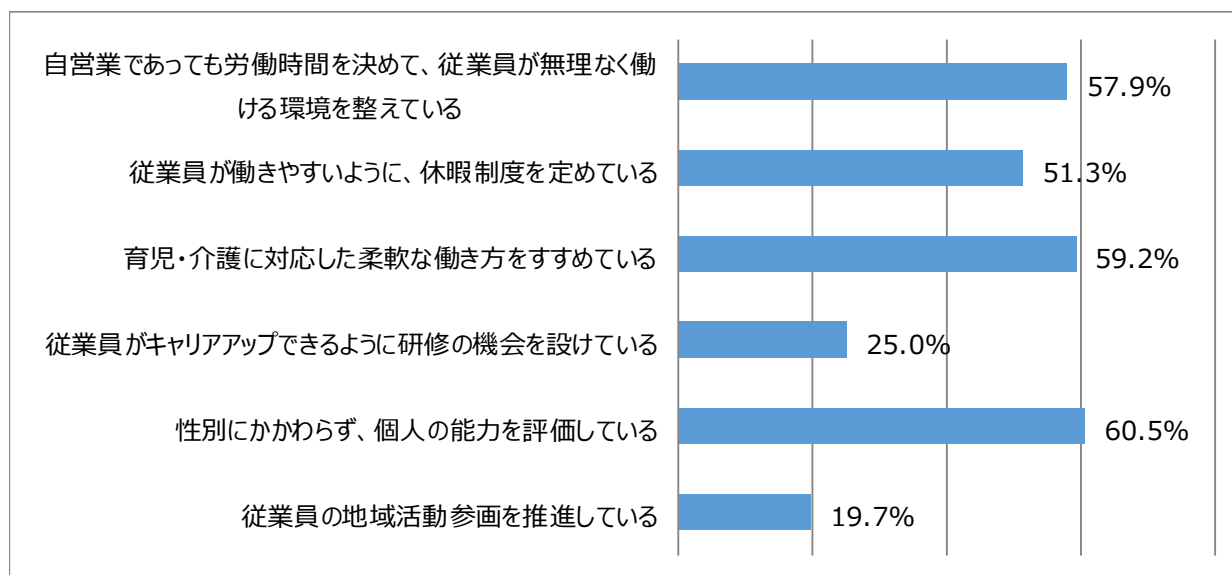


【その他の回答】

- ・ 障がいをもった子ども達の理解
- ・ 男性の小さいころからの育て方、意識づけ
- ・ 仕事と家庭を両立できるような教育をする。
- ・ 女性の考え方の改善
- ・ 女性に就職しない選択肢があってもよい
- ・ 置かれた状況での必要性を考える
- ・ 職場が少なすぎる、琴浦では無理

5 <自営業・経営者の方> 自身の職場について、該当する項目すべてに○をしてください。

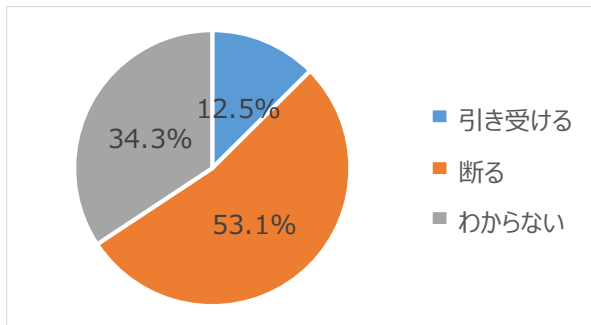
仕事の選択欄で自営業と回答した人のうち、「自営業であっても労働時間を決めて、従業員が無理なく働ける環境を整えている」「従業員が働きやすいように、休暇制度を定めている」「育児・介護に対応した柔軟な働き方をすすめている」「性別にかかわらず、個人の能力を評価している」については約半数が該当していると回答。



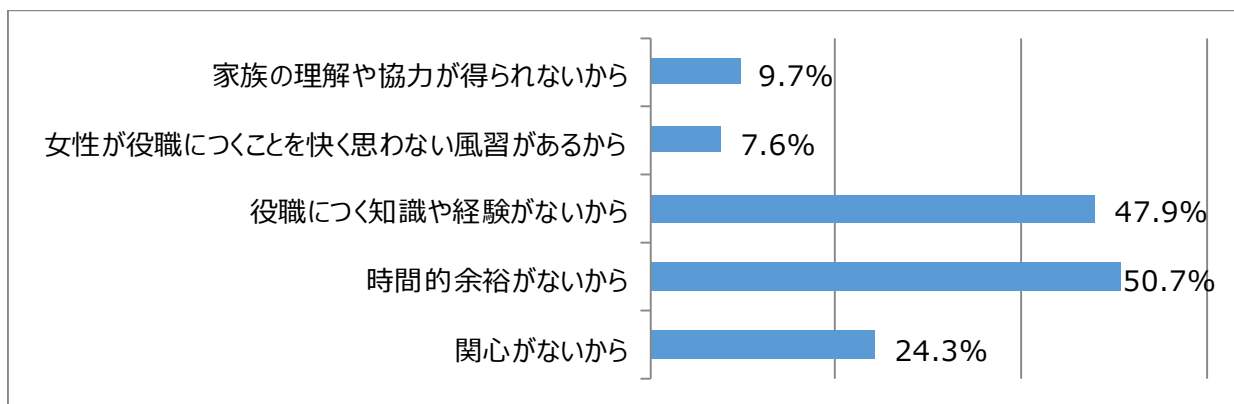
5. 地域活動

自治会長や区長、PTA 会長などの地域の役職について伺います。

1 <女性の方> もしあなたが地域の役職に推薦されたら引き受けますか？（1つに○）



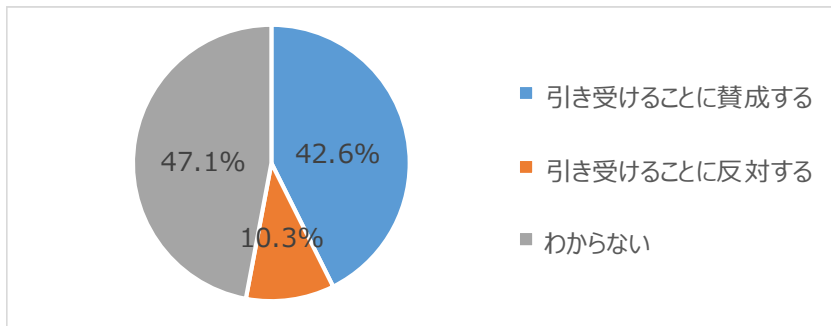
2 <女性の方：1で「断る」と答えた方> その理由を教えてください。（該当する項目すべてに○）



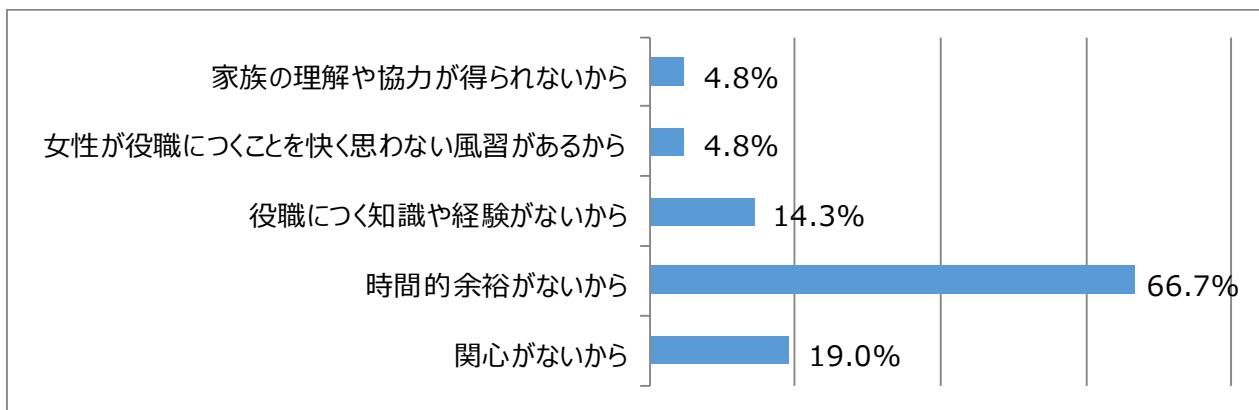
【その他の回答】

- ・ 精神疾患があるためサポートがほしいと考えられるため
- ・ このジェンダーな時代に琴浦町？私の住んでいる地域は女性部がある。なぜ女性だけの活動なのか意味がわからない。そういった役職は断る。
- ・ 高齢かつ健康に自信がない
- ・ 協力を得にくい、仕事・家事・子育て全ての負担があるから
- ・ 気持ちに余裕がないから
- ・ ばかにされるから
- ・ 役職は土日の会合が多く、土日夜 8 時まで仕事をしているので出られない
- ・ 高齢のため
- ・ PTA などいらないと思うおしつけあいで良い学校作りができるはずない
- ・ 体調が悪いから。（持病あり）
- ・ 夜の会合などに出ることが難しいから。
- ・ 苦手だから
- ・ 病気がちだから
- ・ 体が不自由なため自信がないから、病気をしているから
- ・ 仕事の勤務時間・日にちが不規則なため。行事のための休みを取りにくい。
- ・ 年齢的に体力、思考力的に無理

3 <男性の方> 妻やパートナーなど身近な女性が地域の役職に推薦されたとしたら引き受けることを賛成しますか？（1つに○）



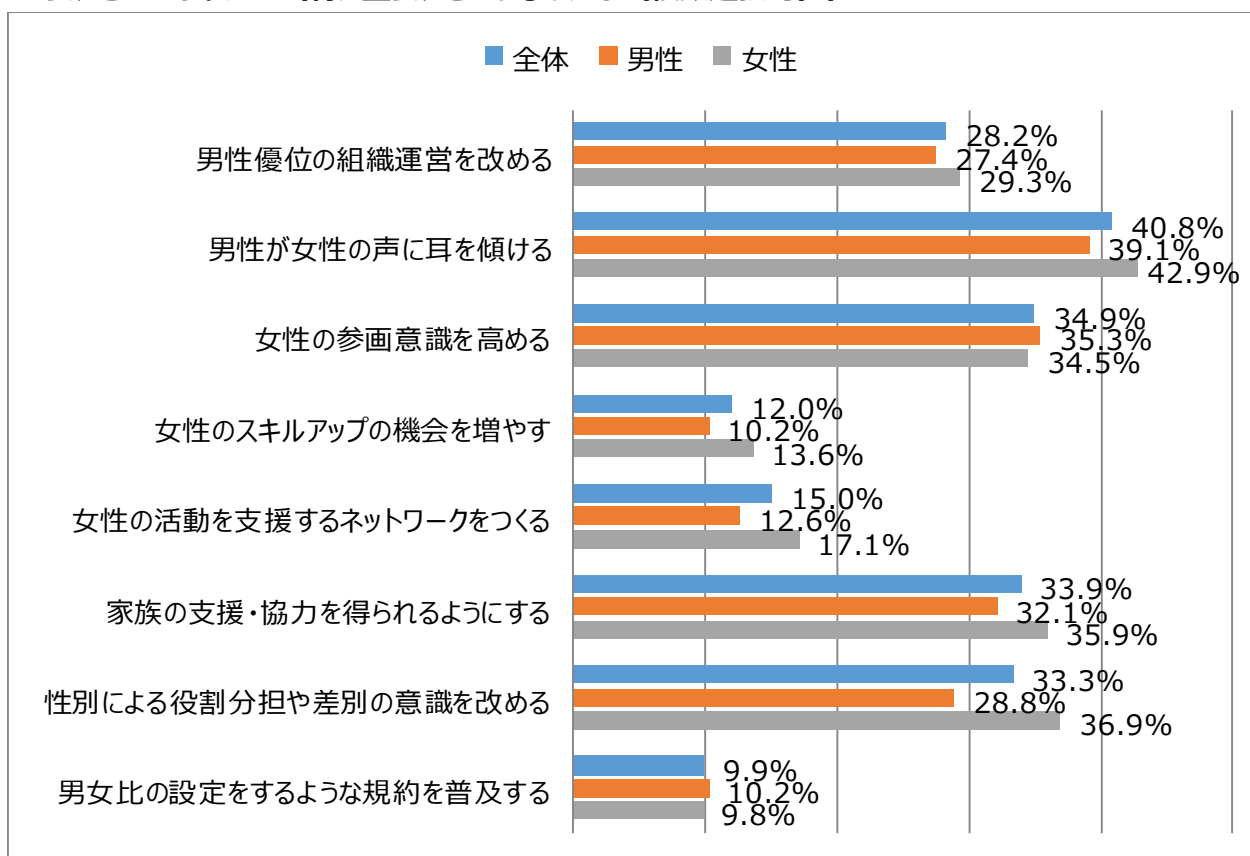
4 <男性の方：3で「引き受けることに反対する」と答えた方> その理由を教えてください。（該当する項目すべてに○）



【その他の回答】

- ・ 地域の役にも不必要なものがあるから
- ・ 家の中の生活に影響が出る

5 町内会や自治会において、企画や方針を決める場に女性が参画していくためにはどのようなことが必要だと思いますか？（特に重要だと思うものに○（複数選択可））

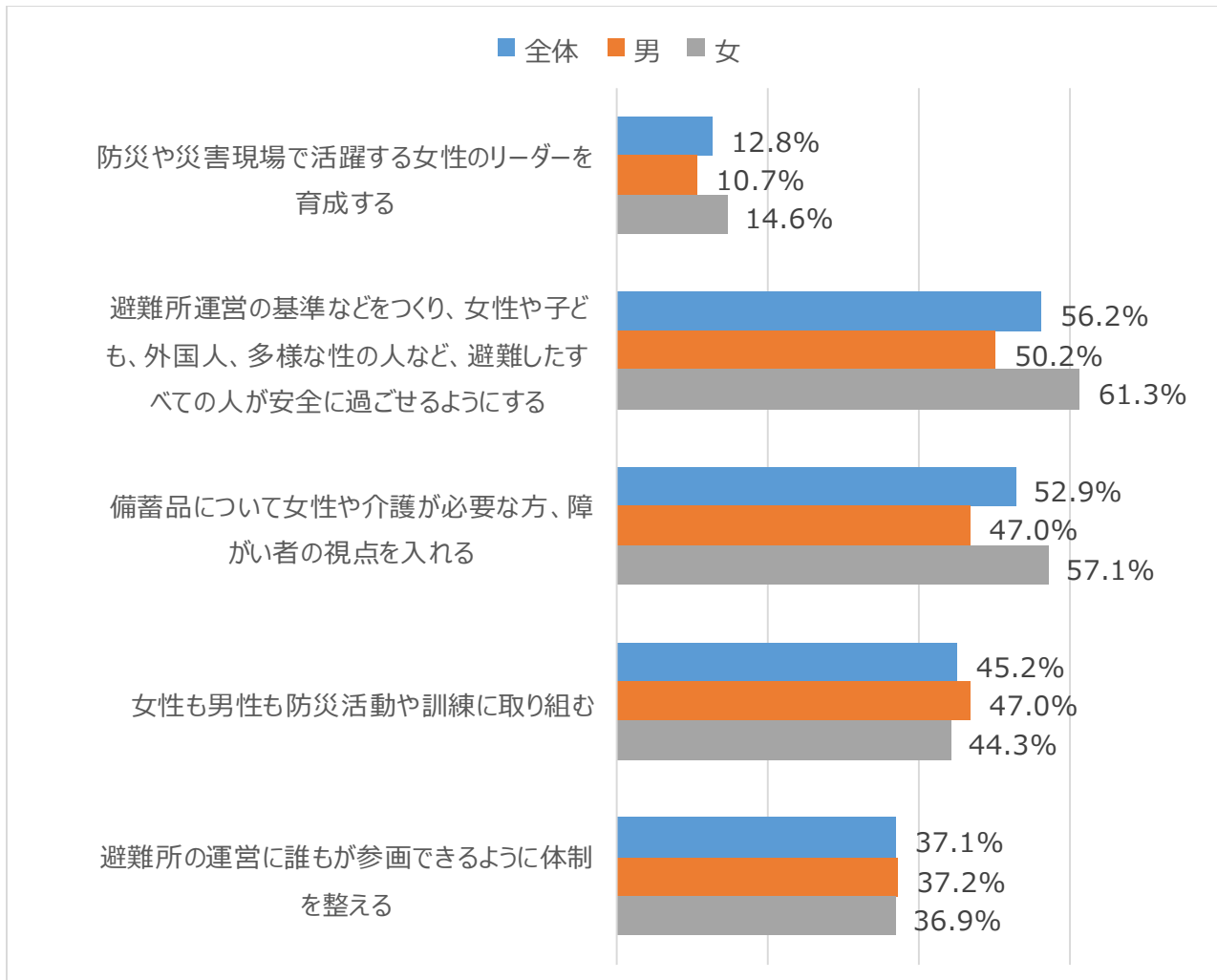


【その他の回答】

- ・ 考え方を変える
- ・ ある程度の年の方には引退してもらおう
- ・ もっと企画や行事を少なくする
- ・ 町長さんも女性がなられ、少しずつ実績を作るしかない
- ・ 既にそのようになっており、女性の意見がどんどん取り入れられている
- ・ 参加しない事にも理解すべき
- ・ 家の代表者は男が出ている。女は出ない
- ・ 飲み会を減らす
- ・ 周囲の人間が配慮する
- ・ この質問内容自体、男性が上にいるということが前提である。特に②
- ・ 誰もが発言しやすい環境、時間
- ・ 意識を改める（個人的）
- ・ 男女関係なく能力で決定する
- ・ 町内会や自治体の活動は、極力無くすか、最小限にすべき。
- ・ 現在は女の人が活躍できていないということですか？関わったことがないのでよく分かりません。（関わりたい訳ではない）
- ・ 男女問わず自治会の役員をしたくない人が多いと思うので、役員の負担を減らすように取り組む。

6. 防災

1 豪雨などの災害が年々増えるなかで、多様な視点から災害に備えるために、これから必要なことは何だと思いますか？（特に重要だと思うものに○（複数選択可））

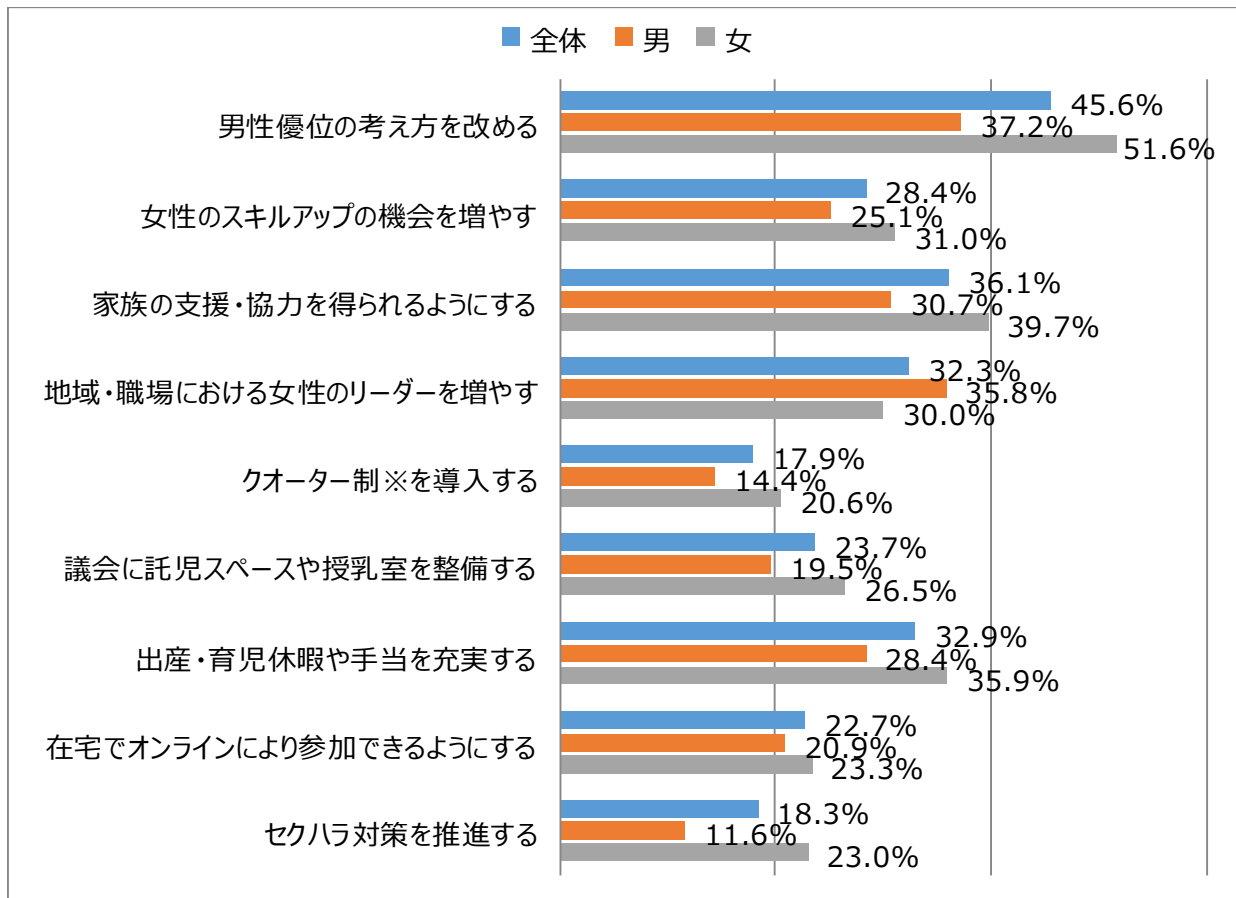


【その他の回答】

- ・ 各家庭でも男も女も関係なく準備する
- ・ 各家庭に必要な物をローリングストックし備えて、あわてない。
- ・ 日ごろから行政機関に女性の声が反映できるよう女性管理職を増やす
- ・ とにかくにげる。
- ・ 誰もが分かりやすいリアルタイムの情報発信、連絡ツール
- ・ 女性、女性と意識しすぎだと思ふ。逆に災害等の備えという意味ではパワーのある男性の参加割合が多い方がよいと思ふ。
- ・ 行政が考えるべき。
- ・ 地域の防災意識を高める
- ・ まず、「災害なんて琴浦町には来ないよ」という意識を役場の職員皆が無くす。

7. 政治参画

1 日本は政治分野における女性の参画が遅れていると言われていいます。女性議員が増えるためにはどのようなことが必要だと思いますか？（特に重要だと思うものに○（複数選択可））

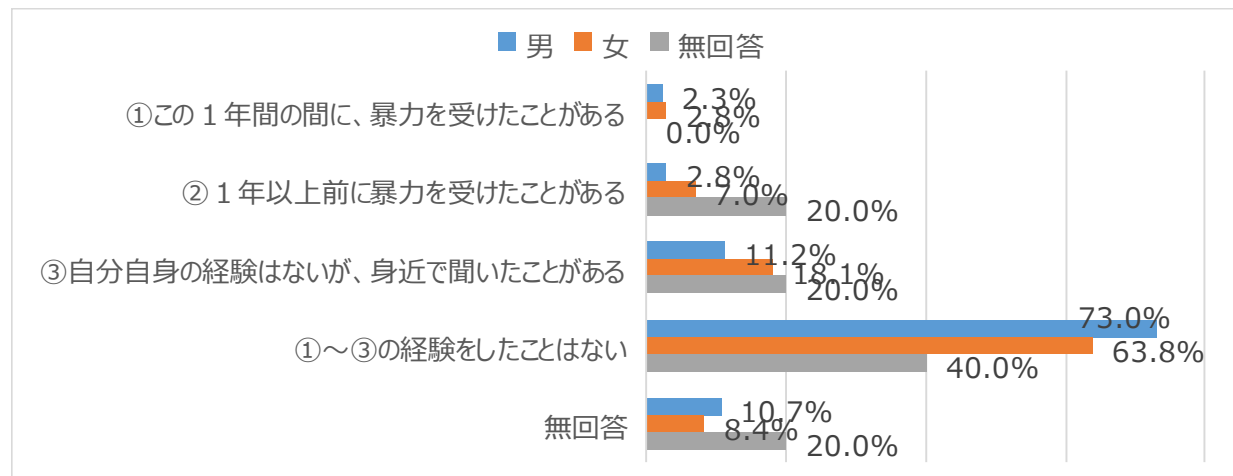
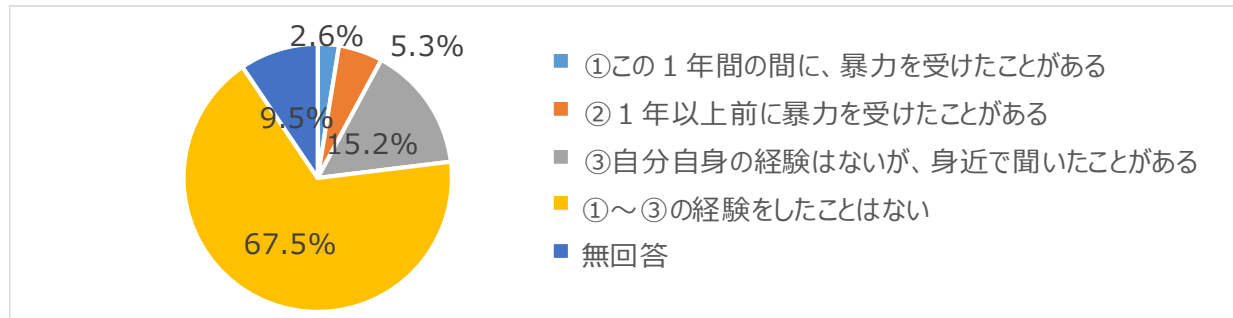


【その他の回答】

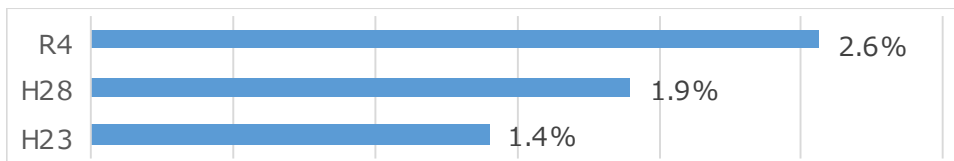
- ・ 国のため、地域のために働く人に、男女差なし（数ありきではない）
- ・ 政治活動にお金がかからないしくみづくり
- ・ 女性議員を増やさなくてよい
- ・ 年寄りの多い今の考えで女性が入ってもつぶされる
- ・ 個人の能力の向上に努めることが第一です
- ・ 日本のことを第一に考えてくれる人なら男性だろうと女性だろうと議員になって欲しいと思われることが重要だと思う
- ・ 地域ごとで原因を追及する
- ・ 自民党がしない限り無理
- ・ 女性の意識を高める必要あり
- ・ 女性自身が政治参画にメリットを感じないので少ないのでは
- ・ 義務教育期間から政治に関わる教育を行う。政治に関しては男女比率ではなく、適性が高い方が行わなければならない人数、人がなればよい
- ・ 客寄せパンダのような議員が政治家の価値を損なっていると思うので、優秀な政治家が活躍する姿をもっと上手く見せるべき
- ・ 私設秘書をつけやすくする
- ・ 問題点をどこかを調査すべき
- ・ 実績をつくるしかない
- ・ 女性もそれなりに勉強しなければいけない。
- ・ 性別は関係なく民を考えている人がなるべき
- ・ 女性議員になりたいと思えるようにする（?）
- ・ セクハラ以外のハラスメント対策
- ・ 日本は国会議員が多すぎるので、男子・女子と関係なく本当に必要な人数、人がなればよい

8. 暴力（DV、セクハラなど）

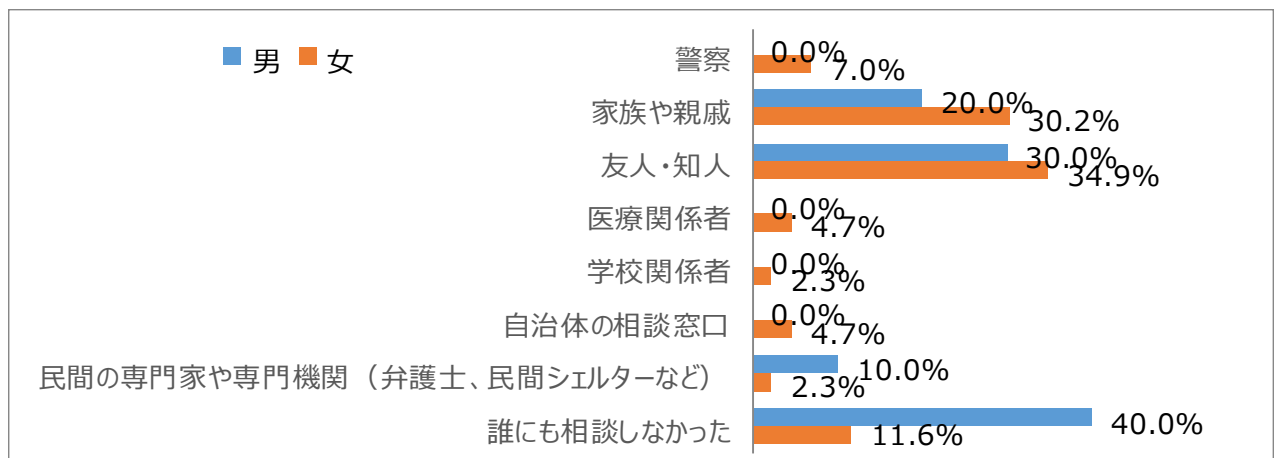
1 配偶者やパートナー、恋人などから暴力（言葉による暴力、精神的な暴力を含む）の被害を受けた



【参考】経年変化



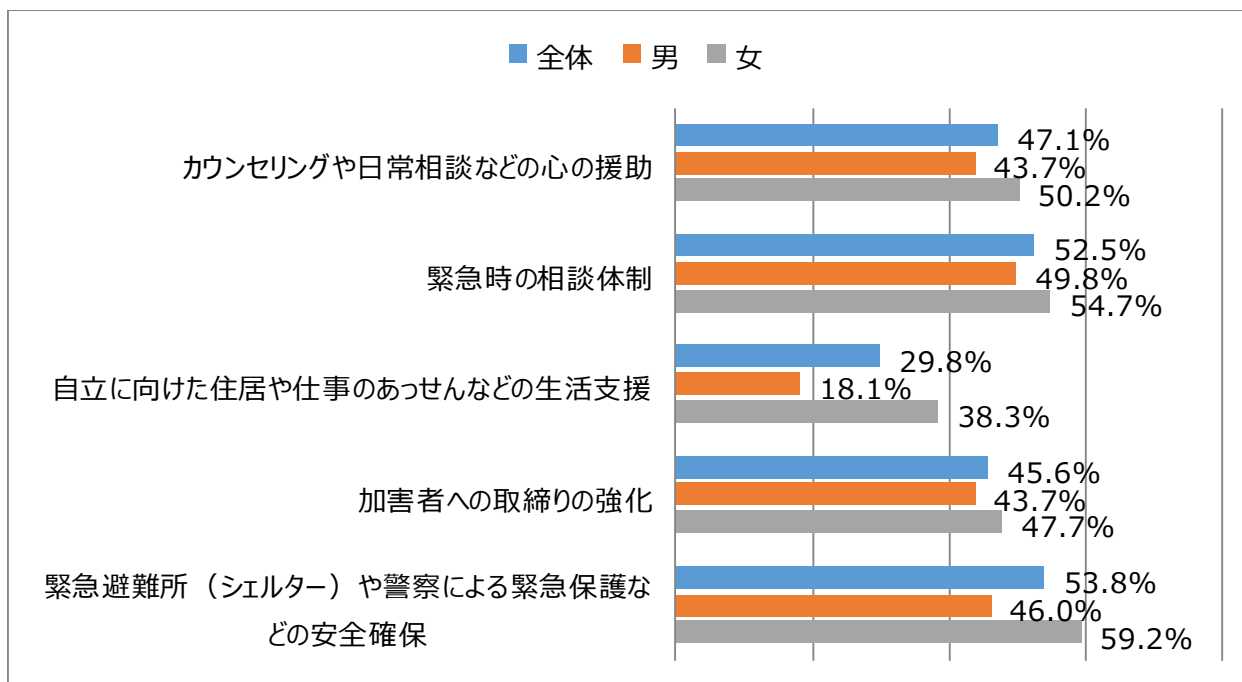
2 <1で被害を受けたことがあると答えた方> 当時、誰かに相談しましたか？ (すべてに○)



【その他の回答】

- ・ 同僚

3 <すべての方> DV、セクハラなどの被害に対して、どのような支援が必要だと思いますか？（特に重要だと思うものに○（複数選択可））

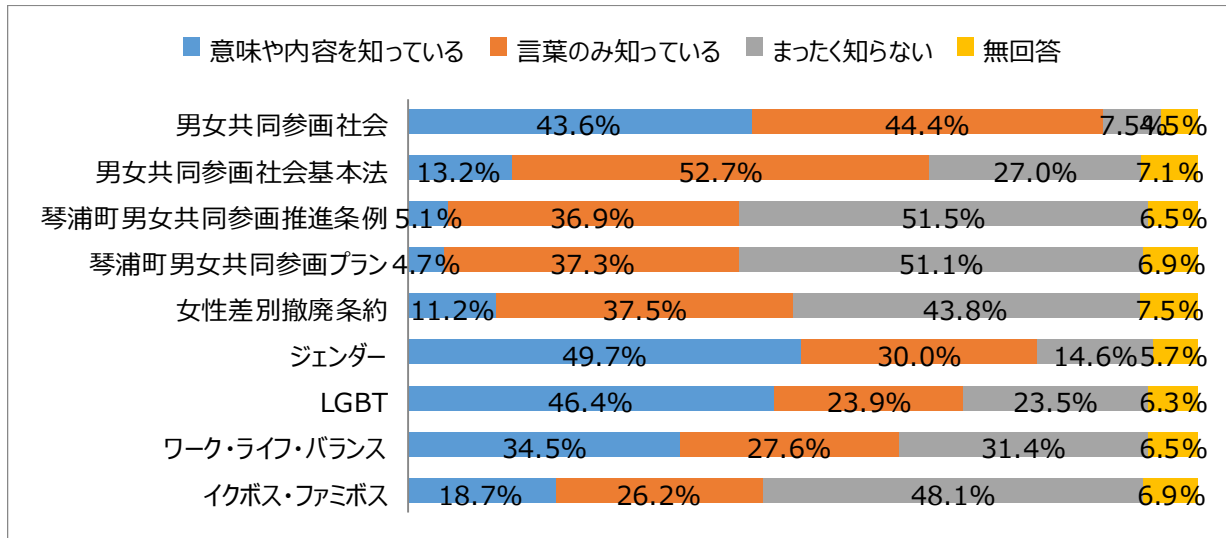


【その他の回答】

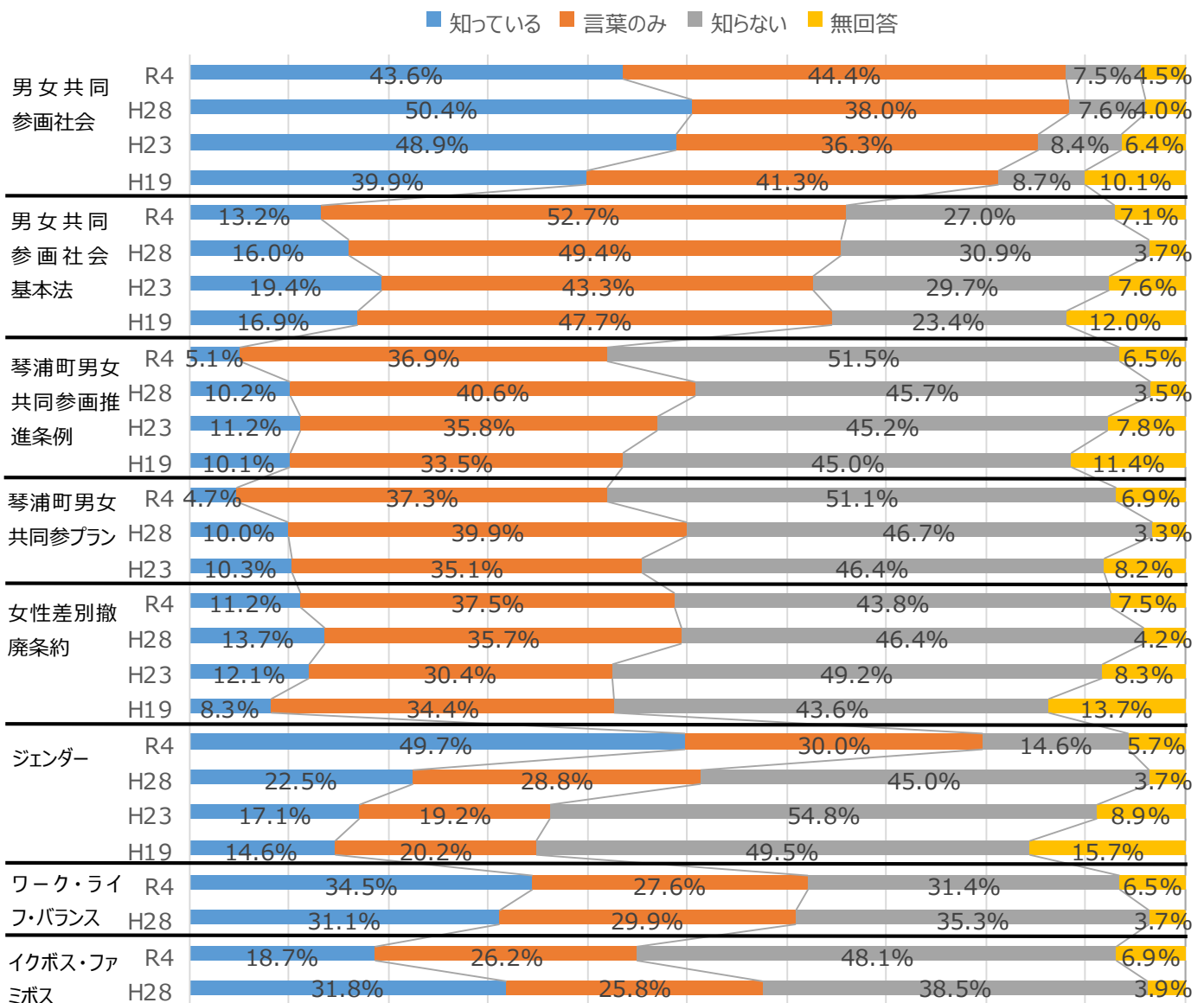
- ・ 多様な形を受け入れる文化
- ・ 狭い町内では噂が役場職員からも広まる可能性がすてきれず、相談しにくい。町外に相談できるようにしてほしい。
- ・ 教育（小さいときから継続的にDV、セクハラ防止について）
- ・ 加害者への講習義務化
- ・ 人権意識とか、自分のまわりの人も尊重することを学ぶ、実践すること。子どもの時から教育を受けられる環境づくり。
- ・ もっと気軽に相談できる機会をつくる。
- ・ 被害を受けている方は自分から相談しにくいと思う。
- ・ 当人は言えない状況かもしれないので地域やまわりの人が気づいて、連絡する意識が必要
- ・ 加害者の更生プログラム
- ・ 24時間365日の相談窓口

9. 今後の社会のために

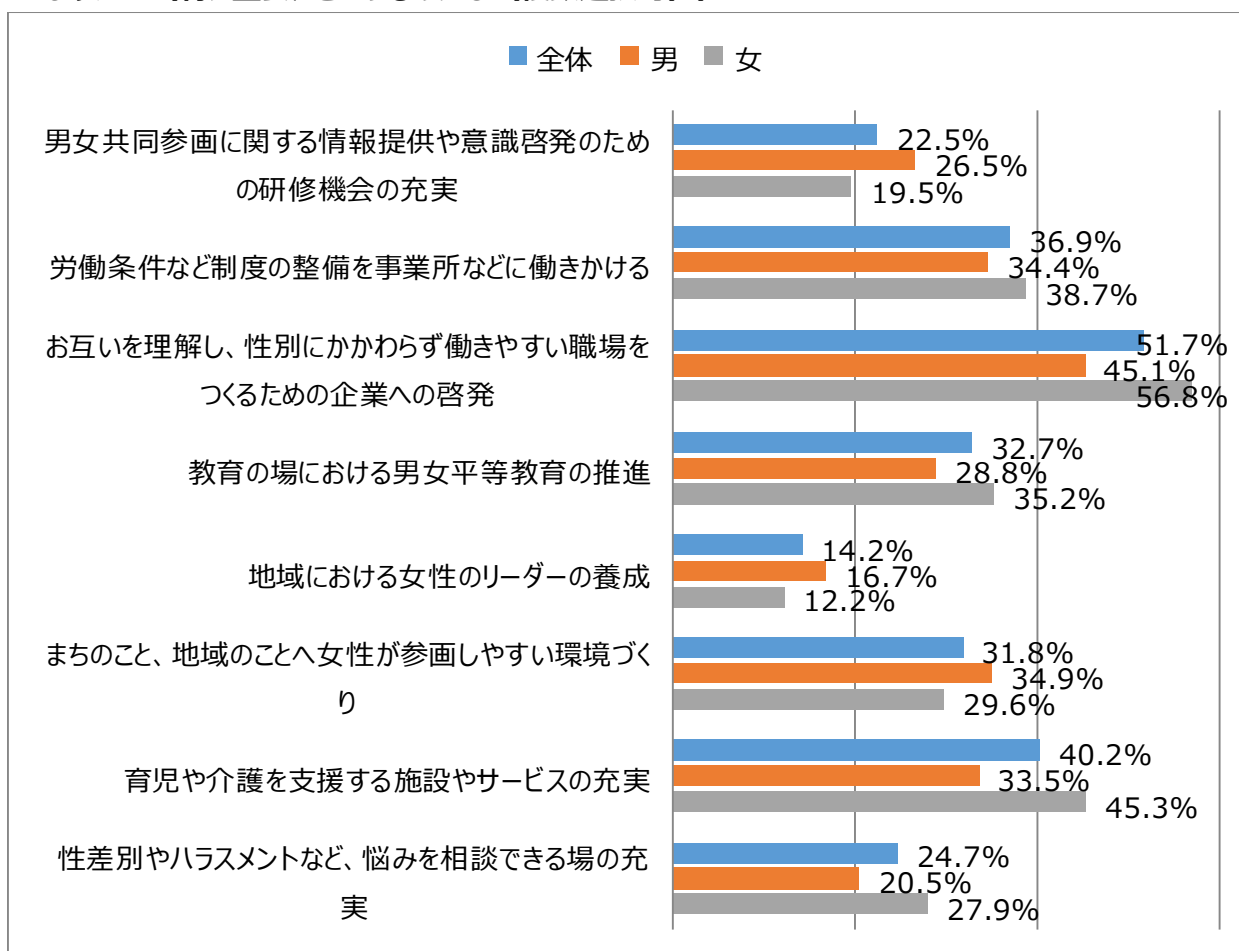
1 次の言葉について知っていますか？（各項目につき1つ○）



【参考】経年変化



2 男女共同参画社会を実現するためには、町行政として今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか？（特に重要だと思うものに○（複数選択可））



【その他の回答】

- ・ 年功序列をやめる。
- ・ 女性自身の改心
- ・ 身体的な性差を踏まえてのどのような社会生活を送れるかということについての教育や理解を深めること。
- ・ 能力や人間性を置き去りにしてはいけない。
- ・ 任意での勉強会など部落でしてしまうと強制的に感じる
- ・ 悩みを相談ができる人（行政の方）信頼できる人でないと不安。
- ・ 職場等でのダイバーシティ教育
- ・ みんな日々の生活がいっぱいでそんな事を考えている余裕がないのでは
- ・ 広報活動の強化
- ・ 男女共同参画社会実現のメリットを啓蒙する
- ・ 言葉の意味がわからないため答えられない。
- ・ 年寄りの多い琴浦では無理だと思う

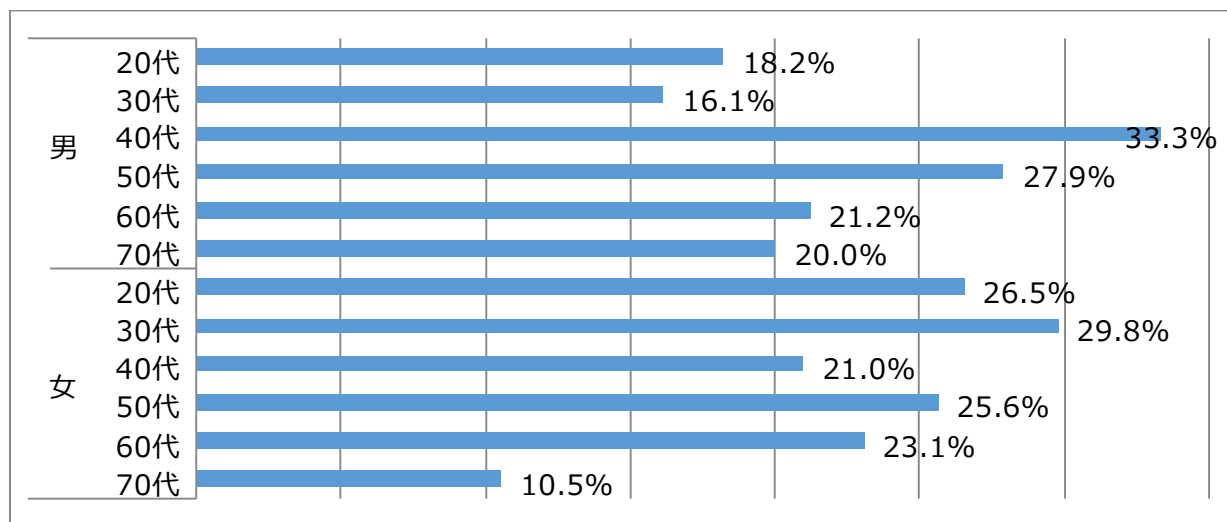
10. コロナの影響

1 最後に、男女の視点に関わらず、次の項目についてあなた自身が受けた影響として該当する内容をお答えください。（すべてに○）

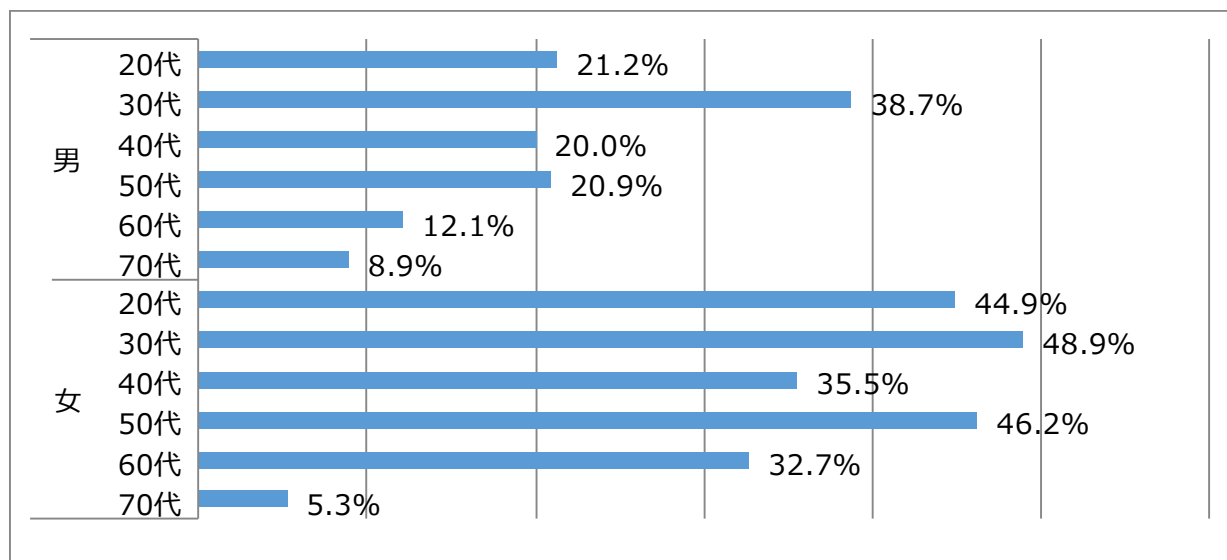
全体として、男性は4割以上が影響がないと回答しており、女性はメンタルへの影響がやや目立っている。

性別・年代別にみると、「収入減少による家計の悪化」は、男性は中年層で回答率が高く、女性は若年層で高くなっている。「メンタルの不調」は70代を除くすべての年齢層で、男性より女性の方が回答率が高くなっている。「家族との関係悪化」は、20代男性の回答率が最も高い。

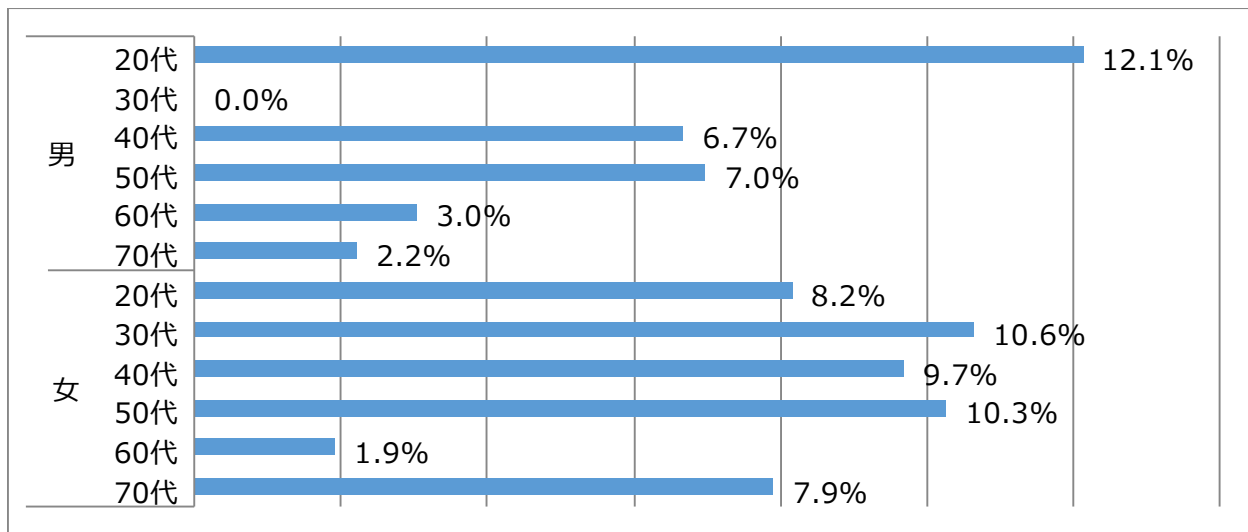
収入減少による家計の悪化



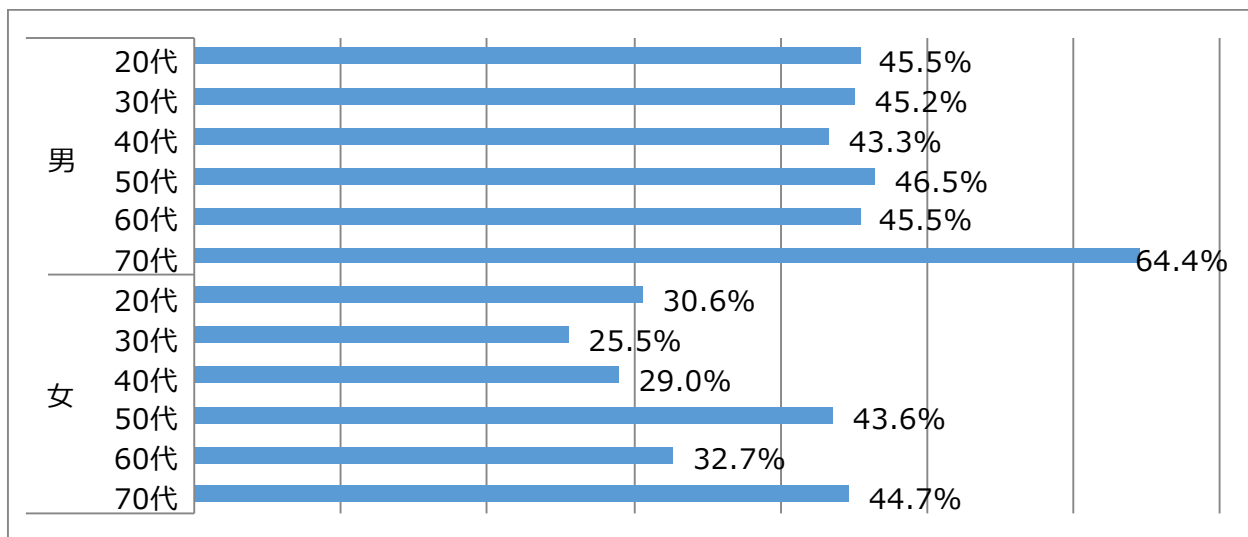
メンタルの不調



家族との関係悪化



特にない



【その他回答】

- ・ 外出制限、会食制限
- ・ 子どものストレス発散の場がない、どこにも行けない
- ・ 閉塞感、メディアによる洗脳
- ・ 旅行に行けないことなどのストレス
- ・ 感染対応など人それぞれの理解の違いに対する戸惑い
- ・ 育児環境の悪化
- ・ 県外の人との接触・県外に出たときの職場の対応が悪い
- ・ 政治、県への不信任感
- ・ 子どもの地域活動、スポーツ大会が減ってしまった
- ・ 楽しみごとが減ってしまった
- ・ 医療関係勤務にて行動制限が有何もできない。県外家族に会えていない。
- ・ 家族（身内）で話し合い、以前より親密になった。
- ・ 出産時立合い無し、母親学級なし等の制限
- ・ 人と関わることが減った。
- ・ 仕事の停滞
- ・ コロナが会社内ででているのに、検査を受けさせず働かせる会社
- ・ 子育て中ですが、行く場所や会う人が限られたことで外出の機会も減りました。
- ・ 息子家族の家計収入減少により手助けをしています。
- ・ 行動範囲が狭くなった。
- ・ 子どもとの思い出(旅行)ができない。行きにくい職場。
- ・ ワクチン 2 回目と 4 回目接種で頭痛・発熱など休まねばならないほど不調になっても受けなければ、拒否しづらい。
- ・ 外出、外食に気を使うようになった
- ・ コロナに罹ったことが悪いことのように感じ、人目をすごく気にした。地域の人になにげない言葉が突き刺さった。犯人捜しのような所がある。
- ・ 外出が減り、ストレスが増えた。
- ・ 県外に住む家族、知人との交流が減った
- ・ 自由な行動の制限
- ・ 感染対策に係る出費
- ・ 弱者への訪問ができない
- ・ バイト制限あり
- ・ マスクを外すことに抵抗を感じる。自分の行動に自信を持ってできない。人の目が気になる。など
- ・ 子どもの学校が休校、また大会や部活の中止など
- ・ 子どもの看護のため長期、仕事に復帰できない。休みが取得しにくい。
- ・ 行動の規制による不満。
- ・ 日本人全体がより病的になったように感じる
- ・ ワクチンを受けると言われ続ける
- ・ 子ども達が活動や行動の制限を強いられることを不憫に思っています。
- ・ 職場での働き方、社会の考え方がどうかな？と思った
- ・ 育休中の保育園の休園でワンオペ育児時間の増加
- ・ 複雑な出勤の基準、行動制限
- ・ 行動が制限され旅行や芸術鑑賞など生きる喜びを体感できなくなった。
- ・ 社会活動の減少
- ・ 外出自粛や県外往来の自粛のため、家族での思いで作りの機会の喪失、子供達の知見を広げる機会の喪失
- ・ 交友関係の途絶え
- ・ 仕事仲間への影響
- ・ 事業収入の減少
- ・ 制限の多い大学生活
- ・ 観光など目的の旅行自粛、取りやめ
- ・ 学校、地域の行事が縮小され、楽になった。

11. 自由記載（アンケートについて、または男女共同参画について）

▼男女共同参画に関する意見等

- ・ 男女共同参画はとても良いことだと思いますが、やはり男でしかできない仕事（体力仕事、力仕事）など、女性には難しく思います。全てにおいての男女平等には、どうなのかなと思います。
- ・ 性差を理解し、男性として、女性としてできることをすればよいと思う。
- ・ 家庭の中での女性の役割がまだまだ多いのに、なぜ女性ばかり社会の中に出て行けというのか。負担が増えるばかりで、できる人がやれば良いと思う。男女共同参画と言いつつ女性ばかり負担。
- ・ 男女のコミュニケーションをはかり、理解を深めるようにする。
- ・ 男女共同参画は良いことだが、性別による体格差等すべて同じ事ができるとは思わない。（能力はあっても体力が伴わないのではないか。）
- ・ 男性視点での物事の取り決めが多いので、女性の意見を反映できる社会づくりをまじめに進めていくことが大事かなと思います。
- ・ 男性の多い会社(夫の会社)は、育休取得しづらい。男性の育休について気軽にとれるように偉い人たちの意識、社会が変わって欲しい。
- ・ 家庭において高齢男性は男女平等はまだ理解できてないようです。してもらって当たり前と一方的なところがある。
- ・ 地域社会に女性自身が積極的に参加する。
- ・ 女性はなぜ積極的に参加されないのか。区(自治会)の役員に。
- ・ 単なる比率の問題にせず、能力があるかないか人としてその人がどうなのかということが大事だと思っています。
- ・ 男女共同参画を実現する為には、金銭面での十分な支援が必要である。その後に初めて考えていける問題である。
- ・ 男性女性について全てを平等とは思いませんが、自分の子ども(女の子)が成長し、働き、結婚、子育てをいつか経験する時には今より少しでも生きやすく子育てし易いように願っています。
- ・ 職場でもまだ少しは役職者は男性がという考えが残っているように思います。
- ・ 年代的に男女平等などを聞き出したのがここ最近です。同年代の男性にしてもなかなか変わりません。子ども達には平等の世の中で生活してほしいと願っています。小さい頃から教えないと。勉強、習慣にしないと。
- ・ 男女格差を早く無くしてほしい。
- ・ 男女共同参画は大切とは思いますが、それぞれの場面での微妙なバランスが難しいと思う。
- ・ 研修・啓発といった意識改革により、制度といった社会の仕組みを変えないと状況は変化していかないと思います。
- ・ 差別はあってはいけないが、区別は必要な事だと思う。なんでもかんでも男女平等にしてしまうと、男性が持つ長所、女性が持つ長所が失われてしまうのではと危惧する。
- ・ 防災の備蓄品について：食物アレルギーの方の視点も
- ・ 男性、女性、それぞれにしかできない役割がどうしたってあるのだから、ここまで男女平等を求めなくても良いのではないかと考えています。
- ・ 男女平等のためには特に法律の整備が重要なのではないかと感じた。
- ・ 地域でも会社でも、男女の立場が平等になると良いと思う。男性ばかり優遇されていると感じられる今の社会では、性別の差をすごく感じるので、性別ではなく知識やその人の実力で判断される社会になると良いと思う。ありがとうございました。

- ・ 男女共同参画の社会作りには、30年前から色々関わってきましたが、その頃とあまり変わらないような気がします。もっともっと男女がともに考えなければよくなりません。どこに問題があるか国全体で考えましょう。
- ・ 無理やりに男女同一視する必要はないではないか。必ずしも男女同一でなくても、男女の特性を活かした男女共同参画社会であっても良いと思う。
- ・ 人間は生まれながらにして男性、女性それぞれの本能を持っており、すべてに平等を唱えるのはどうかと思う。2-1.2-2「地位の平等」の意味が分からない。
- ・ 女性も男性も、「らしさ」は心の隅にあってほしいのかな？高齢者に古い考え方が残っているように思うが、現代の若者は違ってきているか？若い男女に活躍してほしいです。
- ・ 女性は、特に嫁は、表に見えない家事の負担が大きすぎると思う。
- ・ 各個人の性格や考え方、生活環境等に違いがあり、男女共同参画社会が理想の頂点と否定や強制が行われないことを私個人は望みます。ファジー（あいまい・ぼんやりしたさま）な部分があるのが人間だと思います。
- ・ 離婚率が高くなり、片親家族が増えました。男女が自立して家庭生活が成り立つ社会も大切ですし、家族が仲良く暮らすことができる仕組みや手助けも必要だと思います。
- ・ 田舎独特の閉塞感があるのは否めないが、逆に人口が少ないのを強みにして都市部よりも柔軟な対応が今後可能になってくるのではないかと思うので、是非町には積極的に取り組んで頂きたいと思います。
- ・ 男女平等には賛成するし、男性だから、女性だからといって差別があるのはよろしくない。と思う一方、男性、女性が持つそれぞれの特質は違うので、それぞれの持つ能力を尊重することも大切だと思う。それをお互いにサポートし合える社会が望ましい。
- ・ 男女共同参画において、男性に改めるような声掛けをするよりも、女性が活躍しやすい環境、男性にもっと家事、育児、介護の場に入ってもらうような環境を整えることが必要ではないかと感じています。琴浦町は女性の町長（リーダー）です。期待したいと思っています。
- ・ 琴浦町は県内の中では子育てなどについての支援、発信が薄く、もう少しあればなあと思います。
- ・ 男女共同参画が必要な仕事と体力的にそれが無理な場合もあるし、必要な人にはまわりの応援が充実できれば良いと思う。すべてではないと思う。
- ・ 全ての人の意見が反映されているか、男女といえどその背景は様々でそれぞれの人の立場にたって考えられるかが必要なことだと思う。
- ・ 現実がどうなのか、国とか鳥取県内、町内の比較など、まずは、そこを知ってもらう必要があるのではないのでしょうか。理想と現実の違い。あとは、なぜ、男女共同参画が必要なのか。それを見やすく案内しないと誰も関心を持たないと思います。
- ・ 男女平等や男女比率を考えるあまり、適切な運営を行うことが困難となるような、本末転倒な事態は避けて頂きたく存じ上げます。
- ・ 世代別で考え方の認識が大きく異なっていると感じる。認識を変えたのは教育の変化だとするならば世代間で異なる認識を一致させていくこともまた教育でしか解決し得ない事と考える。老後に必ずしも満足な保障は期待すべきではない。男女共同参画の推進が人生100年時代の経済力に直結しており、男女共に貧困を予防する解決策になる事も周知しなければ我が事としての取り組みの広がりには至らない。
- ・ こうするべき、こうしなくてはいけないという固定観念をなくし、各人が思うような人生を送るために、みんなが柔軟に協力し合える社会がいい
- ・ 差別撤廃と過度な優遇を混同しないよう気をつけたい
- ・ 理想だけでは人は動かないのではないのでしょうか？

- ・ 性差を無視した男女一律の対応ではなく、性差による物事の違いや考え方の違い、得手不得手を踏まえた参画のあり方を作っていくべきだと考えている。
- ・ "育児に関するチラシなどが母親主体で書かれているのはおかしいと思う。
- ・ 男女共同の考えではない世代は、子どもたちよりむしろ年配の世代。この沢山いる年配世代の意識を変えてかからなければ始まらないと思うが、これが至難の技。町長さんが朝夕の放送で、漫才しながら男女共同を訴えろとか、男女共同参画ソングを作るとか、年寄りたちが関心を持つ方法で伝えていかないと。ただ、「男女共同…」という言葉が町報なんかに並べていたって、年寄りたちは「自分には関係ない」と見向きもしないと思います。「オトコの方が上、という考えは古い！」という内容にしてみても？
- ・ "行政が呼びかける事がとても大切だが、その声が届いていない場所、届いても変化が起きない事が多いと思う。
- ・ 呼びかけも大事だが、根本的な制度を整えてもらうのが1番効果的かと思います。
- ・ 管理職に女性を登用しようという風潮に反対はしない。ただ、それよりも男性管理職がもっと女性や子ども、社会的弱者に思いを馳せられるようになるのが良いと考える。あまりにも、団塊の世代と呼ばれる方々の意識が低いかと。そこへの手入れが必要なのでは？女性を引き上げるというよりも、男性が変わる視点が必要であると考えます。
- ・ 男女問わずお互いを尊重できる環境ができるよう意識改革が必要ではないかと思います。

▼感想

- ・ 小規模だからできる、女性首長だからできる、町外の人からうらやむような琴浦町を期待しています。年、性別、収入などにとらわれない支援をお願いします。
- ・ このアンケートの項目自体が女性が社会に進出してない書き方だった。P4.男性が女性とともに...という問に対して男性はしてない人が多いんだと思わせる文章でした。
- ・ 男女平等とずっと言われているけど、どんどん平等に思えなくなってくる。男女よりも住みにくい琴浦、もっと考えては？
- ・ 今まで関わってきた中で一番役場関係が男女差別や「上司の言うことが正しい」みたいなことが多かった。実際、前の教育長や上司に「女がお茶を入れるものだ」と言われた。研修会なども行っているが参加しているだけで根本的な考えは全く変わっていないように思う。職場内のいじめもあり、最悪だった。
- ・ 役所関係のアンケートは質問も多すぎる、また回答がしにくい内容になっている。どう活かされているのか不明に思う。
- ・ 私は48年間大阪で過ごし、5年前にUターンして帰ってきました。初めはとまどいが有り大変でしたが、今は帰ってきて良かったと思っています。琴浦町は住みやすく、毎日楽しく過ごしています。
- ・ 前に入る人は出るが、あまり積極的に出て行く人が少ないイメージ。育った環境や文化による部分も大きいと思う。
- ・ 女性町長はとてもよい。大きく期待したい。
- ・ 町長さん、応援しています!がんばってください。
- ・ 2, 意識調査の「優遇」という項目に違和感がありました。どちらかと言えば、「負担」という方がピッタリです。(負担が大きいとか)
- ・ アンケートで終わらないようお願いしたい。
- ・ 左翼のLGBTジェンダーの極端な製作に乗らない方が良い。日本式の男女平等な考え方があります。日本

は古来女性がえらいのです。

- ・ 一歩ずつでも目標を持って前へ進みましょう。子ども、孫たちの為にも努力したい。
- ・ 男女共同参画には賛成だが、身近には積極的に参画したい女性少ないと思います。
- ・ 無理に女性を参画することは…。やはり男女共もっと過去のことを捨て成長することで、自然と男女共同となることを願う。
- ・ 横の繋がりが弱くなっている今、とても大切なことだと思います。色々な立場で考えたり色々な立場の人が話し合うことで男女共同参画社会が実現する一步になるのだと思います。
- ・ 先日のテレビのニュースで、ある事故があったとき「女の子 2 人を含む 6 人の子どもたちが…」という報道がありました。男女差別を無くすなら「6 人の子どもたち」とすべきだと思います。すべて「女性差別がある」という前提で世の中の意思統一を図っているようで、我が家のように家事・買い物すべて私と妻と一緒にやっているという者から見れば、何かおかしい感じがします。
- ・ 言葉の 1 人歩きではない社会を作してほしい
- ・ 年金生活であり、子育てもしていないので、今回のアンケートへの記入は、行政の方に役立てないかもしれません。男性だから、女性だからの枠を外す男女が助け合う世は理想です。
- ・ 早く整えて、子どもたちに学んで欲しいなと思います。
- ・ 福本さんが町長になり、男女の問題について声を上げるためには良いタイミングだと思う。頑張ってもらいたい。
- ・ 仕事、病人のお世話等を頑張っていたおかげでか？ 現在も頑張っていることができます。感謝のみです。コロナのことが心配です。
- ・ 私は大学でジェンダー研究を学ぶ機会があったので、男女共同参画とか意識や理解度も人より高いと思っていますのですが、他の人の（そういった学びをあまり行ってなかった人の）アンケート結果に興味があります。
- ・ 男性が優位にあるということが前提であり、不快であった。
- ・ 琴浦町に条例があると初めて知った。
- ・ 保育施設の充実もいいが、あまりに親が簡単に子どもを施設に預け、早く手を放そうとする。子育ては大変だが、それが親の責任。育休手当を充実させ、腰をすえて子育てに向き合ってもらいたい。産むだけ産んで保育園に育ててもらっている感じがする。
- ・ 特に女性は何事にも覚悟を決めて、男性の先を見通す力を生かし、地に足のついた考え、行動を協同で進めるべきとき。
- ・ 熱意をもってこの件に取り組んでおられる町民が増えることは喜ばしいが、まだまだ本人が未消化、不消化のまま一般町民に流されるので、不正確な知識が伝わっていると思われることが多々ある。
- ・ 家族それぞれ自由に生活しておりますので意見はありません。
- ・ アンケートの結果が役立てば何よりです。福本まり子町長、これからも頑張ってください。期待しています。
- ・ 現状男社会は昭和で終わっています。すべての物事に対して女性の意見を取り入れると物の見方が変わります。女性の指導者革命をおしたこともあるので。
- ・ 男女に関係なくお互いを尊重しあえる社会になれば良いと思います。
- ・ 細かくて、難しすぎて答えにくい。質問が多すぎる。もっと簡潔に。
- ・ このアンケートの結果で何の材料になるのか不明でした。
- ・ 自分が全く知らないことがわかりました。
- ・ 「男女」という言葉自体違和感があります。LGBTQ 時代、かたつむりのよう化石化している。
- ・ 第 3 次までの参画プランの成果が示された上での質問項目であれば、より町行政が求めるデータが得られや

すいと思う。Web やアンケート紙での把握も有効ですが、町行政であるからこそ、足でかせぐ情報の収集があってもよいかもしれません。現場に出てこそ、本当の課題がつかめるものです。働き方改革の名に流されてはいけない部分です。

- ・ コロナで琴浦町がさみしい町になったと言われたいないようにしてほしい。もっと琴浦町を盛り上げる会を計画してほしい。ただし、女性が中心であってほしい。
- ・ "学生の頃痴漢をされたことがある。痴漢自体も辛かったが、それ以上に一番辛かったのは周りの理解のなさである。二次被害から男性不信になった。
ex：痴漢されたって知ったらネタにされる(元恋人)、されそうな格好してる女も悪いよね(先輩)、私もあるよまあしょうがないよね(親)
男女差別の一例として挙げたが、自分と違う存在(この場合なら異性)への理解を進める教育、啓発を町には推進してもらえたらと思います。"
- ・ このアンケートの項目はどういった方法で抽出されたものなのか。元になる研究、国の統計等を明記すべきだと思った。
- ・ このアンケートがどれだけの人が真摯に回答しているのでしょうか、男女平等は大切な事ですが、その事を考える余裕がない人がほとんどではないでしょうか、また、男性と女性は昔からそれぞれの特性を活かした役目があり、そこが上手く調和が取れて世の中が回っていたのではないのでしょうか。
- ・ 調査に尽力されている方、より良い世の中にする為頑張ってください。"
- ・ 男女共同参画社会には大賛成。このアンケートは内容が多すぎてどう活かされるのか、イメージがわからない。
- ・ 父親が育児に協力的な家庭も多いので、書き方を改めるべきではないか。"
- ・ アンケートが長すぎる
- ・ アンケートに協力するメリットが無い。
- ・ 琴浦町はシニア層の活躍やシニアの活力がかなりあると思うが、その方たちと活動しているとやっぱり女性（特に若い年齢）に出しゃばってほしくない、という感じの言動にふれることがあり、まだまだ男女平等参画には遠いなと思うことがある。

▼その他

- ・ 正直このコロナの影響で収入は減少、子育てしている家庭への支援をもう少し助けてほしい。家や車、家庭をもっているので大変厳しい。
- ・ コロナも増えてきているのもっと町で給付金を出してほしい。
- ・ 若者に魅力のある職場、企業を増やしてほしい。若者が増えれば活気がわき、人口減少に歯止めがかかるとよいが。
- ・ 物価が上がってきているので、せめて子どもの医療費を無償にしてほしい。